

RADIOLOGICAL SATTAMA

NO.2
2017



- 【誌上講座】** 安全な MRI 検査のために～環境づくり～
「プロトコルを考える」～基礎からの腰椎 MRI～
- 【技術解説】** 「病院向け放射線検査部門管理支援サービス ASSISTA Management の紹介」
富士フイルムメディカル株式会社
「DoseWatch」による被ばく線量最適化への取り組み
GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
「X 線線量情報の一元管理システム」～ Radimetrics ～
バイエル薬品株式会社
「被ばく線量管理システム DOSE MANAGER」
～医療被ばくの正当化・最適化のために～
EIZO メディカルソリューションズ株式会社
- 【連載企画】** 「院内勉強会活動報告」～救急医療画像カンファレンスの開催～
- 【総会資料】** 第 6 回定期総会資料

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

<http://www.sart.jp>
E-mail sart@beige.ocn.ne.jp

RADIOLOGICAL SAITAMA

2017/5
MAY
VOL.65

CONTENTS

誌上講座

安全なMRI 検査のために～環境づくり～ ～新人技師自動育成計画～ 自治医科大学附属さいたま医療センター 小山 芳征	15
--	----

「プロトコルを考える」

～基礎からの腰椎MRI～ 上尾中央総合病院 石川 応樹	21
--------------------------------	----

連載企画

「院内勉強会活動報告」

～救急医療画像カンファレンスの開催～ 公益委員 新久喜総合病院 眞壁 耕平	27
--	----

技術解説

「病院向け放射線検査部門管理支援サービスASSISTA Managementの紹介」 富士フイルムメディカル株式会社 販売統括本部MS部 畔柳 宏之	28
--	----

「DoseWatch」による被ばく線量最適化への取り組み

GEヘルスケア・ジャパン株式会社 サービス本部 サービスグロース部 親松 里織	32
--	----

「X線線量情報の一元管理システム」

～Radimetrics～ バイエル薬品株式会社 ラジオロジー事業部 上村しづ香	36
--	----

「被ばく線量管理システム DOSE MANAGER」

～医療被ばくの正当化・最適化のために～ EIZOメディカルソリューションズ株式会社 営業部ITソリューション課 加島 陽	40
--	----

総会資料

第6回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定期総会

第6回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会	44
平成28年度事業報告(案)	46
平成28年度(公社)埼玉県診療放射線技師会理事会審議事項	64
平成29年度事業計画 県民へのアピール	66
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定款	68
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 諸規程	73
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 支部地図	83
平成29年度当初予算	84

巻頭言

AIではできない仕事 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長 田中 宏	1
--	---

会告

第6回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会のお知らせ	2
役員選挙公示(立候補者)	3
診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー	4
平成29年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	5
第33回日本診療放射線技師学術大会	6

お知らせ

第2回SaitamaCT Colonography meeting	7
第55回埼玉CTテクノロジーセミナー	8
第38回SAITAMA MRI Conference特別講演会のご案内	9
第10回東京・埼玉CTテクノロジーセミナー合同学術集会(仮)	10
第38回ソニックCTカンファレンス	11
「メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスについて」	12

本会の動き

鈴木監事 県議会で乳がん検診に関する代表質問行う	86
公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞して	88
公衆衛生事業功労者表彰を受賞して	89
日本公衆衛生協会会長表彰を受賞して	90
平成29年 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会新春の集い開催報告	91
第31回埼玉県診療放射線技師学術大会開催報告	92
公文書の出し方	95
平成28年度第15回胸部認定講習会報告	97
第8回CT認定講習会 開催報告	98
第16回上部消化管検査認定講習会 開催報告	99
平成28年度 埼玉県診療放射線技師会認定試験 開催報告	100
平成28年度 役員研修会 開催報告	101
第3回 埼玉DR計測セミナー報告	102
第5回Freedセミナー報告	103
第5回Freedセミナーに参加して	104
第3回救急撮影ケーススタディー開催報告	105
骨軟部撮影セミナー2017開催報告	106
骨軟部撮影セミナー2017開催報告	107
業務拡大に伴う統一講習会 北関東地域(埼玉県)開催報告	108

各支部勉強会情報

各支部勉強会情報	109
----------	-----

各支部掲示板

第一支部	111
第二支部	112
第三支部	113
第四支部	116
第五支部	118
第六支部	119

求人コーナー

医療法人社団 嬉泉会 春日部嬉泉病院	124
求人広告掲載申し込みFAX用紙	125

議事録

平成28年度 第5回理事会議事録(抄)	126
平成28年度 第6回理事会議事録(抄)	130
平成28年度 第5回常務理事会議事録(抄)	134

会員の動向

会員の動向(平成28年12月26日現在)	135
(平成29年2月23日現在)	135

役員名簿

平成27・28年度役員名簿	136
---------------	-----

正会員入会申込書	138
退会届	140
会員異動届	141
年間スケジュール	142
編集後記	

AIではできない仕事

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏



とどまることを知らない AI の技術は医療の世界をどう変えるのか。医療系の経済雑誌では AI が確定診断する未来を予想している。

以前の巻頭言でも触れたが、東京大学医科学研究所が使う Watson は急性骨髄性白血病に対する抗がん剤投与で、治療の成功へと導いたニュースは大きな話題になった。その他、さまざまな分野で AI の活用が期待されている。がん治療、精神疾患診療、鑑別診断の支援、画像診断支援、24 時間の遠隔見守り、手術ナビゲーション支援、救急医療情報支援などである。われわれに関する分野では画像診断支援としてクラウドを利用し、いつでもどこでも AI による画像診断支援が受けられるようになるであろう。

しかし、AI ではなく人間でなければできない仕事がある。それは、決断と責任である。診断や医療における決断は責任が問われ、AI はその責任をとることはできない。つまり、AI の判断精度がいくら高くなろうと、仕事の決断と責任は人間でなければならないということである。さらには患者に寄り添うという医療についても AI ではなく、人が寄り添うからこそ安心感が生まれるのである。

責任には業務上の責任と法的責任があるが、

まずは業務上の責任について考える。戦国時代の責任とは、腹を切り首を差し出す。ということになるが、今の世の中では許されるわけもない。責任とは大辞泉では「自分のした事の結果について責めを負うこと。特に、失敗や損失による責めを負うこと」と記されている。つまり矢面に立つことである。例えば、何かの不祥事が起きた場合に、記者会見などで頭を下げるシーンがあるが、そこに登場してくる人たちは、最高責任者か人事管理者という組織内では極めて地位の高い人たちである。私たちの日常的な業務でいえば、患者への説明責任や、病院長や部局長などの管理者への説明責任、技師長などの上司への説明責任をいう。

次に法的責任について考える。大辞泉では「法律上の不利益または制裁を負わされること」と記されている。昔は医療のほとんどは医師が責任を負っていたが、現在は各メディカルスタッフがそれぞれの責任を果たしており、医療訴訟になった場合はメディカルスタッフが責任を負うことは一般的である。

AI が医療現場に利用されるようになったとき、診療放射線技師にとって AI に使われるのか、それとも AI を利用するのは「決断と責任のある仕事」「患者へ寄り添い」という 2 つのキーワードだと考える。

第 6 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会のお知らせ

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田 中 宏

日 時：平成 29 年 6 月 18 日（日）

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 総会 | 14：00～15：40 |
| 2. 休憩 | 15：40～15：50 |
| 3. 特別講演 | 15：50～16：50 |
| 4. 情報交換会 | 17：30～ |

総会会場：埼玉会館 7 階 7A 会議室

〒330-8518 さいたま浦和区高砂 3-1-4 (TEL) 048-829-2471

特別講演

講 師：埼玉県議会議員 鈴木正人 先生（当会監事）

テーマ：「ピンチをチャンスに変える」

略 歴：国士館大学政治経済学部 政治学科卒業

大学卒業後すぐに就職せず、お笑いタレントを目指すも挫折。政治の世界を目指し、日本新党に応募、名古屋の河村たかし衆議院議員の秘書、その後地元志木市に帰り、上田きよし衆議院議員秘書となる。

1996 年、志木市議会議員に 1,924 票を得て 2 位で初当選。2000 年、市議選トップ当選。2004 年、二期連続市議選トップ当選。

2005 年、埼玉県議会補欠選挙で初当選。2007 年、埼玉県議会選挙で再選。新党派「無所属刷新の会」を結成 代表に就任。2011 年、埼玉県議会議員選挙で 3 期目当選。埼玉県議会「刷新の会」代表に就任。2015 年、13,348 票を得て埼玉県議会選挙で再選。無所属県民会議を結成、代表に就任。

情報交換会

総会終了後、情報交換会を準備しております。お時間の許す方はこちらへご参加お待ちしております。

情報交換会会場：レッドシューズ

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町 1-5-9 2 階 (TEL) 070-4077-1122

情報交換会参加費：4,000 円



役員選挙公示（立候補者）

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
選挙管理委員会委員長 尾形 智幸

平成 29 年 1 月 16 日公示しました役員選挙について、立候補届締め切りの結果、下記の通り候補者が決定しました。

つきましては、立候補者数が定款 19 条及び役員選出規程 12 条により、定数を超えないため、総会にて無投票により当選者を定めるものとします。

記

理事 立候補者（20 人）

芦葉 弘志	今出 克利	潮田 陽一	大西 圭一	岡田 智子	城處 洋輔
齋藤 幸夫	佐々木 健	清水 邦昭	田中 宏	寺澤 和晶	富田 博信
中根 淳	双木 邦博	堀江 好一	八木沢英樹	矢崎 一郎	山岸 正和
山口 明	結城 朋子				

監事 立候補者（2 人）

鈴木 正人 橋本 里見

以上

診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー —平成29年度(第19回)SARTセミナー—

主催 (公社) 埼玉県診療放射線技師会
(公社) 日本診療放射線技師会

新入会員の方を対象として行われている本セミナーは、(公社) 日本診療放射線技師会と合同企画として開催します。公益法人としての(公社) 日本診療放射線技師会、(公社) 埼玉県診療放射線技師会の活動紹介、および学術関係の基礎的な知識と実習を加え、新入会員の方のみでなく全ての診療放射線技師を対象とした講習内容を予定しています。皆さまの受講をお待ちしております。

プログラム (敬称略)

平成29年5月21日(日)

08:30～	受付開始	
08:55～09:00	開講式・オリエンテーション	
09:00～09:20	会長挨拶・技師会について	田中 宏(埼玉県診療放射線技師会会長)
09:20～09:50	社会人としてのエチケット・マナー講座	中根 淳(埼玉医科大学総合医療センター)
09:50～10:20	患者さんに優しい診療放射線技師	大河原侑司(さいたま赤十字病院)
10:20～10:30	休息	
10:30～12:00	医療安全講座 感染対策講座	矢島 慧介(上尾中央総合病院)
12:00～12:50	昼食(ご用意いたします)	
12:50～13:20	実際の検査について 消化器	今出 克利(さいたま市民医療センター)
13:20～13:50	実際の検査について CT・肺	荻野 奈規(済生会川口総合病院)
13:50～14:20	実際の検査について MRI	明田川尚宏(埼玉医科大学病院)
14:20～14:50	実際の検査について 一般撮影	高橋 忍(埼玉医科大学病院)
14:50～15:00	休息	
15:00～16:30	気管支解剖講座	富田 博信(済生会川口総合病院)
16:30～	入会案内・閉講式	

記

日 程:平成29年5月21日(日)

場 所:ウエスタ川越2階 会議室1.2(JR・東武東上線 川越駅西口徒歩5分)

受 講 料:無料

受講資格:診療放射線技師であればどなたでも受講できます

定 員:70人程度

申込方法:本会 Web サイトからお申し込みください。<http://www.sart.jp/>

締め切り:平成29年5月15日(月)

※参加申込書受け付けのご連絡、受講券の発行などは致しません。

参加申し込み後、そのまま会場にお越しください。

平成29年度 関東甲信越診療放射線技師学術大会

『信州から発信 健康長寿を目指して』 ～高齢化社会で求められる放射線診療・医療サービス～

開催日 2017年 6月 24日(土)～25日(日)
会場 主会場：長野市若里市民文化ホール
情報交換会：ホテル メルパルク 長野

大会HP：<http://www.knt.co.jp/ec/2017/kshg29/index.html>
事前参加登録受付期間：2017年 1月 15日～2017年 6月 1日
発表演題登録：2017年 1月 10日～2017年 4月 1日

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 南関東・北関東地域診療放射線技師会
一般社団法人長野県診療放射線技師会 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
公益社団法人東京都診療放射線技師会 公益社団法人茨城県診療放射線技師会
公益社団法人 神奈川県診療放射線技師会 一般社団法人栃木県診療放射線技師会
一般社団法人山梨県診療放射線技師会 一般社団法人群馬県診療放射線技師会
一般社団法人千葉県診療放射線技師会 一般社団法人新潟県診療放射線技師会

後援：長野県 長野市
支援：(公財)ながの観光コンベンションビューロー
実施：一般社団法人長野県診療放射線技師会
大会長：中沢 利隆 (一般社団法人長野県診療放射線技師会 会長)

実行委員会・事務局
長野赤十字病院 中央放射線部
〒380-8582 長野市若里5-22-1
Tel：026-226-4131(内線3158)
Fax：026-224-0782
E-mail：kkrtsc2017office@gmail.com

アクセスマップ



バス【長野電鉄】
長野駅東口(21番のりば)～保科温泉線「ビッグハット」下車徒歩1分
長野駅東口(21番のりば)～日赤・水野美術館線「水野美術館」下車徒歩3分
路線番号：14番「保科温泉線」15番「日赤線」

タクシー
長野駅東口から10分

お車で越越しの方
長野I.C.もしくは須坂長野東I.C.から20分
・国道18号線上千田交差点から西へ500m
・国道117号線荒木交差点から東へ1000m

第33回



日本診療放射線技師 学術大会

The 33rd Japan Conference of
Radiological Technologists (JCRT)

第24回東アジア学術交流大会 The 24th East Asia Conference of
Radiological Technologists (EACRT)

国民と共にチーム医療を推進しよう

Let's promote team medical care with the nation

未来への開港 — 技の継承と飛躍 —

Open a Port to the Future: The Succession and Progress of Techniques



会 期
Date 2017年9月22日(金)~24日(日) September 22nd (Fri)-24th (Sun), 2017

会 場
Venue 函館市民会館・函館アリーナ Hakodate civic hall / Hakodate arena

会 長
President 中澤 靖夫(公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)
Yasuo Nakazawa (The Japan Association of Radiological Technologists)

主 催
Sponsor 公益社団法人 日本診療放射線技師会
The Japan Association of Radiological Technologists

大会長
Chairman 板東 道夫(一般社団法人 北海道放射線技師会 会長)
Michio Bando (The Hokkaido Association of Radiological Technologists)

共 催
Cosponsor 一般社団法人 北海道放射線技師会
The Hokkaido Association of Radiological Technologists

運営事務局
Secretariat 株式会社コンベンションワークス 〒003-0809 札幌市白石区菊水9条3丁目1-17 TEL:011-827-7799 FAX:011-827-7769 E-mail:jcrt33@c-work.co.jp
Convention Works Corporation 1-17, 3-chome, Kikusui 9-jo, Shiroishi-ku, Sapporo, 003-0809 E-mail:jcrt33@c-work.co.jp

<http://c-work.co.jp/jcrt33/>





第2回

Saitama CT Colonography meeting

大腸がん解析コーナーも併設しておりますのでご利用ください。

埼玉CTコロノグラフィミーティング in KAWAGOE

2017. 5. 27 (土) 14:00~16:45 軽食配布先着30名

ウエスタ川越 川越市新宿町1丁目17番地17 電話: 049-249-3777

参加費
無料

大腸CTを中心に、消化管画像検査に携わる医療従事者を対象にレベルアップを目的とした研究会です。

テーマ: CTC始めましょう . . .

- | | |
|--------------------------------|---|
| | 総合司会 吉村公一 (川越胃腸病院) |
| 14:00 開会挨拶 | 代表世話人 横島義則 (和光病院) |
| 1) 14:00~14:15 | 情報提供 (共催メーカー: 伏見製薬) |
| 2) 14:15~14:40 「CTCセッション・セミナー」 | |
| 1・前処置について | 吉村公一 (川越胃腸病院)
澤田裕也 (EAファーマ) |
| 14:40~15:05 | |
| 2・CTC撮影技術について | 笹谷亮二 (朝霞台中央病院)
(SEKISUI) |
| 3) 15:05~15:30 一般演題 | 福島正樹 (武蔵野総合病院) |
| 「CTC術前検査について」 | 20分休憩 |
| 4) 15:50~16:10 教育講演1 | 浅野 聡先生 (川越胃腸病院) |
| 「読影レポートについて」 | |
| 5) 16:10~16:40 教育講演2 | 近藤和彦 (秩父病院)・吉澤 祐一 (岡病院)
藤井大悟 (埼玉石心会病院)・土屋洋介 (帯津三敬病院)・武田康弘 (川越胃腸病院) |
| 「大腸CT症例検討」 | 会場とのセッション・セミナー |

<https://sites.google.com/site/sctcmeeting/lecture>

後援: 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

共催メーカー: EAファーマ

協賛メーカー: SEKISUI (株)・堀井薬品 (株)

シーメンス (株)・伏見製薬 (株)・アミン (株)

CT vs MRI

ディベートセッション開幕

腹部領域の画像診断に雌雄を決する

第55回 SCTT セミナー
小研究会開催のお知らせ

- ❖ 平成29年 5月30日 (火)
19:00～
- ❖ エーザイ株式会社
大宮コミュニケーションオフィス
さいたま市大宮区
桜木町1-11 東通ビル8階
- ❖ 参加費 500円

※お飲物は配布しますが、
軽食などは用意しておりません。

座長

さいたま市立病院	藤田 功
済生会川口総合病院	富田 博信

MRI side

獨協医科大学越谷病院	宿谷 俊郎
済生会栗橋病院	渡邊 城大

CT side

さいたま市立病院	新堀 隆男
西狭山病院	小澤 昌則

MRIはペースメーカーが・・・
CTは被曝が・・・
では終わらせません！！

モダリティの特徴、検査の選択が
理解できる！！

プログラム

19:00～19:20	造影剤の安全性情報	エーザイ
19:30～21:00	ディベートセッション	上記参照

共催：埼玉CT Technology Seminar
エーザイ株式会社

SCTT代表：富田博信
当番世話人：小澤昌則

第38回 SAITAMA MRI Conference 特別講演会のご案内

SMC代表世話人 栗田 幸喜

謹啓

時下ますますご清祥の段、誠にお慶び申し上げます。

さて、下記の通り、SMC 特別講演会を開催する運びとなりました。

今回は『MRI 整理整頓』のテーマで改めて MRI を考え、翌日の仕事から生かせるような、フランクな情報交換の場にしたいと考えておりますので皆さま方には奮ってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

謹白

記

日 時：平成 29 年 6 月 10 日（土）13：30～16：45

場 所：大宮ソニックシティホール 国際会議室

参加費：1,000 円

《MRI 整理整頓》～改めて考える基礎から臨床～

座長：済生会栗橋病院 放射線技術科 渡邊 城大
13：30～

【教育講演 1】

『VSRAD』

演者：済生会栗橋病院 放射線技術科 大谷 真由美

【教育講演 2】

『造影検査プロトコル』

演者：バイエル薬品株式会社 アプリケーションスペシャリスト 水内 宣夫

【教育講演 3】

『MRI の勉強法と研究の進め方』

演者：群馬県立県民健康科学大学 診療放射線学部 林 則夫

(休憩)

座長：さいたま市立病院 放射線科 藤田 功

15：40～

【特別講演】

『骨内血管の豆知識 「骨壊死の MRA」』

演者：国保旭中央病院 放射線科主任部長

磯貝 純 先生

共催／SAITAMA MRI Conference
バイエル薬品株式会社

*磁気共鳴専門技術者更新のための研究会（5 単位）として認定されております。

（当日、受付にて更新の為の個人票に押印致しますので、ご提示ください）

*日本救急撮影技師機構より 2 ポイントとして認定されております。

第10回 東京・埼玉CTテクノロジーセミナー合同学術集会(仮)

救急を極める！～今、救急の現場で診療放射線技師に求められること～

当番世話人 東京慈恵会医科大学附属病院 庄司友和
さいたま市民医療センター 今出克利

日時：2017年7月1日(土)

会場：日経ホール&カンファレンスルーム

午前の部

10:00～当番世話人 あいさつ

10:05～「情報提供」エーザイ株式会社

10:20～「フレッシュャーズセミナーI」カンファレンス症例から考える救急CTにおける診療放射線技師の役割

座長：獨協医科大学越谷病院 郷久 将樹

演者：聖路加国際病院 宇内 大祐 先生

10:50～「フレッシュャーズセミナーII」タイトル調整中

座長：慶應義塾大学病院 杉澤 浩一

演者：静岡県立がんセンター 瓜倉 厚志 先生

～休憩10分～

11:40～「部位別ケーススタディー」

座長：北里研究所病院 小林 隆幸、埼玉県済生会川口総合病院 城處 洋輔

頭部領域 埼玉医科大学総合医療センター 白石 健吾 先生

腹部領域 演者：埼玉石心会病院 藤井 大悟 先生

循環器疾患 演者：江戸川病院 佐藤 英幸 先生、慶應義塾大学病院 南島 一也 先生

12:40～「ランチョンセミナー」(お弁当提供)(各社15分)

座長：イーメディカル東京遠隔画像診断センター 鈴木 雅裕、さいたま赤十字病院 渡部 伸樹

メーカー報告(シーメンス、東芝、GE、日立、フィリップス)

～休憩&機器展示～

午後の部

14:00～「教育講演I」攻めて極める！救急CT ～情報収集スキル～

座長：埼玉県済生会川口総合病院 富田 博信

演者：名古屋第二赤十字病院 大保 勇 先生

14:45～「教育講演II」俺のQQCT！ ～血管性病変を中心に～

座長：順天堂大学医学部附属順天堂医院 木暮 陽介

演者：倉敷中央病院 山本 浩之 先生

～休憩10分～

15:40～「特別講演」診療放射線技師が握る、救急画像診断の質

座長：東京慈恵会医科大学附属病院 庄司 友和、さいたま市民医療センター 今出 克利

演者：済生会横浜市東部病院 救命救急センター 船曳 知弘 先生

16:40～・閉会の辞

※詳細は、決まり次第、東京CTテクノロジーセミナー・埼玉CTテクノロジーセミナー・埼玉県診療放射線技師会ホームページにて掲載させていただきます。

第38回ソニックCTカンファレンス

第38回当番幹事

埼玉県立がんセンター 野津 聡

日時：平成29年7月31日（月） 18:30～21:00
場所：大宮ソニックシティ・ホール4F 国際会議室
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 TEL 048-647-4111
会費：1,000円

共催メーカー情報提供 (18:30～18:50)

富士製薬工業株式会社

講演Ⅰ

(19:00～19:30)

座長：所沢PET画像診断クリニック 院長 石田 二郎 先生

『 PET イメージングの最近の話題 』

大阪大学理学部・医学部

招聘教授 矢野 恒夫 先生

講演Ⅱ

(19:30～20:00)

座長：所沢PET画像診断クリニック 院長 石田 二郎 先生

『 臨床現場でPEMを使いこなす 』

宇都宮セントラルクリニック

理事・放射線専門医 佐藤 俊彦 先生

特別講演

(20:00～21:00)

座長：埼玉県立がんセンター 放射線診断科 部長 野津 聡 先生

『 デジタルPETと画像解析 』

東京医科歯科大学 放射線診断科

教授 立石 宇貴秀 先生

日本救急撮影技師認定機構：2単位 肺がんCT検診認定機構：5単位 日本X線CT専門技師認定機構対象セミナー：1単位

本会終了後、パレスホテルにて情報交換の場を用意しております

共催：ソニックCTカンファレンス 富士製薬工業株式会社

「メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスについて」

編集情報常務理事
八木沢 英樹

本会会員は、専用アカウント（ID・PW）を用いてメディカルオンライン無料閲覧サービスを受けることができるようになりました。

※メディカルオンライン（Medical Online）とは、医学論文をダウンロード 医療の総合ウェブサイト。医学文献の検索全文閲覧をはじめ、医薬品・医療機器・医療関連サービスの情報を幅広く提供する、会員制の医学・医療の総合サイト。

サービスの内容：メディカルオンラインで掲載の本会誌「埼玉放射線」（全文・アブストラクト）、および他学会誌アブストラクトを無料で閲覧・検索することができます。

2017 年度アカウントについて
<～ 2018 年 3 月末日まで有効>

学会様専用 ID：1100007180-02
パスワード：zcsxkey7

雑誌名①：埼玉放射線
雑誌 URL：http://mol.medicalonline.jp/archive/select?jo=ew2saita

貴会雑誌 URL をクリックしますと、機関誌アーカイブ画面へ遷移します。
画面右側の会員認証欄に上記 ID/PW ご入力後、機関誌の閲覧が可能となります。
(添付：学会誌閲覧方法.pdf ご参照)

*重要 アカウントの更新・移行期間に関して

専用アカウントは、1 個発行し、年度毎（4 月～3 月）で変更致します。
今回は、2018 年 2 月上旬に新アカウントを事務局さま（本 Mail アドレス）へご案内致します。

*メディカルオンラインでの検索は自由、アブストラクトは全誌閲覧可能です。

尚、埼玉放射線以外で全文ダウンロードボタンを押すと
「あなたは文献をダウンロードする権限がありません」と表示されます。
あらかじめご承知おき願います。

※メディカルオンラインご利用に際してのお願い

一定時間内に論文を大量にダウンロードする事は、会員規約で禁止事項としています。

◆メディカルオンライン会員規約◆

<http://www.medicalonline.jp/img/houjinkiyaku.pdf>

※大量ダウンロードが発生した場合

そのご利用端末に対し、最大で1時間の利用停止措置の案内がメディカルオンラインより自動配信されます。

配信後においてもさらに続きますと、メディカルオンラインのサーバーに必要以上の負荷が掛かるため
本会専用アカウントの利用停止に至る場合があります。

株式会社メテオ

コンテンツ部

東京都千代田区神田須田町 2-7-3

TEL : 03-5577-5877 FAX : 03-5577-5878

学会誌 閲覧方法

学会誌無料閲覧サービスにお申込みいただきありがとうございます。
閲覧方法(手順)について、ご説明させていただきます。



学会誌アーカイブ

① 雑誌名URL:<http://mol.medicalonline.jp/>.....

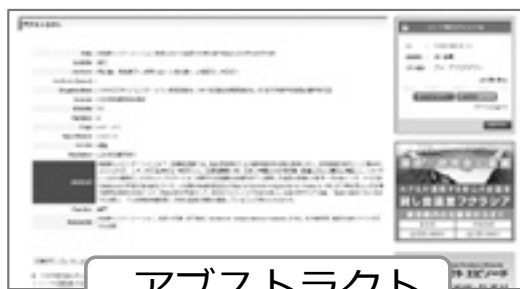
インターネット上で雑誌名URLにアクセスすると、
メディカルオンライン掲載中の貴学会誌アーカイブが
表示されます。

② 学会様専用アカウント(ID・PW)でログインを行い、
閲覧したい巻号をクリックします。



論文タイトル

③ 論文タイトルが表示されますので、
ご覧になりたい「アブストラクト」、
「全文ダウンロード」をクリックしてください。



アブストラクト



全文PDF

メディカルオンラインでの検索は自由。
他学会誌・商業誌はアブストラクトのみ無料で閲覧できます。

*ご利用に関しては、“Medical*Online会員規約”に準じます。
<http://www.medicalonline.jp/img/houjinkyaku.pdf>
一定時間内に大量に論文をダウンロードした場合、該当の端末でのご利用を一時的に停止させていただきます。
また、サイト内に広告が表示される場合がございますので、予めご了承下さい。

株式会社メテオ

安全な MRI 検査のために～環境づくり～ ～新人技師自動育成計画～

自治医科大学附属さいたま医療センター
小山 芳征

1. はじめに

当センターの規模は病床数 608 床、26 診療科、1 日平均外来患者数 1,358 人であり、MRI 検査室においては東芝社製 MRI3 台 (EXCELART Vantage powered by ATLAS 1.5T、Vantage Titan 1.5T、Vantage Titan3T) を技師 5 人、看護師 3 人で日常業務を行っています。当センターでの安全に対する環境づくりや試みをご紹介しますと思います。

2. 当直業務における MRI 検査と新人技師

当直業務で MRI を施行するようになり、新人技師にどのように教育すれば安全を確保し MRI を施行出来るかを MRI 主任技師とベテラン技師 K で検討し、討論しました。

討論結果は無理。

MRI は常時磁場が発生しており、体内金属の把握や適応の有無、体外金属の排除、吸引事故の可能性が有りリスクが高いです。新人技師は MRI 装置の操作ができて、診断に耐えうる画像を得られても安全は守れません。

安全を守れるリスク管理の高い技師とは
経験と知識を積んだ一人前の技師である。

ではどうするのか？

今までの教育体制では、個人差はあるが半年間でルーチンができるようになり、1 年間でリスク回避も含めて 1 人前と思われる実力を得ていました。

今回、新しい教育体制を確立し、教育期間を半減し、3 ヶ月でルーチン習得、半年間でリスク回避を含めた 1 人前の MRI 技師を育成する事を試みました。

新教育体制での新人技師の目標

- ・危険を未然に防ぐ能力を半年間で身に付ける
- ・質を落とさない検査が施行できる
- ・患者さまに柔軟に対応した撮像ができる

新教育体制での指導技師の目標

- ・同じ事を何度も言わなくてもよい環境を作る

指導技師の目標を説明します

皆さんの MRI 教育環境で確認したいのは、去年、何度、同じ注意を若手技師にしましたか？

当センターでは、去年の新人技師 6 人、今年の新人技師は 7 人です。同じ注意を一人の技師に 3 回するとして、私は 2 年間で 39 回、同じ注意をしなければなりません。

もう うんざりです。

注意する内容は一つではありません、複雑で柔軟な対応が必要な MRI において、気を付けなければならない事が沢山あるので、私が新人技師に注意する回数はもっともっと膨大です。

そこで必要なのが「教育の効率化」です。

3. 教育の効率化とは

「病院業務はミスが許されない。技師もミスが許されない」当たり前ですがなかなか難しい。

新人技師が迷いや不安を抱えながら学ぶ現状を何とかしたいと思っています。

そのために、指導技師には大変だとは思いますが、1～10まで全てを書いた業務マニュアルを作成して欲しい。プロとして、職人としてのこだわりや考えを含めた各病院 MRI 検査室専用マニュアルで、これさえ見れば大抵の事はできる内容にします。

そのマニュアルを見ながら、新人技師は予習し、復習し、メモを取る必要もない状態が理想。

また MRI 撮像中も、そのマニュアルを見れば、注意点なども把握でき、見ながら撮像するイメージです。

新人技師がそれぞれ同じようなメモを取り、ノートをまとめることが本当に効率のかを考えて欲しい。

あなたの病院の教育方法は十年前と同じですか？ 改良されていますか？

「昔は自力で学んだ」ではダメだと思います。

さすが、〇〇病院放射線部だと胸を張れる教育システムにして欲しい。

4. 当センターのマニュアルとは (図 1, 図 3)

7つのマニュアルを統合し、これさえ見れば業務が成り立つようにします。

- ① 医療安全管理マニュアル
- ② MRI 安全管理マニュアル
- ③ 撮像マニュアル
- ④ 操作マニュアル
- ⑤ 作業マニュアル
- ⑥ 感染対策マニュアル
- ⑦ 業務到達度チェック項目

新マニュアルの効果

- ・新人技師が自動的に育つ
- ・優秀な新人技師はほっといても育つ・・・ならば全員がその状態を目指す
- ・指導技師側から見ると同じ事を何度も言わなくても良い環境

久しぶりに MRI を担当する若手技師への効果

- ・シーケンス・PE 方向・撮像方向を確認できる (撮像し忘れ防止)
- ・DYNAMIC のタイミングを確認できる
- ・簡単に検査内容・注意点を復習できる
- ・ちょっとした不安や迷いを自身で解決できる

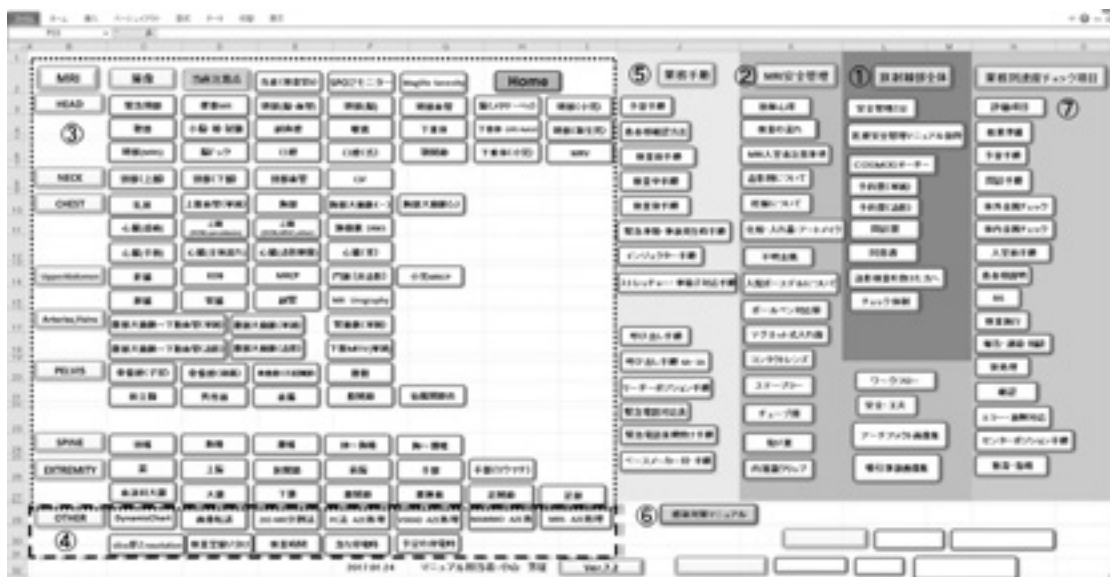


図 1 MRI マニュアル (全体像)

①医療安全管理マニュアルとは

放射線部全体のミスに対する予防策を提示するマニュアル（総論）

- ・指示医のオーダー段階でのミス
- ・患者取り違い・DICOM 通信ミス
- ・左右の誤認
- ・異物の写り込み
- ・撮像条件設定ミス
- ・接遇（体に触る時は、事前に声を掛けるなど）
- ・サーバー・データ整理段階のミス
- ・造影剤に関するミス（注射もれ、選択ミス）など

②MRI 安全管理マニュアルとは

- ・体内金属について
- ・体外金属について
- ・その他 MRI に関する全ての決め事を記載

③撮像マニュアルとは

- ・PE 方向やスライス厚、撮像するために必要な基本パラメーターが全て書いてあるマニュアル

④操作マニュアルとは

- ・MRI 装置・ワークステーション・サーバーへの転送方法などにおけるハードの使用方法を記載

作業マニュアル（手順書）と撮像マニュアルと操作マニュアルの違いを理解する。

⑤作業マニュアル（手順書）とは

- ・作業マニュアルとは、繰り返すインシデントを防ぐ為のルールである

作業マニュアル（手順書）を説明します。

例えば、ファーストフードのレジの操作において、マニュアル通りに操作をすれば商品と金額が入力され、買い物合計金額がはじき出される。しかし、注意していても、1,000 円を「1 万円」と間違えて入力してしまうことがある。結果お釣りを間違えて渡してしまう。

そこで作業マニュアル（手順書）が必要になる。

「1 万円入りま〜す」と言葉に出す、出さなくてもレジ操作はできるが、声に出すことによって、入力ミスを減らす事が出来ます。

「見れば分かるでしょ？」という基本的なミスが起こるのを防ぐためには、作業マニュアル（手順書）は必要で、現場の状況に合わせて追加・変更されることが多い。

同じようなインシデントが再発する場合は、マニュアルを作成する指導技師と若手技師との医療安全に対する意識の違いによるものと考えられる。すなわち安全な医療を行う上で、なぜその手順が必要になるのか個々が理解し、行動しなければ立派な作業マニュアルも意味がない。

指導技師側はマニュアル通りにやればいい・・・っていうけれど

新たなインシデントが生じるたびに作業マニュアルはどんどん書き換えられていく。それは膨大な量になって、多くのローテーターが内容を把握しきれず、曖昧なまま日常業務をこなす事になります。

そして忘れたところに大きなミスが生じてしまう。その繰り返しです。

この悪循環を防ぐためには

指導技師はなぜその手順が必要なのかを十分に、かつ分かりやすく説明しなければならない。

⑥感染対策マニュアル

- ・手指衛生方法：消毒方法や手袋を変えるタイミングなどを記載

⑦業務到達度チェック項目 (図2)

・新人技師がどの程度業務を習得できているかを明確化したもの、3ヵ月後に新人技師に指導技師が渡す

新人技師に対して

学生時代の通知表のイメージです

- ・習得の有無
- ・反省点
- ・アドバイスを

図2 業務到達度チェック項目 (詳細)



図3 MRI マニュアル (詳細)

5. 看護師さん視点の環境作り (チーム医療)

目標：患者さまのことは全て看護師さんに聞ける環境

看護師さんはMRI検査室に3人在籍するが、基本的には2人(リーダー、サポート)で3台の装置を担当して、残りの1人をフリーとする。フリーの業務内容(図4)は、明日の予習(約40人の明日の患者さまのカルテを見て、体内金属・体外金属・アルコール綿禁止・腎機能・閉所恐怖症の有無・検査中静止出来るか・眠剤必要性・妊娠・流産・化学療法など患者さまの全ての情報を得るイメージ)(図5)

得た患者さま情報から、

- ・6ヵ月以内の腎機能が評価されていなければ、主治医に採血オーダー依頼し、患者さまに電話して、MRI検査の1時間前に来院していただく
- ・他院で挿入した不明確なステントなどは、患者さまに電話して、挿入した病院に聞いていただき検査当日までにメーカー・型番を明確にして

いただく

- ・外さなくてはならない輸液ポンプなどは前日に、病棟に指示出しする
- ・眠剤が必要だと思えば、前日に主治医に相談し、眠剤オーダーを依頼する

明日のMRI検査業務がスムーズに進むように全ての準備をするのが看護師さんフリーの1日の仕事

看護師さんフリーの1日

9時～ 検査室(外回り)+情報共有
 10時～ 明日の情報収集「セーフティリスト」作成
 11時
 ～ 3人の看護師さん1時間づつ お昼ごはん
 14時
 14時～ 明日の情報収集「セーフティリスト」作成
 15時45分～ 物品補充、リネン補充、ゴミ捨て、整理整頓、ロッカー掃除、更衣室掃除

月 火 水 木 金
 F ⇒ R
 F ⇒ R
 F ⇒ R
 F ⇒ R

患者様の事は全て看護師さんに関わる環境
 F:フリー
 R:リーダー

図4 看護師さんフリーの1日のスケジュール

患者ID	検査時間	検査部位	検査内容	検査前準備	検査後準備
1	9:00	頭	脳実質強調 T2WI (20min)	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml
2	10:00	小腸造影	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml
3	10:10	腎臓	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml
4	11:00	小腸造影	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml
5	12:00	造影剤	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml
6	12:30	造影剤	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml
7	13:00	MRI	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml
8	14:00	頭	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml
9	14:00	造影剤	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml
10	16:00	造影剤	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml	造影剤 50mg/ml 造影剤 50mg/ml

図5 セーフティリスト詳細 (明日検査内容)

明日の全患者さまのリスクを予習して、セーフティリストを作成し、把握する。ブリーフィングにて技師5人看護師3人で情報共有する。ブリーフィング制度の導入

毎朝 8:35～8:45の間に看護師さんと技師で本日の患者情報や注意点を共有している。

当日依頼の緊急検査について

「緊急患者情報用紙」(図6)をサポート看護師が作成し、技師・看護師間で情報共有する。看護師さんが緊急患者さまの把握のみでなく、患者さまを呼ぶ順番の決定

例:

- ・この緊急患者さまは17時ではなく、外来患者さまを待たせても今すぐ、施行してください
- ・この嘔吐している患者さまは感染症が疑われているので、新生児の直前に行くのは避けて、可能ならば本日の最後が良いと思う など

緊急患者情報用紙 (MR用)

患者氏名: [] 性別: [] 年齢: []
 検査時間: [] 検査部位: []
 検査内容: []
 検査前準備: []
 検査後準備: []

検査時間: 12:43 検査部位: 頭 検査内容: 造影剤 50mg/ml
 検査前準備: []
 検査後準備: []

人工呼吸機: []
 心電図: []
 酸素飽和度: []
 血圧: []
 脈拍: []
 体温: []
 瞳孔: []
 意識: []
 尿量: []
 排泄物: []
 ベッドメーカー/スヤント/人工呼吸機/酸素吸引/フタ等
 確認済み []
 フライン []
 ドレーン []
 造影剤 []
 イレウスチューブ []
 コロシウムチューブ []

その他: []

図6 当日依頼の「緊急患者情報用紙」

6. 技師視点の環境作り

- ・マニュアルは最低年2回更新している
- ・昼食は後回しにしない
11時～14時までに済むようにして、余りにも遅い時間にならないように配慮する。
ミスが許されない医療において、ちゃんと休憩をとる事も大切にしたい
- ・通常業務時間に明日の予習時間導入
通常業務後の夜に疲れた状態で
明日の予習はしない

全員の昼食後に当日午前中の画像確認時間と明日の予習時間を各技師に順番に用意している。前週に各技師にポジションを提示しているの、自身が担当する装置で行う検査方法や患者さまの病変の把握を行う。迷いがある時は、放射線科医師や主任技師に確認し、指示を仰ぐ、検査に対応できるようにする。(作戦やどのような画像が欲しいかイメージする)

- ・吸引事故画像集
インターネットより、数々の吸引事故画像をまとめ、マニュアル記載し注意喚起する。
- ・画像アーチファクト集
よく見かけるアーチファクト画像をマニュアル記載して、新人が日常業務中にアーチファクトに気が付きやすくする。

最新の体内金属情報を手に入れる工夫をしている
熊本大学：

MRI 検査における医療材料の適合性検索システム

<https://www.medic.co.jp/mridb/>

構想中

MRI・KYT（危険予知トレーニング）の導入
MRI 検査室でよくあるインシデントを再現し、写真や動画でその場面を撮影し、どのようなリスクが潜んでいるか、クイズ形式で新人技師に出題して事故を未然に防ぐ力を育成する。

まとめ

- ・検査安全の質は準備で7割が決まる
- ・技師も看護師も準備に対して、十分な人と時間を確保している
- ・把握・予習・復習を大切に
- ・MRI 検査室の安全は、技師が守る意識を持つ

「プロトコルを考える」 ～基礎からの腰椎 MRI～

上尾中央総合病院
石川 応樹

1. 腰痛の概論

1-1 はじめに

腰痛を訴える原因の約8割は、画像検査では異常が見られない非特異的腰痛といわれており、その2/3（腰痛全体の約半分）は、ストレス、不安、鬱などの心理的・社会的要因が関与している心因性腰痛症といわれている。

表1は、腰椎診療ガイドライン2012に記載されている腰痛の原因別分類である。

脊椎由来
腰椎椎間板ヘルニア
腰部脊柱管狭窄症
分離性脊椎すべり症
代謝性疾患（骨粗鬆症、骨軟化症など）
脊椎腫瘍（原発性または転移性腫瘍など）
脊椎感染症（化膿性脊椎炎、脊椎カリエスなど）
脊椎外傷（椎体骨折など）
筋膜性腰痛
腰椎椎間板症
脊柱靭帯骨化症
脊柱変形など
神経由来
脊髄腫瘍、馬尾腫瘍など
内臓由来
腎尿路系疾患（腎結石、尿路結石、腎盂腎炎など）
婦人科系疾患（子宮内膜症など）、妊娠
その他（腹腔内病変、後腹膜病変など）
血管由来
腹部大動脈瘤、解離性大動脈瘤など
心因性
うつ病、ヒステリーなど
その他

表1：腰椎の原因別分類
(腰椎診療ガイドライン2012より引用)

一概に腰痛といっても、その原因にはさまざまなものがある。重要なのは、原因の明らかな腰痛を見付け出すことであり、それが画像診断の役割であると考えられる。

1-2 原因の明らかな腰痛

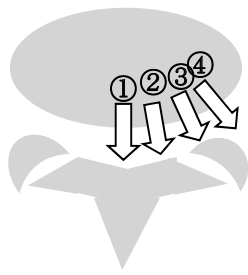
原因の明らかな腰痛としては、脊椎腫瘍、脊椎感染症、脊椎外傷、その他神経症状を伴う椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄症・脊椎すべり症などが挙げられる。ここで『神経症状を伴う』ということが重要となる。その理由として、腰痛のない健常人でも約8割に椎間板の変性が見られ、約7割に椎間板ヘルニアが認められたという報告がある。検査を施行する上で、画像所見があるからといって、それが必ずしも症状を伴うものではないことを認識しておく必要がある。

2. 腰椎椎間板ヘルニア

2-1 概要

日本人の腰痛のほとんどは、坐骨神経痛が原因であるといわれている。坐骨神経痛の症状は臀部～大腿外側～下腿前面～足部に広がるしびれや放散痛である。神経支配を考えると、該当部位を支配しているのは下位腰椎神経根であり、それらの神経根が圧迫されていると推測される。

図1は、椎間板ヘルニアの局在を示したものである。椎体後面には後縦靭帯があるため、後正中型よりも後外側型の頻度が高い。また椎間板ヘルニアによって発症する症状は、同一椎間板レベルでも圧排部位によって異なる神経症状を呈することがある。例えばL4/5椎間板で考えると、②で圧排すると考えられる神経はL5神経根であるが、④で圧排すると考えられる神経はL4神経根である。神経症状に対して撮像計画を立てる際には、このことにも留意する必要がある。



- ①後正中型 (15～20)
- ②後外側型 (80%)
- ③椎間孔内外側型
- ④椎間孔外外側型

図1：椎間板ヘルニアの局在

2-2 椎間板ヘルニアのプロトコル

- ・ Sagittal：T1WI、T2WI
- ・ Axial：T2WI

T2WI Sagittalでは椎間板の突出によるヘルニアの有無を、T1WI Sagittalでは主に椎体の変性を診る。Axialでは椎間板ヘルニアが神経根を圧排している程度を評価する。T1WIでは、脂肪消失などにより椎間孔狭窄の評価に有用な場合があるが、当院ではAxialはT2WIのみの撮像としている。

検査目的は坐骨神経痛を疑う場合がほとんどであるためL3～S1までを連続Axialにて撮像している。ただし『外側大腿皮神経痛』などの上位腰椎神経の圧迫が疑われる場合には、上位腰椎も連続Axialで撮像している。この理由となる症例を図2に示す。これは椎体中部に位置する椎間板ヘルニアの症例である。通常は椎間板に対して平行にスライスを計画し、それを中心として3スライス程度撮像している施設が多いのではないだろうか。しかし、図2の症例は、その撮像計画では捉えられない部位にヘルニアが存在している。このような症例を逃さないためにも、神経支配領域に合わせた連続Axialで撮像する必要がある。

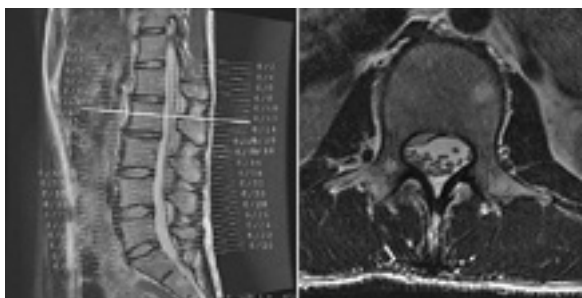


図2：椎体中部に位置する椎間板ヘルニア

3. 腰部脊柱管狭窄症

3-1 概要

腰部脊柱管狭窄症は、変形性脊椎症や椎間板や椎体終板の変性に加え、椎間関節過形成や黄色靭帯肥厚の増殖性変化により脊柱管が圧排され狭窄を起こすものである。

好発部位は頻度が高いものからL4/5、L3/4、L5/S1であり、椎間板ヘルニア同様、下位腰椎に偏っている。

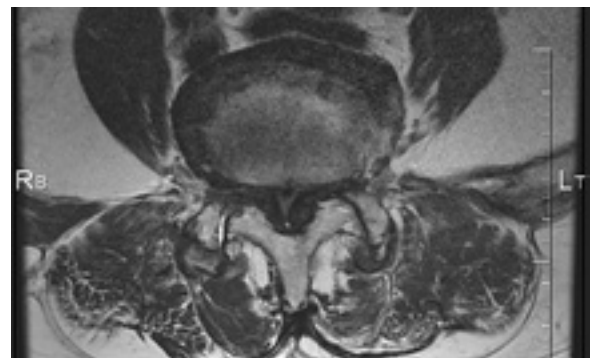


図3：腰部脊柱管狭窄症

3-2 腰部脊柱管狭窄症のプロトコル

- ・ Sagittal：T1WI、T2WI
- ・ Axial：T2WI

MRIでは椎間板突出、黄色靭帯肥厚、それらに伴う中心性、外側陥凹狭窄を描出することができる。Sagittalでは椎間板の突出、椎間関節の骨棘の評価を、Axialでは中心管および外側陥凹における脊柱管狭窄の程度を評価する。

図3は、腰部脊柱管狭窄症のAxial画像である。黄色靭帯が肥厚し脊柱管を圧排しており、左右の骨棘過形成も確認することができる。

4. 脊椎すべり症

4-1 概要

脊椎すべり症には分離すべり症と変性すべり症があり、分離すべり症は第5腰椎に、変性すべり症は第4腰椎に好発する。分離すべり症は脊椎分離があるために起こり、脊椎分離症の20%程度が分離すべり症に移行する。変性すべり症は椎体を支持している靭帯、椎間板、椎間関節などにゆるみが生じ、椎体を支えきれなくなることによ

て起こる。

基本的に脊髄すべり症の重症度評価は、腰椎単純 X 線側面像で行う。MRI の有用性は、スポーツなどを活発に行っている若年者に頻発する分離症の早期発見に寄与するとの報告がある。図 4 は、若年者の脂肪抑制付加 T2WI Coronal 画像である。左側椎弓に高信号を認め、分離症であることが示唆される。

4.2 脊椎すべり症のプロトコル

- ・ Sagittal : T1WI、T2WI
- ・ Axial : T2WI、脂肪抑制付加 T2WI
- ・ Coronal : 脂肪抑制付加 T2WI

腰部脊柱管狭窄症のプロトコルを基本とし、分離部は脂肪抑制付加 T2WI でより鮮明な高信号を呈するため (図 5)、脂肪抑制を併用した T2WI を追加する。また通常の椎間板に平行な Axial 断面から下位 2 スライス程度を撮像しておくで椎弓が描出されるため、分離症が疑われる場合には下位 2 スライスまで撮像すると良い。

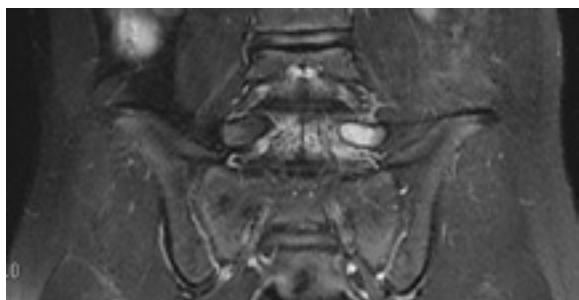


図 4 : 脊椎分離症 (脂肪抑制併用 T2WI)

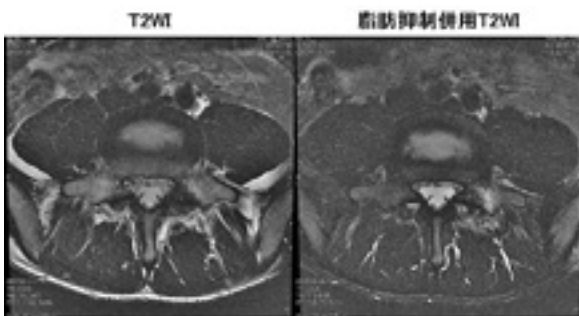


図 5 : 脊椎分離症 (脂肪抑制付加の有無)

4.3 馬尾弛緩 (redundant nerve root)

前屈・背屈により、馬尾神経が狭窄部から上方へ押し出されることにより生じるたわみであり、高度の脊柱管狭窄が存在する場合に生じる、屈曲・蛇行した馬尾神経のことを示す。これが見られる場合には、弛緩部の遠位に高度な狭窄があることが示唆される。



図 6 : 馬尾弛緩

5. 椎体骨折

5-1 概要

骨粗しょう症や外傷によるものと、腫瘍性のものがあり、骨粗しょう症による脊椎圧迫骨折は、胸腰椎移行部に好発する。外傷性には圧迫骨折と破裂骨折があり、これらの鑑別が必要である。

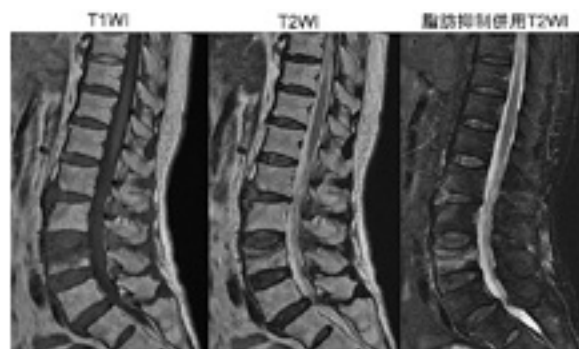


図 7 : 椎体骨折

5-2 椎体骨折のプロトコル

- ・ Sagittal : T1WI、T2WI、脂肪抑制付加 T2WI
- ・ Axial : T1WI、T2WI

MRI では骨折部分が異常信号として捉えられ、変形が少ないものでも診断できる。また骨折の安

定性の評価と時期の推定、腫瘍性骨折の鑑別にも有用である。早期（発症後1ヵ月以内）の圧迫骨折では、MRI 検査において椎体変形、骨髄浮腫、T2WI における線状～帯状の低信号、椎体の後方への突出などの所見を示す。

ほとんどの場合、T1WI と脂肪抑制付加 T2WI で評価可能である。Axial では、椎体の圧潰による神経根圧排の程度や脊髄損傷、後方成分の損傷の評価を行う。

6. 腫瘍（転移性腫瘍）

6-1 概要

脊椎の悪性腫瘍の中で最も多いものは転移性脊椎腫瘍である。転移性腫瘍には大きく分けて、溶骨型、造骨型、骨梁間型、混合型の4種類があり、脊椎転移の頻度は骨梁間型>造骨型>溶骨型>混合型の順となっている。圧迫骨折を伴うものは骨粗しょう症による圧迫骨折との鑑別が必要となる。

表2をご覧くださいと分かる通り、転移性腫瘍は多種多様な信号パターンを示す。ここで、造骨型のDWIの信号強度を見ると不明瞭と記載されているが、最近では未治療の骨転移であれば、どのようなパターンであっても高信号を呈するとの報告があるため注意が必要である。

表2：骨転移の画像パターンと信号強度

パターン	T1WI	T2WI	造影 T1WI	DWI
溶骨型	低信号	高信号	増強	異常信号
造骨型	低信号	低信号	不明瞭	不明瞭
骨梁間型	等～低信号	等信号	等信号	等信号
混合型	低信号	部分的 高尊号	部分的増強	部分的 異常信号

6-2 転移性脊椎腫瘍のプロトコル

- ・ Sagittal：T1WI、T2WI、脂肪抑制付加 T2WI
- ・ Axial：椎体腫瘍部位の T1WI、T2WI
(造影後：脂肪抑制併用 T1WI Sagittal、Axial)

椎弓は転移性骨腫瘍の好発部位であるため、Sagittal は必ず椎弓まで含めて計画する。Axial では腫瘍自体の評価と傍脊椎軟部組織や脊柱管内への進展、脊髄圧排の有無を評価する。

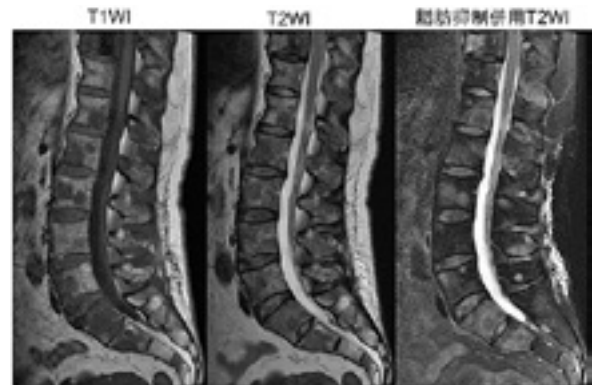


図8：乳がんのびまん性骨転移

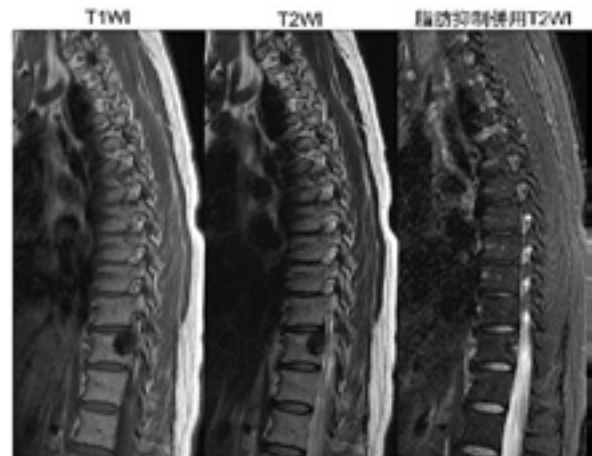


図9：造骨型骨転移

6-3 椎体骨折の良悪性の鑑別

良悪性の鑑別に In-Phase と Opposed-Phase の Subtraction が有用との報告がある。Subtraction 画像では良性の椎体骨折は高信号、悪性の椎体骨折は低信号となる。これは良性の椎体骨折は椎体内の脂肪髄が消失しておらず、Opposed-Phase にて信号低下をきたすが、悪性の椎体骨折は脂肪髄が腫瘍組織に置き換わっているため信号低下をきたさないことが原因と考えられる。

図10は、脊椎リンパ腫の画像である。L1に圧迫骨折を認めるが、Subtraction 画像では信号低下が認められず、良性骨折であると考えられる。

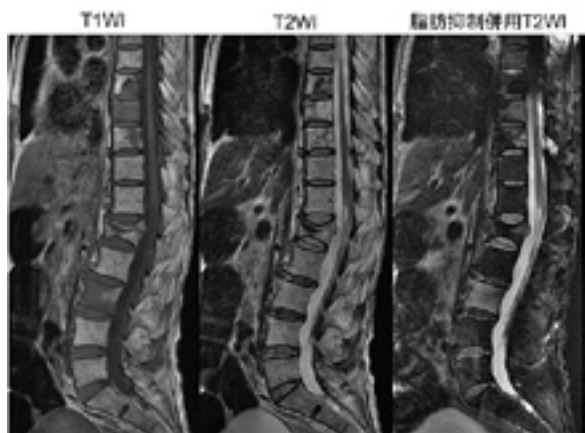


図 10：脊椎リンパ腫

7. 感染（化膿性脊椎炎・脊椎カリエス）

7-1 概要

化膿性脊椎炎と結核性脊椎炎では治療法が異なるため、早期に鑑別する必要がある。化膿性脊椎炎の特徴としては、椎体終板の骨破壊、骨硬化を伴い、椎間腔は早期より狭小化する。これに対し、脊椎カリエスでは椎体終板の破壊は少なく、椎間腔も保たれる。化膿性椎間板炎では侵襲性が強く、椎間板への浸潤が高い確率で起こるが、脊椎カリエスは進行が緩やかであるため、椎間板浸潤より前に前縦靭帯下や椎体後部要素へ進展する。そのため、脊椎カリエスでは、しばしば Skip lesion を生じる。

好発部位については、化膿性椎間板炎は下部腰椎であるのに対し、脊椎カリエスは中部胸椎～移行部となっている。

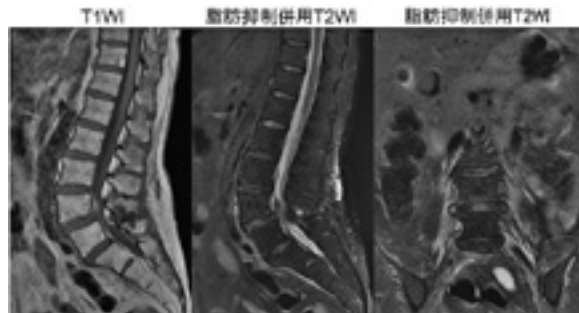


図 11：化膿性脊椎炎

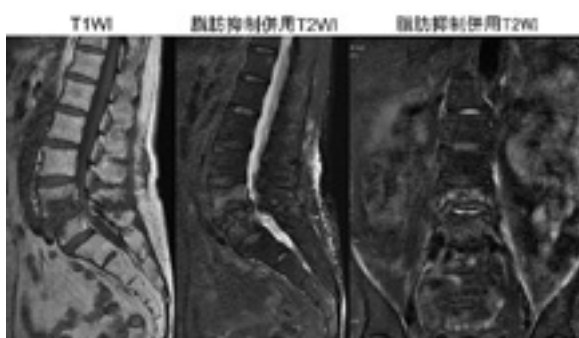


図 12：化膿性脊椎炎（3 カ月後）

Gillams らによると、化膿性椎間板炎の治療後の MRI 検査では、臨床症状の改善があっても骨および椎間板の異常信号は続くとしており、軟部腫瘍の消失と骨髄への脂肪沈着が治癒過程に入っている際の最も頼りになる所見であると報告されている。

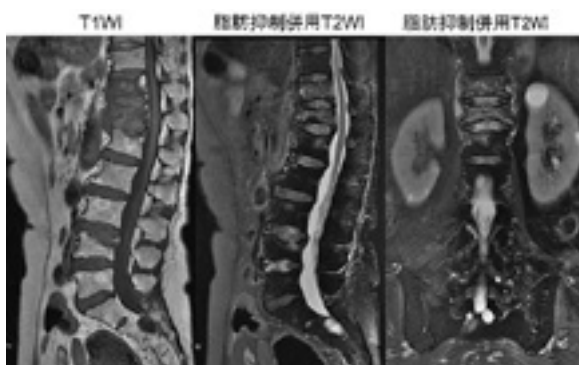


図 13：脊椎カリエス

7-2 感染のプロトコル

- ・ Sagittal：T1WI、T2WI、脂肪抑制併用 T2WI、DWI
- ・ Coronal：脂肪抑制併用 T2WI
- ・ Axial：T1WI、T2WI

急性期の画像所見は、骨髄性浮腫と血流増加を反映し、T1WIにて低信号、T2WIで等～高信号、脂肪抑制併用 T2WIで明瞭な高信号を呈する。化膿性脊椎炎では硬膜外膿瘍や傍椎体腫瘍を形成し、脊椎カリエスでは腸腰筋膿瘍を合併することがあり、脂肪抑制併用 T2WICoronal がこれらの検出に有用である。

若年者の赤色髄では T1WI で正常な椎体の信号が低いため、骨髄の浮腫がマスクされてしまうことがあるため、注意が必要である。

感染の Axial は全体的な炎症の程度や範囲を把握することが重要であるため、図 14 に示すように、L1～S1 を全て含むよう連続 Axial で計画する。

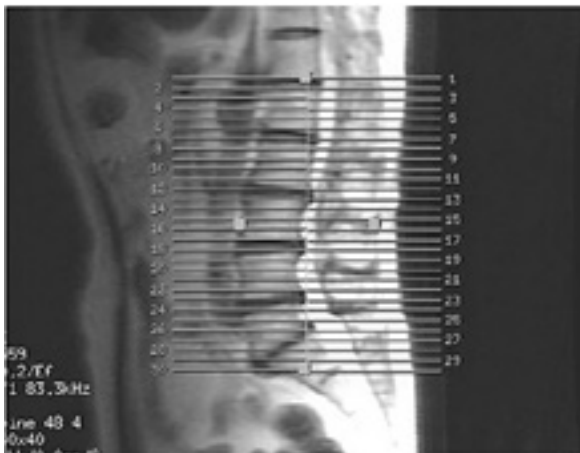


図 14：感染の Axial 撮像計画

7-3 DWI の有用性

図 15 は、化膿性脊椎炎の画像である。T1WI で L5/S1 の椎間板は低信号、椎体も骨髄浮腫で低信号、脂肪抑制併用 T2WI で高信号となっており、椎体後方に硬膜外膿瘍を認める。また椎体終板は保たれている。同部位は DWI でも高信号を呈しているが、DWI ではさらに S2 にも明瞭な高信号を認め、炎症の波及があることが分かる。

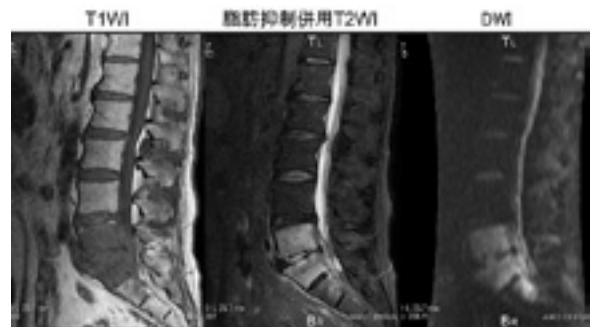


図 15：化膿性脊椎炎

8. おわりに

腰椎 MRI 検査の目的にはさまざまな疾患があり、それぞれに応じた撮像プロトコルを適用する必要がある。適切なプロトコルを適用するためには、検査目的を正確に把握し、検査に臨む必要がある。検査目的が腰椎椎間板ヘルニアと書かれているだけで、詳細な内容が記載されていないこともあるだろう。そのようなときにはカルテを開き、症状を確認することで、デルマトームからおおよその神経を推定することができるため、撮像範囲を特定することができる。

本稿では、腰椎 MRI における各疾患別に適切と思われるプロトコルを提示した。これが腰椎 MRI 検査を行う上で、撮像計画の一助となれば幸いである。

「院内勉強会活動報告」

～救急医療画像カンファレンスの開催～

公益委員 新久喜総合病院
眞壁 耕平

近年医学は日々進歩しており、医療技術の高度化、複雑化に伴う業務増大に対応するため、多種多様なスタッフがそれぞれの専門性を高め、患者の状況に的確に対応した医療を提供する「チーム医療」がさまざまな医療現場で実践されている。その中で私たち診療放射線技師は、よりスムーズな医療を患者に提供できるよう、多職種に対して放射線の正しい知識の院内勉強会を開催することが望ましい。

当院は2016年4月より新法人へ移行し、新たに24時間365日“断らない病院”へと生まれ変わり、救急搬送件数も増大している。そのため、救急科を中心としたメディカルスタッフ間での情報共有を図ることを目的とし、「救急医療画像カンファレンス」と題した勉強会を2週に1度、診療放射線科、臨床検査科、救急科医師を交えて開始した。現在までに行われたテーマは「脳梗塞」「高エネルギー外傷」「イレウス」「心タンポナーデ」「気胸」といったもので、実際に救急搬送された患者データを基に、診療放射線科と臨床検査科で撮影された画像や検査値から読み取れるものを解説し、最後に救急科医師からの見解やテーマに対する講義を行い、1時間程度の勉強会となっている。



図1：CT画像を用いた症例発表の様子

参加者も毎回20人を超え、有意義な勉強会となっており、今後も継続する方針となっている。

その他に、診療放射線科としては、救急対応をする際にポータブル撮影とFASTが重なることがあるため、ポータブル時における被ばくの説明も行っている。日常業務においては臨床検査技師もMRIを撮影することもあるため、画像解説の他に、吸着事故を未然に防ぐ内容や造影剤の説明も取り組むことで、診療放射線技師としての役割を担っている。またこの勉強会の最大のメリットは実際に救急対応している医師が参加するため、ディスカッションをすることで業務改善を図ることができている。当院では実際にCTとMRIが2台ずつ稼働しており、救急患者がいつ搬送されても撮影できるようにとの要望があり、それぞれ1台の予約枠の変更を検討した経緯がある。

今後の展望として、現在行っている救急画像カンファレンスに救急外来看護師や病棟看護師、リハビリスタッフを加え、規模を広げ、正しい知識、役立つ情報を共有することで診療放射線科を中心とした「チーム医療」の質の向上を目指していければと考えている。



図2：救急科医師による講義風景

「病院向け放射線検査部門管理支援サービス ASSISTA Management の紹介」

富士フィルムメディカル株式会社
販売統括本部 MS 部 畔柳 宏之

FUJIFILM
Value from Innovation

1. はじめに

富士フィルムは、医療施設向けクラウドサービス「ASSISTA Portal」の新サービスとして、一般 X 線撮影時の撮影線量指標（以下、EI *1）など各種撮影情報をクラウドにアップロードすることで、自動でさまざまな分析軸のグラフやリストに整理して表示できる病院向け放射線部門管理支援サービス「ASSISTA Management（アシスタ マネジメント）」を開発したので紹介する。

2. 「ASSISTA Management（アシスタ マネジメント）」の開発の背景

昨今、一般 X 線撮影の運用が急速に CR から DR に切り替っている。このような状況において、DR の特長である線量の低減、最適化やワークフローの改善、また再撮影の原因分析に取り組む施設が増えてきている。しかし、これらを実践するには煩雑な作業を伴いつつ、大量に発生する各種撮影情報を集約し、統計的な分析を行う必要があった。そこで富士フィルムはそれらの課題を解決すべく、撮影実績・検査時間・稼働実績などの情報を一元的に収集し、ユーザーが簡便な操作で実現できるサービスの開発に取り組んだ。

3. 「ASSISTA Management（アシスタ マネジメント）」の仕組み

「ASSISTA Management」の仕組みを図 1 に示す。

当社ではリモート保守サービス「ACTIVE LINE」を有しているが、同じルートを利用する。図の通り CR や DR の制御装置（以下、Console Advance *1）で発生する情報をゲートウェイ PC（以下、RSPC）に集約する。次に、その情報をデータセンターにアップロードして統計処理を行う。ユーザーは一定時間後に統計処理された情報を WEB レポート形式で閲覧することが可能にな

る。なお、セキュリティの観点では厚生労働省・経済産業省・総務省が出している 3 省 4 ガイドラインに沿ったセキュアな環境を整えている。またアップロードされる情報の中で個人情報には匿名化処理を行っている。

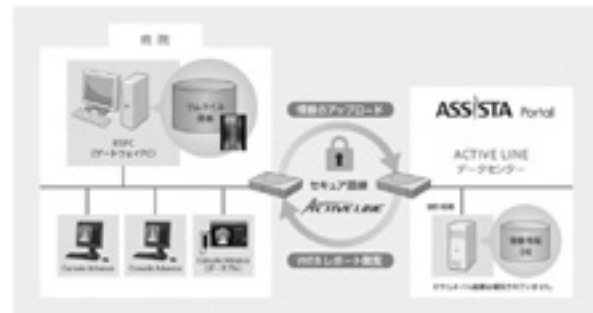


図 1. 「ASSISTA Management」の仕組み

4. 機能の紹介

本サービスには、主に「撮影線量指標の管理」「写損管理」「稼働率管理」を軸とした機能を備えている。以下、主な機能を紹介する。

4-1 「撮影線量指標の管理」について

近年、J-RIME（医療被ばく研究情報ネットワーク）の「最新の国内実態調査結果に基づく 診断参考レベルの設定」の発表などで各モダリティの線量の最適化についての関心が高くなっている。一般 X 線撮影においては、EI を利用し、線量の評価や最適化を行う事が一つの手法と考えられる。

本サービスでは、Console Advance で算出されたデータを統計処理することで簡便に評価することが可能である。図 2 に、検査日ごとの腰椎撮影の EI の変化を示す。縦軸に EI、横軸に検査日を取り、折れ線グラフは EI の平均値の推移を示し、各上下の線分は標準偏差を示す。

EI の評価を行う過程で詳細な分析が必要になった場合には、ドリルダウンの機能を使用する（図 3）。棒グラフや折れ線グラフで表示されたデータをクリックすることで、患者の年齢・撮影室・撮影者・撮影情報・画像リスト表示など、各種の分析軸が表示される。例えば、ある検査日の EI が想定よりも高くなるなど、変化が見られ、分析が

必要だと判断した場合には、分析軸から画像リストを選択することでサムネイル画像や撮影情報の確認が可能になる。(図4、図5)。この機能により撮影状況を精度よく把握することができる。

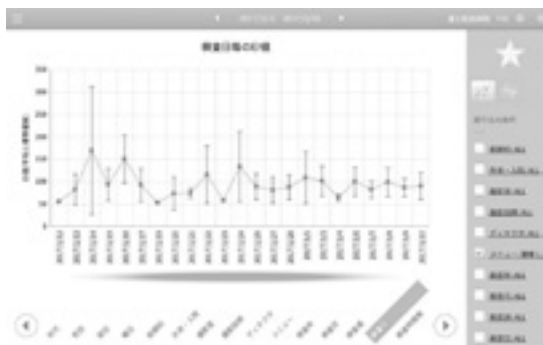


図2. 検査日ごとのEIの変化



図3. ドリルダウンの表示例



図4. 画像リストの表示

さらに複数の施設でこの機能を使用しているが、AECを使用する撮影では、EIは比較的安定した推移をたどり、標準偏差を小さくなる傾向にある。一方、AECを使用しない撮影メニューでは、EIの変化や標準偏差も大きくなる傾向にあるので、分析軸を活用することで原因の特定や対策に有効であるとの声をいただいている。また撮影室間の比較も簡単にできるので、線量指標の管理以外での有効活用も今後期待される。



図5. 撮影情報の表示

4.2 「写損管理」について

デジタル化が進んだことで再撮影・写損の発生状況の把握が困難であることは放射線部門の課題の一つであった。通常、写損となった画像はPACSに送信されないため、検像端末でも確認することができない。写損画像を確認するためには、撮影室ごとに検査単位で操作する必要があり、煩雑な作業を伴っていた。

この課題を解決するため、写損状況を管理する機能を搭載した。図6に、部位ごとの写損率の表示例を示す。写損の発生状況を一元管理しているので、各種分析軸によってさまざまな切り口で状況を把握することが可能である。

撮影メニュー・受診者の年齢・撮影技師などの分析軸を使うことで発生状況の分析が可能になり、撮影手技の教育や標準化での有効利用が期待できる。

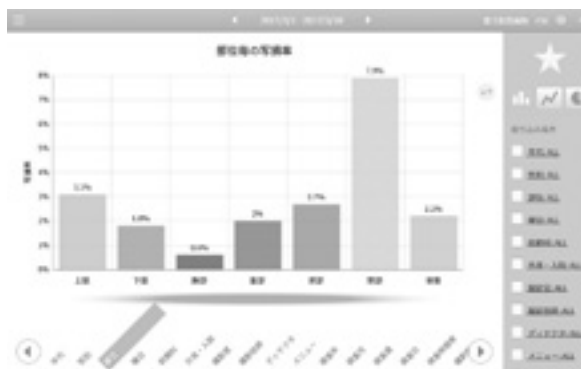


図6. 部位毎の写損率

また昨年末、「写損管理」機能に新たに「写損カンファレンス」機能を追加した。従来「ASSISTA Management」に標準搭載されている「写損管理」機能では、図4の通り、表示される画像サイズが小さく、高画質で確認したいとの

要望を受けていた。そこで写損画像と再撮影した画像を高画質で比較できる機能を新たに開発した。通常、Console Advanceで発生した写損画像はPACSに送信されないが、RSPCに送信する機能を追加したことで実現する。図7に、その機能を示す。左に写損画像、右に再撮影後の画像を表示する。なおRSPCはDICOMデータを受信した後、JPEG（高画質モード）に変換している。

「写損カンファレンス」では、他の機能と同様に検査日・撮影メニュー・撮影者などの分析軸で表示することができるので、目的に合わせた写損カンファレンスの設定ができる。導入施設からは、撮影手技の教育や標準化に役立つとの声を頂いている。



図7. 写損カンファレンス機能

4.3 「稼働率管理」について

放射線部門の課題の一つとして検査効率の向上や患者待ち時間の短縮が挙げられる。

本サービスでは稼働率や撮影に関わる情報を見える化することができる。図8に撮影室の稼働率を表示する。この例では、縦軸に稼働率と検査数を表示し、横軸に一日の時間帯を表示する。

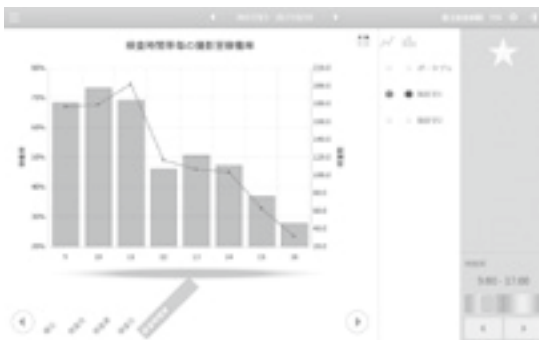


図8. 撮影室の稼働率

折れ線グラフは稼働率を示し、棒グラフは検査数を示す。なお稼働率は、Console Advanceで

の撮影メニューの展開から撮影完了までの時間を稼働状態として算出している。

また図9に、撮影準備時間を示す。撮影準備時間とはConsole Advanceでの撮影メニューを展開した時点から撮影後、画像が入力するまでの時間を統計処理した値である。この機能により撮影メニューごとに要する準備時間を評価することが可能になる。

人員配置の適正化や患者待ち時間を低減のためには、定量的な情報から状況分析や課題抽出を行い、対策を立案することが一つの手段だと考えており、本サービスが支援ツールになることを期待している。

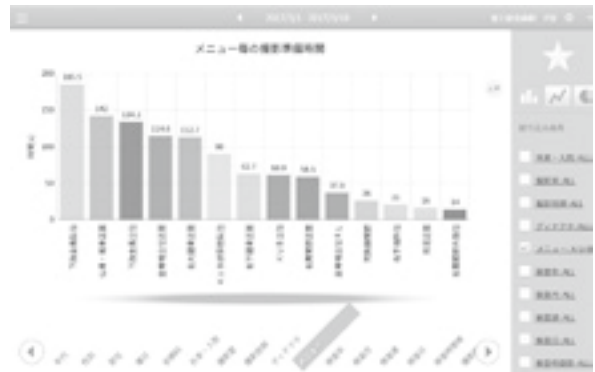


図9. 撮影準備時間

5. まとめ

今回、病院向け放射線部門管理支援サービス「ASSISTA Management（アシスタ マネジメント）」を開発した。放射線部門における課題解決に本サービスが寄与できれば幸いである。

*1 Exposure Index。IEC（国際電気標準化委員会）で標準化された撮影感度指標のこと

*2 患者情報入力および画像処理や制御を行う装置。（販売名：富士フイルム DR-ID300の構成品の画像処理ユニット）

Be Smart.



一般 X 線撮影 間接変換 FPD 装置

CALNEO *Smart*

CALNEO Series 最高峰、新カセットDR



C12 [四切サイズモデル]



C47 [14×17インチモデル]



C77 [17×17インチモデル]



S47 [14×17インチモデル]



S77 [17×17インチモデル]

2.5kg のライトボディ

GOSタイプ 14×17インチモデルの
バッテリー交換式で実現

内蔵メモリ搭載

最大 **100枚** まで撮り貯め可能
四切サイズモデルは最大200枚まで

抗菌・防水・耐荷重性能兼備

銀系
コートの **約100倍** の抗菌性能
IPX6準拠の防水性能
全面耐荷重310kg

「DoseWatch」による被ばく線量最適化への取り組み

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

サービス本部 サービスグロース部・親松 里織



■はじめに

近年、放射線を用いる医療の進歩と発展により医療被ばくが急速に増大しており、特にCTにおいては検査頻度の増加に伴う医療被ばくの増加が問題となり社会的に注目されるようになった。医療被ばくについては、その実態の把握と適切な管理が課題となっており、欧米では早い段階で政府機関および学会などによって、線量の最適化に向けた活動が推進されていた。日本では、2015年に初めて診断参考レベル（DRL）が発表され、このDRLを活用し、線量最適化を行うことで医療被ばくが低減されることが期待されるようになった。医療施設で用いている典型的な線量がDRLを超えている場合、臨床的に正当な理由がない限り、線量が最適化されているかどうかを判定するための見直しを行う必要があるといわれている。一般的には、施設で稼動する機器の性能やプロトコルなどを調査し、高線量の原因を突き止め、適正な線量の使用に向けた対策を講じる。対策を講じた後、施設の典型的な線量を再度評価し、DRLより低くなったことを確認し、それを継続して実施することで線量最適化が進むと考えられている。¹⁾

DRLとの比較により代表的な検査の最適化は進められるが、それ以外の検査や施設固有のバラツキに気付くことは難しい。こうした問題に対処するためには、撮影条件や線量情報を蓄積し解析する目的で、構築された線量管理システムが必要であり、DRLの運用を省力化する上でも役立つと考える。

■線量最適化にむけて

DoseWatchはGEが開発した線量管理システムである。DoseWatchはGE製品だけではなく、異なるメーカー、CT、アンギオ、マンモといった異なるモダリティーの装置をネットワーク経由で線量データを受信可能である。受信したデータは検査・撮影部位・患者など、さまざまな切り口で分析し、可視化することで施設の状況が把握できる。線量超過の原因の究明および改善、改善後のモニタリングを通して院内での線量最適化を支援するトータルソリューションである。

1. DoseWatchの機能

DoseWatchに搭載されている主な機能を紹介する。

1) 自動線量通知機能

統計データ（平均値や中央値など）を基に、検査や累積線量に対して閾値を任意に設定することができ、閾値に到達した場合には、適宜、アラートを発信することができる（図1）。

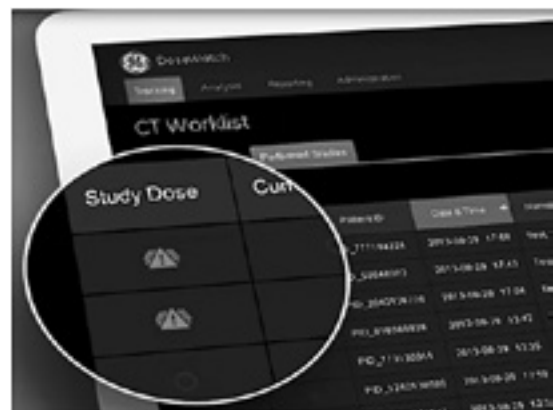


図1. 自動線量通知機能

2) カスタマイズレポート

装置・検査・期間ごとなど、さまざまな切り口で線量最適化のための情報を提供し、レポート形式にまとめることができる。これらのデータを用

いて、さまざまな統計的解析が可能となる（図2）。



図2. カスタマイズレポート

3) 患者線量管理

患者ごとの線量レポート（累積線量や撮影回数情報）が作成できるため、X線機器トータルにおける被ばく管理が可能となる。診断、治療、フォローでの医療被ばくを把握することで、患者に正確な情報の提供をサポートする（図3）。



図3. 患者線量管理

4) Size-Specific Dose Estimation (SSDE)

CTの線量評価の指標として使用されているCTDIは、16cmまたは32cmのファントムで吸収された線量がベースとなっているため、特に小児では過小評価となる問題が報告されている。そこで、Size-Specific Dose Estimation (SSDE)²⁾という考え方が重要になってくる。SSDEは、American Association of Physicists in Medicine (AAPM)にて発案された計測法で、実際の体型を画像データから加味して計算し、患者体型に適した吸収線量へと変換する方法である。CT画像データを装置に転送することで、位置決め画像を基準に自動的に計算される。



図4. SSDE

5) インシデントマッピング

アンギオ装置において、Cアーム角度による線量の分布とオーバーラップを視覚的に分かりやすく表示でき、患者の皮膚被ばく位置の経過観察を行うことができる（図5）。



図5. インシデントマッピング

2. DoseWatchの活用

DoseWatchを活用したCT線量最適化を中心として事例をいくつか紹介する。

1) DRLと施設の線量との比較

DoseWatchは、接続した複数の異なるメーカーや機種別のCT装置のプロトコルを機械的に標準化することで、各種検査における施設全体の線量を計算でき、DRLと施設の線量を適正に比較することができる（図6）。一方、閾値としてDRLを設定することで線量が超過した検査のみを検出できるので、スムーズにその検査の詳細を確認し、超過の原因を追究できる（図7）。

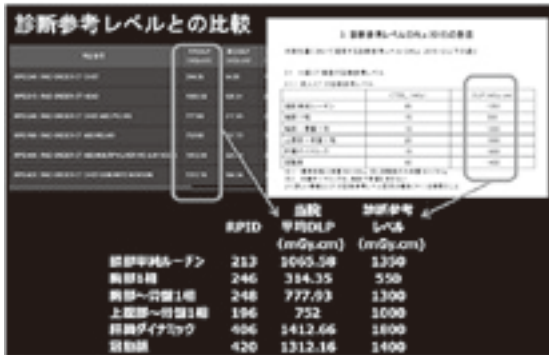


図6. DRLs2015 との比較¹⁾

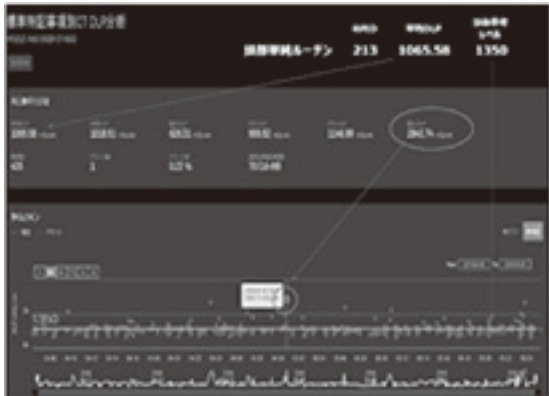


図7. 頭部単純ルーチン検査のDLP分析

2) 線量のバラツキの平準化

DoseWatch では時間帯別に閾値を超えた検査の割合を把握することができ、実際、図8のように夜勤帯のほうが日勤帯に比べその割合が高いことを容易に視認できる。線量超過の主な原因は、患者さんの状態の違いだけでなく、適切なプロトコルの選択・撮影範囲の設定・ポジショニングの工夫など、改善できるポイントがあり、それらを確認することができる。このように今まで見えなかった線量のバラツキを可視化することで施設の課題を顕在化できる。

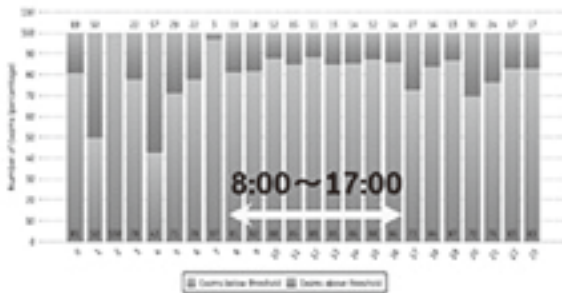


図8. 時間帯別アラート件数

3) DoseWatch による生産性向上

DoseWatch で管理する線量のデータの中には、線量情報以外にもさまざまな情報を保有している。例えば、検査実施情報により検査の効率化が図れ、生産性の向上につながることも可能である。時間帯別の検査数の分布図の例を示す(図9)。一日の繁忙期が分かり、時間帯をうまくコントロールすることにより、効率的な撮影室の回転・生産性の向上を図ることができると考えられる

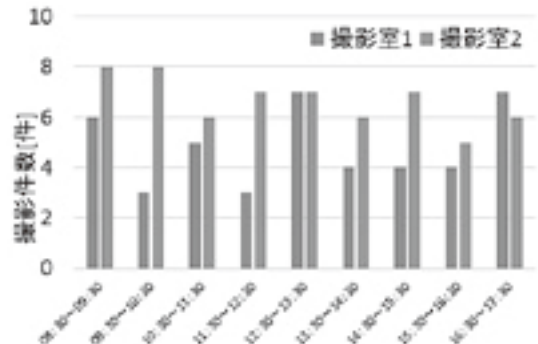


図9. 時間帯別検査件数

■まとめ

線量最適化を実現するためには、ツールの導入だけでなく、運用体制、データの標準化、低線量医療機器の導入も含めた、総合的な取り組みが必要になる。GE は、低線量医療機器、弊社アプリケーションスタッフのサポート、線量管理システム DoseWatch を揃えたモダリティーメーカーである。この強みを生かし、トータルで医療施設の線量最適化に貢献したいと考えている。

- 1) 医療放射線防護連絡協議会、日本小児放射線学会、日本医学物理学会・他：最新の国内実態調査結果に基づく診断参考レベルの設定
- 2) Size-Specific Dose Estimates (SSDE) in Pediatric and Adult Body CT Examinations http://www.aapm.org/pubs/reports/rpt_204.pdf



線量最適化支援ソリューション

DoseWatch

体格にあった撮影条件ですか？

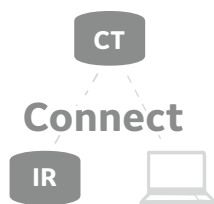
放射線診断検査において、各患者や検査ごとに適切な線量で撮影することは不可欠です。

DoseWatchは施設全体の線量データをモニター・管理することにより、技師間のばらつきの低減、リスク管理、線量最適化を支援します。



独立した
管理システムです

DoseWatchは、診断装置から独立して操作できるウェブベースの線量最適化支援ソリューションです。



異なるモダリティ、
メーカーとつなげます

X線CT撮影装置、血管撮影装置などの異なるモダリティ、メーカーの医療機器から線量情報を直接取得、追跡、レポートするシステムです。



施設内全体の線量管理を行い、
線量の最適化を図ります

DoseWatchは、線量超過の原因を突き止めることにより撮影時の線量を最適化し、より低被ばくで、より鮮明な医用画像の作成をサポートします。

「X線線量情報の一元管理システム」

～ Radimetrics ～

バイエル薬品株式会社
ラジオロジー事業部 上村しづ香



はじめに

2015年6月7日にJ-RIMEからDRLs2015が発表され、線量管理について注目が集まってきている。Radimetrics（ラジメトリクス）は、診断参考レベル（Diagnostic Reference Level：DRL）の運用や被検者ごとの累積線量管理、線量データの収集・解析・分析など、線量情報の可視化が可能なマルチモダリティーに対応した、X線線量情報の一元管理が行えるシステムである。今回は、X線線量管理を導入する施設に、診療業務の効率化と線量の適正化を実現する機能を有しているシステムソリューションとしての技術を紹介する。

製品概要

Radimetrics（ラジメトリクス）は、CT装置、血管撮影装置、透視装置、CR/DXなどの一般撮影装置、マンモグラフィー装置などの検査装置から発生するDICOM画像、RDSR（Radiation Dose Structured Report）を検査装置から直接受信、もしくはPACSなどのシステムを介してデータを受信することもでき、検査の検索/取得が可能である。Webブラウザで線量情報参照ができ、CT検査の線量表示では、モンテカルロシミュレーションを使用して、推定値として臓器線量と実効線量の算出が可能。また横断面画像からスライスごとの直径・水等価直径（WED：Water Equivalent Diameter）を算出し、AAPM TG204で規定された係数を基に、SSDEの算出も可能である。また他システムへの線量情報の転送なども可能としたシステムである。

製品特長

1. ネットワーク型マルチモダリティー対応

さまざまなモダリティーに対応可能で、院内のネットワークに接続している端末からデータの参照が可能。また中立的な立場にたつての対応が可能なベンダーニュートラルなシステムである。

図1のような検査装置及び各種線量指標に対応しており、X線線量情報の一元管理を行うことができる。

	検査装置	CT	XA	RF	CR/DX	MG
線量指標	CTDivol	●				
	DLP	●				
	実効線量 (ICRP 103, 60)	●				
	SSDE	●				
	DAP (面積線量)		●	●	●	●
	透視時間		●	●		
	基準点線量		●	●		
	入射皮膚ピーク線量		●			
	EI (Exposure Index)				●	
	乳房線量					●

*検査装置によって取得できる線量情報は異なります

図1. 対応検査装置・線量指標

2. 累積線量トラッキング機能

累積されたデータは、被検者毎での累積臓器線量、累積実効線量および検査履歴を管理し、ブラウザで参照できる（図2）。

患者ID	性別	生年月日	年齢	A1	A2	X1	X2	CT	CR	DX	MG
00084958X	女性	194203/19	74歳	0.11	0.08	7331	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
00006241X	男性	194605/16	70歳	0.08	0.06	4340	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
00054632X	男性	1943/12/27	73歳	0.14	0.10	4220	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
00005903X	男性	1942/11/10	74歳	0.10	0.07	3908	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
00005976X	男性	1945/08/15	71歳	0.08	0.06	3643	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
00034990X	男性	1942/12/16	74歳	0.08	0.06	3622	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
00136755X	女性	1946/11/01	70歳	0.11	0.08	348	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01

図2. 患者累積線量表示

被検者ごとの詳細確認も、被検者を選択し、患者スコアカードと表示させることで可能である。

画面表示(図3)は、ユーザーごとにカスタマイズ可能で、モダリティー別に必要なグラフを作成することもできる。また棒グラフでは累積線量・非累積や、表示線量年数の選択もできる。



図3. 患者スコアカード画面

3. SSDE (Size Specific Dose Estimates)

CT検査では、アキシャル画像から算出された直径に応じて、係数を算出し、SSDEが表示されるため、体型補正を行った線量指標として使用することができる。

Radimetrics (ラジメトリクス) では、アキシャル画像から各スライスの水等価直径 (WED: Water Equivalent Diameter) を算出し、線量指標(図4)を表示できる。

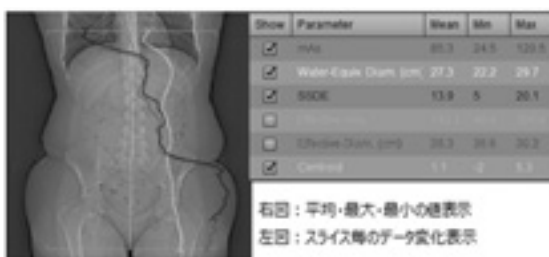


図4. 検査分析画面

4. 検査の解析機能 (シミュレーションツール)

CT検査では、線量の分析や、管電圧・管電流・照射範囲などを変更した場合に増減する線量のシミュレーションを行え、線量の最適化を検討することができる(図5)。また推定線量データをcsvやExcelなどへ抽出することも可能。これらは検査プロトコルの再検討や教育などに役立つと思われる。

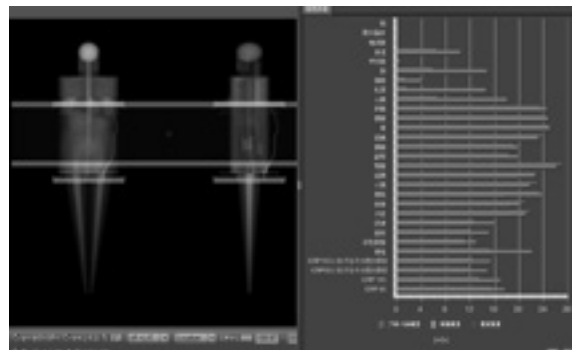


図5. シミュレーション画面

5. インテリジェンスレポート

使用するユーザー毎に、必要な情報を表示するダッシュボード機能があり、装置別、プロトコル別、検査部位別などの統計線量情報をカスタマイズ登録することにより、いち早く目的の情報をWeb参照することができ、個々で作成したグラフを他と共有する機能も有している。またしきい値グラフを作成し(図6)、超えた部分をダブルクリックすると、しきい値を超えた検査が表示され、詳細を確認でき、検査の最適化の再考などに活用できる。

また作成したシートに対して、期間を指定して自動でレポート生成できる機能も備えており、週や月別に確認が行いやすくなっている。



図6. グラフ作成例

■品質管理機能

Radimetrics（ラジメトリクス）は、施設ごとのしきい値を設定する事が可能。患者・検査・シリーズ単位に設定が行え、体重などの体型フィルターや施設データを使用して、パーセンタイルを設定することも可能である（図7）。しきい値を設定することで、カラーインジケータの表示に連動する。設定された値に対して、緑色は施設で設定したしきい値内であることを示し、黄色はしきい値の上限に近付いていることを示す。赤色はしきい値の上限を超えていることを示す。体重などの体型補正もアラート設定時に行えるが、インジケータは視覚的に分かりやすいようにする機能である。

またしきい値を設定することにより、アラートを発信することが可能で、院内の管理に対して業務の効率的なサポートが行える。

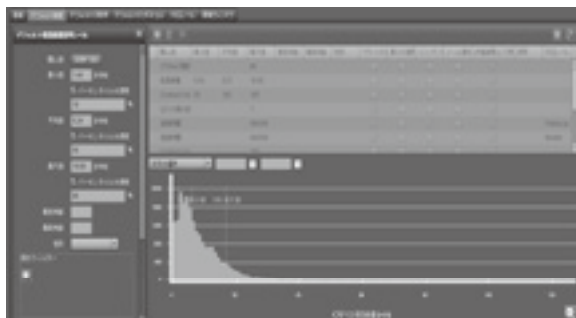


図7. しきい値設定画面

■他システムとの連携

他システム（RIS/HIS など）との連携も可能である。電子カルテシステムへ収集された情報の送信や、患者 ID や Accession No を使用して URL を連携起動し、線量情報を表示することもできる。また線量管理と造影検査管理を合わせての分析を行うこともできる。自動注入器（Stellant Certegra Workstation）より、造影剤注入情報を取得して、検査情報に線量と造影検査の両方の情報が合わせたの分析が行える。自動注入器からの注入条件・開始終了時間・造影剤詳細・操作者・依頼者情報などの表示、設定値と実際の注入結果の比較や、注入最大圧・流量などをグラフで表示確認することが検査ごとに可能である。（図8）

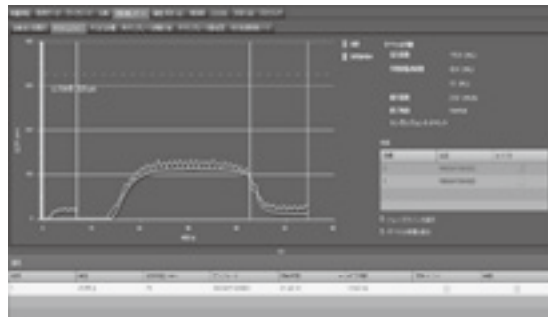


図8. 注入最大圧・流量グラフ表示

■おわりに

Radimetrics（ラジメトリクス）はベンダーニュートラルのシステムであり、マルチモダリティ対応として、マンモグラフィ装置の X 線線量情報も含め、今後も随時対応モダリティを追加していく予定である。また IHE-J (Integrating the Healthcare Enterprise-Japan) の REM (Radiation Exposure Monitoring) に対応しており、今後も医療システムの標準化を行っていく。

今後、日本でも CT 装置などの X 線を使用する検査で照射した X 線線量の管理が必要になり、広く普及してくると予想される。本システムはさまざまなモダリティにおける被検者の累積線量の管理、さらには線量データの解析・分析が容易にでき、各検査における照射線量の可視化・標準化が行えるさまざまな機能を有しており、各検査における照射線量の標準化に、本システムは貢献できると考える。

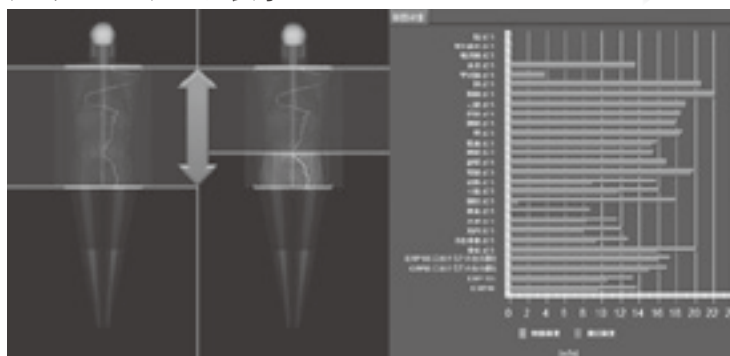
X線線量情報の一元管理システム

マルチモダリティ対応と柔軟なデータ活用により、線量情報の管理が効率的に行えます。

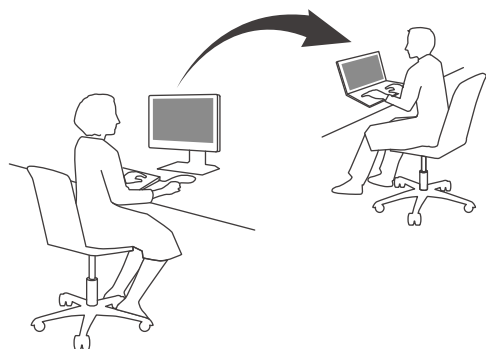
分析表示



シミュレーション表示



累積線量表示



「被ばく線量管理システム DOSE MANAGER」

～医療被ばくの正当化・最適化のために～

EIZO メディカルソリューションズ株式会社
営業部 IT ソリューション課 加島 陽



1. はじめに

放射線に関する被ばく管理は、管理上の便宜・合理性を考慮し、以下の3種類に区分されている。①職業被ばく ②医療被ばく ③公衆被ばく
本システムは、上記②の情報を患者単位で統合管理するためのツールである。診療放射線技師が業務のなかで線量コントロールを行うためのエビデンスを提供し、患者さまに対する被ばく線量管理に関するインフォームドコンセントを適切に行うためのツールを診療現場に提供することを目的としている。

DOSE MANAGER は DICOM MPPS (Modality Performed Procedure Step) 情報や RDSR (Radiation Dose Structured Reports) 情報を、RIS 情報とマッチングさせて患者の被ばく線量を管理するゲートウェイシステムである。RDSR データには、撮影時の医療機器ごとの撮影プロトコルは保存されるが、撮影技師が RIS で視認しているオーダ情報は現時点ではほとんど保存されていない。そのため RIS 情報と RDSR 情報を結合させて、管理する必要がある。

2. システム構築

モダリティー種別ごとに異なる線量情報や照射情報を DICOM Dose-SR に準拠したテンプレート形式で保持する。

患者に利用した全ての照射情報を RIS の検査項目単位で保持することが可能。

検査単位での DoseReport を施設要望に合わせて生成し、管理データは、RIS 検査項目単位や撮影装置単位で CSV 形式でのデータ出力が可能である (一般的な定型帳票も順次、リリース予定)。

一般撮影においては、DICOM MPPS で接続されている医療機器データは RIS に保存され、接続されていないデータは RIS にて照射情報入力を行う。RDSR が出力可能な機器は DICOM 通信を用いて、直接 RDSR 内のデータを DOSE MANAGER で照射情報として保存する。

または、PACS に一旦送信した SR 情報を DOSE MANAGER が Q/R で取得し、内部的にオーダ番号 (Accession Number) をキーとして照合マッチングさせる。(図 1)



図 1. SR データと RIS データのマッチング

3. Dose Viewer

院内において、情報共有をより一層深めるため、Web ブラウザにて HIS/RIS/PACS との起動連携が可能である。患者の被ばく線量情報は時系列に検査単位で閲覧することができる。(図 2)

放射線部門内、主治医への情報提供、患者へのインフォームドコンセント時に、被ばく線量情報やガイダンスレベルとの比較情報を提供する。

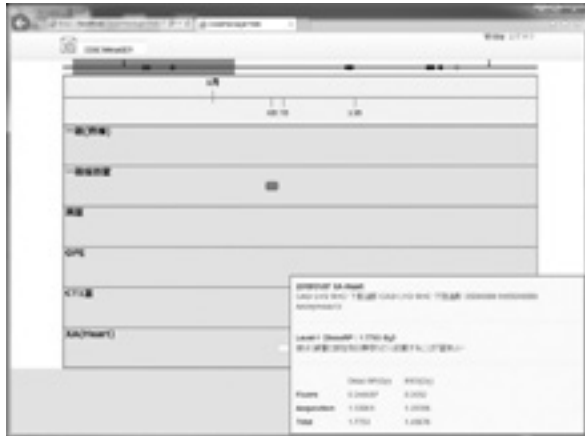


図2. 検査毎のRDSR情報

4. Dose Estimator

吸収線量や実効線量などの変換係数や、入射皮膚線量など人体へのダメージを推定する係数を入力し活用する機能を有する。RDSR データは、非常に多くの撮影時の情報が保存されており、血管撮影装置においては、DTS 線量情報 (Dose Tracking System) などを用いて入射皮膚線量をカラーマップすることも可能である。(図3)

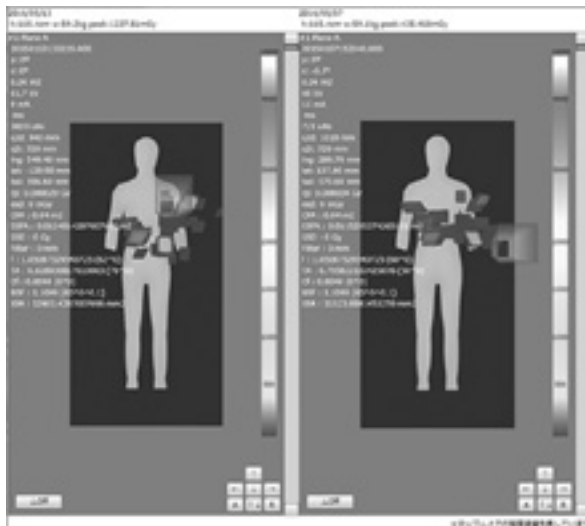


図3. 血管撮影時の照射トラッキング機能

5. Dose Report

2015年に診断参考レベル (Diagnostic Reference Level : DRL) が国内でも制定され、今後さらに成熟していくと思われる。DRLなどの定める基準値と実際の照射線量情報および被ばく線量を比較できるレポート機能を持ち、施設ごとにカスタマイズ

が可能である。(図4)

被ばく線量レポート Computed Radiography

撮影実施日: 2015/04/02 #9926792017 撮影室名称: 一般撮影室

患者番号: 99926100042
 患者氏名: Anonymous
 患者性別: Anonymous
 性別: F 生年月日: 1962/04/05 年齢: 53
 身長: 156.00 体重: 49.00

	hip	tail	leg	RA(L)	RA(R)
撮影時間(分)	120	300	18	0.00000000	0.00000000
撮影距離 (F→A)	120	280	18	0.00000000	0.00000000
撮影 (左) 距離 (F→P)	90	200	18	0.00000000	0.00000000

診断参考レベル (DRLs 2015)

	ESD(mSv)	ESD(mSv)	ESD(mSv)	ESD(mSv)	ESD(mSv)
胸X線	3.0	胸X線	0.7	乳腺	2.0
胸Y線	2.0	胸Y線	0.7	乳房攝影	0.2
造影	0.2	造影	4.0	造影	0.2
造影	5.0	造影	11.0	F-18 PET	0.5
造影	4.0	造影	5.0	造影	7.0

図4. 一般撮影用レポートのテンプレート

6. Japan-DIR (放射線医学総合研究所のデータ収集プロジェクト) への参画

日本における DRLs を検討するためデータ収集プロジェクトへ参画。収集データを匿名化して放射線医学総合研究所へ送付し DRLs の精度向上に取り組むとともに、施設間でのデータ共有も推進する。(図5)

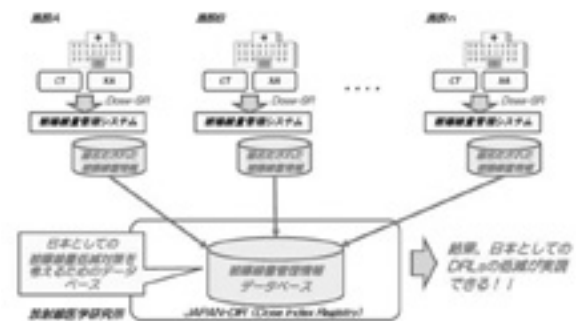


図5. Japan-DIR への参画

7. マルチモダリティー対応

DOSE MANAGER は、PACS から RDSR 情報を取得する接続とした場合、個々のモダリティーと直接接続する必要がない。複数のモダリティーから出る線量情報を統合管理する際も接続費用は最小限に抑えることができ、将来的なモダリティーの増設にも対応が可能である。(図6)

また院内の電子カルテ端末、RIS 端末からの閲覧も可能だが、クライアントアクセス数の制限は無制限となる。



図6：PACS を介して複数のモダリティーと接続

8. 接続実績

DOSE MANAGER は各種モダリティーおよび主要な RIS/PACS との接続実績を持つ。また国産システムの強みを生かし、施設ごとの柔軟なカスタマイズが可能。リモートメンテナンスにより、今後改変していくであろうさまざまなマスタにも随時対応予定である。



被ばく線量管理システム DOSE MANAGERは、

- 診療放射線技師による線量コントロールのためのエビデンスの提供
 - 医師によるインフォームドコンセントのための被ばく線量情報の提供
 - 研究者による被ばく線量情報解析のためのデータ収集・出力環境の提供
- を実現するツールとして、診療現場における普及を目指しています。

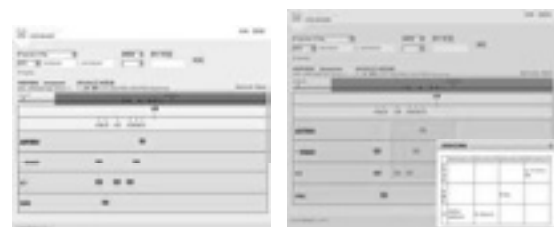
被ばく線量情報の自動収集	<ul style="list-style-type: none"> ● 撮影装置からの RDSRを受信できます。 DICOM Serverに RDSR Query/Retrieve (自動受信) できます。
被ばく線量データベースの構築	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設独自の線量データベースを構築でき、臨床および研究に活用できます。 RISとインタフェースし、検査項目情報と被ばく線量情報をマッチングします。
被ばく線量情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> ● Dose Report (被ばく線量レポート) を検査単位に作成します。 ● Reportフォームは施設ごと、検査種別ごとに柔軟なカスタマイズが可能です。 ● 被ばく線量情報をRISや電子カルテシステムに送信できます。(HL7に対応) ● Japan-DIR(Dose Index Registry)構築プロジェクトに参画します。

※RDSR: Radiation Dose Structured Report

▶ 被ばく線量管理システム構成図



電子カルテシステムやRISシステムと連携して様々なX線検査の被ばく情報を院内端末で情報共有可能です

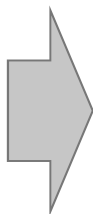


検査毎のX線検査一覧

検査毎のRDSR情報を纏めて表示可能



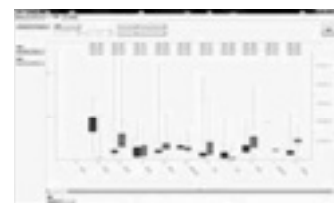
患者様のX線検査一覧を表示可能です



検査毎のRDSR情報



検査毎のRDSR情報やその他情報の多彩なテンプレート



検査室毎や検査毎の集計など様々な統計情報をご提供します

●EIZOはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。●その他の会社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。
●商品の価格は、すべてオープン価格です。商品の仕様は予告なく変更することがあります。

販売窓口 営業時間 月～金 9:30～17:30(祝日、当社休業日を除く)
EIZOメディカルソリューションズ株式会社
 〒140-0013 東京都品川区南大井6丁目22番7号 大森ベルポートE館6階
TEL. 03-5764-3561
www.eizo-medicalsolutions.co.jp

開発元
株式会社キュアホープ
 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島7-4-17 新 阪上野東洋ビル 11F
TEL. 06-6886-8680
www.curehope.net

第6回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会

次 第

開 会 の 辞
 会 長 挨 拶
 来 賓 挨 拶
 表 彰
 総会運営委員会報告
 議 長 選 出
 総 会 職 員 任 命
 議 事
 報 告

第1号議案 平成28年度 事業報告 (案)
 第2号議案 平成28年度 決算報告 (案)
 第3号議案 平成28年度 監査報告
 第4号議案 名誉会員の承認
 第5号議案 その他
 平成28年度 補正予算 報告
 平成29年度 事業計画・予算 報告

閉 会 の 辞

総 会 運 営 委 員

新堀 隆男 栗原 真 遠藤 真里
 萩原 貴之 長坂 純 倉内 克憲

第6回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定期総会

平成28年度事業報告（案）

平成 28 年度事業報告 (案)

1. 総括

第 6 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会では役員選挙があり、これまでの技師会活動実績の評価をいただく総会でもあります。会員の皆さまからのご意見を頂戴し、技師会運営に反映してまいりたいと考えております。役員全員一丸となって技師会の発展のために取り組んでまいりたいと思います。

平成 28 年度の主な出来事

(1) 一般

- ①電力自由化
- ②熊本地震
- ③伊勢志摩サミット
- ④オバマ大統領が広島訪問
- ⑤ 18 歳選挙権施行
- ⑥山の日が国民の祝日に
- ⑦ SMAP 解散
- ⑧リオ五輪開催
- ⑨ノーベル生物学・物理学賞に大隅良典氏決定

(2) 医療

- ①日立製作所、住友グループが乳癌大腸がんを尿で判定する技術を開発
- ②癌 5 年生存率向上
- ③人工知能 Watson が白血病の治療法助言
- ④オプジーボ高額な薬価が社会問題
- ⑤政府が医療機器の輸出後押し

(3) (公社) 埼玉県診療放射線技師会

- ①関東甲信越診療放射線技師会学術大会開催
- ② 2019 年に日本診療放射線技師会学術大会を埼玉で開催することを決定
- ③埼玉県議会と意見交換を開催

県議会・行政への実績アピール

昨年は、埼玉県議会と県立高校特別授業「放射線について考えよう」、県民に対する被ばく相談事業、原子力災害時放射線サーベイチームの 3 事業に関する意見交換を行いました。

公益活動

例年通り、各支部では各市町村で行われる「健康祭り」へ積極的な参加を行っており、併設された被ばく相談などでは県民から高い評価を得ております。

県立高校での「放射線特別授業」は 4 年目となり、継続事業となっております。県立高校の授業の一環として教壇に立ち、文部科学省のカリキュラムに沿って診療放射線技師会が授業を担務しているというのは、非常に意味のあることです。また委員会を立ち上げ、この事業に関わる会員の皆さまの研鑽の場となると確信しております。

名誉会員の承認

本会へ多大な貢献があった会員として佐々木正夫氏及び

石川昇氏を名誉会員に推薦させていただきました。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

学術活動

各モダリティーで認定講習会を開催し、基礎からハイレベルまで対応した、きめ細やかな内容となっております。これまでの事業は継続するも、DRL などの新しい知識や技術の普及にも取り組んでまいりました。

会員の育成

埼玉では、以前から講師育成に取り組んでまいりました。埼玉の会員が、他学会、他県技師会などで多くの人材が活躍しております。近年では国際学会へ発表する診療放射線技師が増えてきており、今後は技師会としてバックアップを行い、人材の育成に取り組んでまいります。

役員育成

役員の育成は、県民へ貢献する人材育成という意味でも、大きな社会貢献であります。技師会で学び育った人材が各施設でリーダーシップを発揮し、さらに人材育成をしていただくことは技師会の役目でもあります。昨年は役員研修会で「公文書の出し方」について学び、技師会役員として必要な知識を学びました。

1) 総務

入会促進事業の一つであるフレッシュャーズセミナーでは、県内外から過去最高の参加者が 65 人あり、会員入会促進事業として毎年継続したいと考えています。

今年度の役員研修会は「(公社) の運営に必要な公文書と法的な契約行為」と題して、当会田中会長にご講演いただきました。常務理事のみならず、支部理事の方々も日ごろ講習会などの開催において、依頼状などの公文書を作成し発行する機会が多くなっておりますので、この機会に公文書について学ぶ機会を設け多くの役員にご参加いただきました。

永年勤続表彰事業は、日本診療放射線技師会より委託されている 50 年、30 年の対象者を抽出し、返信いただいた会員の方々を日本診療放射線技師会に推薦いたしました。表彰は岐阜県で開催された学術大会にて行われました。埼玉県診療放射線技師会の 40 年、20 年永年勤続表彰は、対象者となる会員の方々を表彰委員会に推薦いたしました。こちらの表彰は当会定期総会にて行われました。

恒例となりました新年当初の新春の集いは、会員、賛助会員、新入会員が一堂に会し、例年同様和やかに開催されました。

いずれの事業におきましても、会の事業としては継続の必要性があると考えております。

2) 学術

学術活動において、会員が参加したいイベントが身近に

開催していることが大切と考えています。また最新なことのみではなく、診療放射線技師として基本的な内容を掘り下げていくことも本会の役割と思っています。本会においては、10年以上前から読影に関してもセミナーを通じて教育のカリキュラムに取り込んでまいりました。平成22年4月、厚生労働省医政局通知にもあったように、診療放射線技師の読影ということが社会的に重要視されるようになったことは、本会としても教育指針に関しての方向性は整合性が取れていると考えています。本年度学術事業の方向性に関しては、昨年と同様に考え進めてまいりました。近年、外部環境は、各種認定制度や専門技師制度が確立されつつあり、周囲の状況を踏まえ各セミナーおよび講習会を開催してまいりました。本年認定講習会は、胸部認定講習会・上部消化管認定講習会・CT認定講習会を開催しました。胸部認定講習会においては、診療放射線技師の読影やデジタル画像における撮影線量の最適化の講義を充実させました。上部消化管認定講習会・CT検査認定講習会においては、それぞれの認定機構や地域研究会との整合性を図り開催しました。また内容に関しても充実し、実践的な教育をして参りました。その他、Freedセミナー、MRI講習会、DR計測セミナー、乳腺画像セミナー、救急撮影ケーススタディーを開催し、多くの参加者が得られました。

3) 編集・情報

埼玉放射線 Vol.64No.2・3・4、Vol.65.No.1の計4号を発刊しました。編集・情報活動は、本会活動の中でも重要な事業と考えています。

会誌「埼玉放射線」は、平成26年から発行回数が年4回となりましたが、その分、内容をさらに充実させることへ力を注ぎました。

Webサイトについては、診療放射線技師向け情報提供や講習会などの申し込みの他、「診療放射線技師として必要な情報はなるべく掲載する」という方針の下、多岐にわたる情報を発信しました。また県民の方が閲覧しても有益なよう、医療被ばくについての解説や放射線検査の紹介など、放射線診療に関する正確な情報を専門家の立場から分かりやすく提供しました。

これらWebサイトの他、定期的に会員向けメールマガジンの配信を行いました。Webサイトやメルマガは即時性の高い情報提供手段と考えています。

2016年4月より企画班を設けました。主な役割は、会誌の学術関係の企画です。今年は学術大会の企画なども行ないました。今後は、会員のために充実した魅力ある技師会・会誌になるよう務めていきたいと考えます。

4) 公益

- 平成28年度本会公益活動として
- ・埼玉県各支部の医療画像展でのパネルを使用した放射線検査や治療などの説明とパンフレットの配布
- ・各支部医療画像展での超音波式骨密度の無料測定
- ・ホームページからの被ばく相談（実績2件）
- ・がん患者支援チャリティ・イベントとしてRFLJ川越へ参加

・放射線特別授業（埼玉県内の高校へ放射線関連の授業を行う）を2校実施しました。

公益活動は「不特定かつ多数のものの利益」と考えられがちですが、内閣府の公益認定等委員会では公益活動は対象が特定または少数であることが問題なのではなく、その活動が「求められているか」と受益の機会が「開かれているか」という2点をポイントとしています。この2点から平成28年度公益活動を振り返り、地域住民ひいては県民とわれわれ診療放射線技師をつなぐ懸け橋としてだけでなく、医療に携わる者としての意識向上とチーム医療推進のために、医療関係職種との交流を持った活動を展開していく所存であります。

2. 事業遂行評価

1. 職業人としての質の向上

(1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催

- ア. 埼玉県診療放射線技師学術大会 ◎
 - イ. 胸部認定講習会 ○
 - ウ. 上部消化管認定講習会 ○
 - エ. フレッシュアップセミナー（SARTセミナー） ○
 - オ. 放射線技術部門マネジメント・セミナー ○
（医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成）
 - カ. CT認定講習会 ○
 - キ. MRI基礎講習会 ○
 - ク. 乳腺セミナー ○
 - ケ. DR計測セミナー ○
 - コ. 救急撮影ケーススタディー ○
（日本救急撮影技師認定機構との共催）
 - サ. 読影力向上のための講習会 ○
（支部開催セミナー）
 - シ. 業務拡大に伴う統一講習会 ○
- (2) 会員講師の育成と体制づくり ○
- (3) 他県診療放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進
- ア. 関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力 ○
 - イ. 埼玉県医師会主催事業への支援 ○
 - ウ. 埼玉臨床画像研究会への協力 ○
 - エ. 日本放射線技術学会関東部会との合同企画 ×
 - オ. 日本診療放射線技師会との合同開催企画 ○
 - カ. 各認定機構との合同企画（埼玉開催の推進） ○

2. 組織運営に関わる事業

- (1) 行政との連携 ○
- (2) 入会促進事業の強化 ○

3. 公益目的事業

- (1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊 ○
- (2) 市民公開講座の開催 ○
- (3) 地域自治体主催事業への参画 ○
- (4) 医療画像展の開催と支援 ○
- (5) 県民向けホームページの充実 ○
- (6) 医療被ばく相談の迅速な対応 ○
- (7) 公立学校における放射線教育の担務 ○
- (8) 技師会事務所近隣住民に対する公益事業 ×

4. 編集・情報

- (1) 本会誌「埼玉放射線」の充実 ○
- (2) 診療放射線技師向けホームページの充実 ○
 - ア. 各講習会、セミナー、イベントなどの迅速な広報 ○
 - イ. 学術データベースの充実 ×
- (3) メールマガジンの有効利用 ○

5 その他

- (1) 他職種の職能団体との連携 ○
- (2) 技師会事務所長期修繕計画の立案 ○
- (3) 日本診療放射線技師会・他県技師会への協力 ○

平成 28 年度各事業報告

1. 総務事項報告

(1) 平成 28 年度役員は次のとおりである。

役 職 名	氏 名	担 当
会 長	田中 宏	
副 会 長	堀江 好一	
	富田 博信	
監 事	橋本 里見	
	鈴木 正人	
常 務 理 事	平野 雅弥	総 務
	結城 朋子	総 務
	潮田 陽一	財 務
	今出 克利	学 術
	八木沢英樹	編 集・情 報
	佐々木 健	公 益
理 事	双木 邦博	総 務・第一支部
	大西 圭一	総 務・第二支部
	渡部 進一	総 務・第三支部
	齋藤 幸夫	総 務・第四支部
	矢崎 一郎	総 務・第五支部
	高嶋 豊	総 務・第六支部
	栗田 幸喜	学 術
	城處 洋輔	学 術
	岡田 智子	学 術
	清水 邦昭	編 集・情 報
	芦葉 弘志	公 益

(2) 会議開催状況

ア. 総会

第 5 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会総会を平成 28 年 6 月 18 日（土）、仲町川鍋ビル 8 階会議室において会員 40 人出席、有効委任状提出 636 人、合計 676 人にて開催しました。総会では、平成 27 年度事業報告案、平成 27 年度決算報告案、平成 27 年度監査報告、および名誉会員の承認などについて審議し決議しました。

イ. 理事会は下記の通り 7 回開催し、重要案件について審議し決議しました。

理事会開催状況

	年 月 日	開 催 場 所
1	28. 05. 12	技師会事務所
2	28. 06. 02	技師会事務所
3	28. 07. 07	技師会事務所
4	28. 09. 01	技師会事務所
5	28. 11. 10	技師会事務所
6	29. 01. 05	技師会事務所
7	29. 03. 02	技師会事務所

ウ. 常務理事会は下記の通り 5 回開催し、理事会への提案議題の審議ならびに決定事項について処理しました。

常務理事会開催状況

	年 月 日	開 催 場 所
1	28. 04. 04	技師会事務所
2	28. 08. 24	技師会事務所
3	28. 10. 06	技師会事務所
4	28. 12. 01	技師会事務所
5	29. 02. 02	技師会事務所

エ. その他

役員研修会、連絡会議ならびに予算会議を開催、会務の重要事項について審議立案し、必要事項を調整しこれを処理しました。

役員研修会

	年 月 日	開 催 場 所
1	29. 02. 10	With You さいたま埼玉県男女共同参画推進センター

連絡会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	28. 04. 28	技師会事務所
2	28. 06. 30	技師会事務所
3	28. 10. 27	技師会事務所
4	29. 02. 23	技師会事務所

予算会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	29. 02. 23	技師会事務所

北関東地域会長会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	28. 05. 14	大宮ソニックシティ
2	28. 11. 26	大宮ソニックシティ

(3) 各委員会開催状況

各委員会開催状況は別表の通りです。

委員会名	開催年月日
総務・財務委員会	29. 03. 02
総会運営委員会	28. 06. 18
編集・情報委員会	28. 04. 01
	28. 06. 08
	28. 09. 02
	28. 11. 16
	29. 02. 07
企画班委員会	28. 04. 27
	28. 07. 06
	28. 10. 05
	29. 01. 11
学術委員会	28. 04. 26
	28. 05. 31
	28. 07. 20
	28. 09. 06
	28. 12. 05
公益委員会	28. 07. 21
	28. 12. 06
	29. 02. 07
放射線特別授業運営委員会	公益委員会と合同

選挙管理委員会

	年月日	開催場所
1	28. 11. 15	技師会事務所

表彰委員会

	年月日	開催場所
1	28. 11. 16	技師会事務所

(4) 各種委員会名簿

ア. 表彰委員会

役職名	氏名
委員長	藤間 英雄
委員	小島 精一 渡辺 弘
	鈴木 正人 田中 宏
	堀江 好一 富田 博信
	平野 雅弥 結城 朋子

イ. 医療画像展実行委員会（秩父会場）

役職名	氏名
実行委員長	横田 文克
副実行委員長	齋藤 幸夫
実行委員	清水 浩和 萩原 貴之
	新井 偉生 大野 渉
	高井 太市 関根 茂夫
	吉田 真一 新井 孝史
	阿佐美裕史 三上 紀之

ウ. 医療画像展実行委員会（浦和区会場）

役職名	氏名
実行委員長	双木 邦博
実行委員	榎本 克希 福田 栞
	新堀 隆男 渡邊 真澄
	小野塚悠帆 金子 瑠平
	大小原 梢 中野 雄太
	森 一也 鈴木 友理
	西田 衣理 戸澤 僚太
	内藤 完大 井上 友貴
	工藤 政文 千代岡直家
	川島 慶太 八木沢英樹
	西牧 宏哲 安本 佳章

エ. 医療画像展実行委員会（川越会場）

役職名	氏名
実行委員長	渡部 進一
実行委員	吉岡 正樹 守谷 文貴
	佐藤 正康 佐藤 正彦
	森下 勝 中田 智仁
	中村 美紀 伊藤 麻美
	西村 明香

オ. 医療画像展実行委員会（越谷市会場）

役職名	氏名
実行委員長	矢崎 一郎
実行委員	岩井 悠二 櫻井 均
	矢部 智 中嶋 幸孝
	金子 初穂
	眞壁 耕平

カ. 医療画像展実行委員会（深谷会場）

役職名	氏名
実行委員長	齋藤 幸夫
副実行委員長	清水 浩和
実行委員	新井 偉生 横田 文克
	高井 太市 大野 涉
	柏瀬 義倫 登坂 崇史
	坂本 里紗 小島 萌
	成田 麻美 浅見 有希
	長沼紗由美

コ. 公益委員会

役職名	氏名
委員長	佐々木 健
副委員長	芦葉 弘志
委員	志藤 正和 矢島 慧介
	市浦 京子 眞壁 耕平
	小山 恵 内海 将人
	西山 史朗

キ. 編集・情報委員会

役職名	氏名
委員長	八木沢英樹
副委員長	清水 邦昭
委員	肥沼 武司 栗田 幸喜
	菅野 方仁 潮田 陽一
	宮崎 雄二 豊留 章裕
	吉田 敦 大友 哲也
	渡部 伸樹 堀越 隆之

ク. 総務・財務委員会

役職名	氏名
委員長	平野 雅弥
副委員長	結城 朋子 潮田 陽一
委員	堀江 好一 富田 博信
	双木 邦博 大西 圭一
	渡部 進一 齋藤 幸夫
	矢崎 一郎 高嶋 豊
	田中 達也 矢部 智
	佐々木 剛

ク. 企画班（編集・情報委員会）

役職名	氏名
委員長	八木沢英樹
副委員長	清水 邦昭
委員	大西 圭一 河原 剛
	館林 正樹 眞壁 耕平
	渡辺 嵩広

シ. 総会運営委員会

役職名	氏名
委員長	矢部 智
委員	榎本 克希 武田 義昭
	林 洋希 新井 偉生
	竹内 信行

ケ. 学術委員会

役職名	氏名
委員長	今出 克利
副委員長	栗田 幸喜 城處 洋輔
委員	岡田 智子
	尾形 智幸 大森 正司
	中根 淳 志田 智樹
	土田 拓治 近藤 敦之
	滝口 泰徳 伊藤 寿哉
	柴 俊幸 富田 博信
	佐々木 健 寺澤 和晶

ス. 総会実行委員会

役職名	氏名
委員長	田中 宏
副委員長	堀江 好一 富田 博信
委員	平野 雅弥 結城 朋子
	潮田 陽一 今出 克利
	八木沢英樹 佐々木 健

セ. 選挙管理委員会

役職名	氏名
委員長	尾形 智幸
委員	石田 貴志 近藤 忠晴
	清澤 真人 新井 偉生
	中嶋 幸孝

ソ.放射線特別授業運営委員会

役職名	氏名
委員長	芦葉 弘志
副委員長	佐々木 健
委員	工藤 安幸 内海 将人
	成田 麻美 矢島 慧介

タ.第31回埼玉県診療放射線技師学術大会実行委員会

役職名	氏名
大会長	田中 宏
実行委員長	今出 克利
副実行委員長	堀江 好一 富田 博信
委員	結城 朋子 芦葉 弘志
	平野 雅弥 栗田 幸喜
	田中 達也 矢部 智
	肥沼 武司 清水 邦昭
	城處 洋輔 渡邊 城大
	西山 史朗 渡部 進一
	土田 拓治 佐々木 健
	中根 淳 矢崎 一郎
	双木 邦博 齋藤 幸夫
	佐々木 剛 近藤 敦之
	矢島 慧介 寺澤 和晶
	柴 俊幸 大西 圭一
	高嶋 豊 滝口 泰徳
	伊藤 寿哉 眞壁 耕平
	尾形 智幸 岡田 智子
	志藤 正和 潮田 陽一
	八木沢英樹 内海 将人
	志田 智樹 大森 正司
	市浦 京子

(5)表彰

叙勲瑞宝双光章受賞(敬称略)
 佐々木 正夫
 公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰(敬称略)
 清水 文孝
 保健衛生知事表彰(敬称略)
 矢部 智
 公衆衛生功労知事表彰(敬称略)
 千田 俊秀、長谷川 英治
 公衆衛生事業功労者(財)日本公衆衛生協会会長表彰(敬称略)
 小池 正行、栗田 幸喜
 (公社)日本診療放射線技師会表彰
 永年50年勤続者表彰 対象者なし
 永年30年勤続者表彰(6人、敬称略)
 上田 圭二、橋本 弘紀、松本 慎、吉沢 秀人

成田 政広、澁市 直紀、長谷川英治、山本 清孝、
 結城 朋子、小野 陽子、早瀬 学、鈴木 忠敏、
 諸澄 邦彦、神山 智行、宮澤 浩治
 (公社)埼玉県診療放射線技師会表彰
 永年40年勤続者表彰(2人、敬称略)
 田村 克年、岸野 洋一郎
 永年20年勤続者表彰(15人、敬称略)
 目崎 政昭、平賀 孝征、菅野 方仁、佐々木貴彦、
 西山 史朗、青木 良介、松田 繁尚、奥富 尚史、
 田中 克也、鈴木 英之、寺西 潤、森田 政則、
 野地 敦樹、肥沼 武司、新島 正浩

(6)物故者

藤井 憲司

(7)会員の動向(平成29年3月31日現在)

項目	会員数
平成27年度末 会員数	1,205人
平成28年度 新入会者数	66人
再入会者数	5人
転入者数	12人
転出者数	15人
退会者数	55人
平成28年度末 会員数	1,218人

(8)平成28年度賛助会員 23社(順不同)

シーメンスヘルスケア株式会社
 GEヘルスケア・ジャパン株式会社
 東芝メディカルシステムズ株式会社
 株式会社三田屋製作所
 株式会社日立製作所
 株式会社メディカル・サービス T&K
 コニカミノルタジャパン株式会社
 第一三共株式会社
 カイゲンファーマ株式会社
 富士フィルムメディカル株式会社
 日本メジフィジックス株式会社
 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
 株式会社ケーアイシーメディカルシステム
 バイエル薬品株式会社
 富士フィルム RIファーマ株式会社
 日本放射線防禦株式会社
 株式会社ドクターネット
 ケアストリームヘルス株式会社
 株式会社サイカンシステム
 ホスピタルサプライジャパン株式会社
 株式会社東日本メディカル
 高津メディカルシステムズ株式会社
 エーザイ株式会社

2. 学術教育活動報告

- (1) 第15回胸部認定講習会
 講師：佐々木 健、清水 達也、土田 拓治、
 滝口 泰徳、染野 智弘、柴 俊幸
 開催日時：平成28年12月4日(日)
 場所：上尾中央総合病院
 参加者：31人
- (2) 第16回上部消化管検査認定講習会
 講師：志田 智樹、遠藤亜矢子、工藤 安幸、
 永長 正樹、今出 克利、大森 正司、
 小田 文二
 開催日時：平成29年1月22日(日)
 場所：さいたま赤十字病院
 参加者：18人
- (3) 第3回CT認定講習会～入門編～
 講師：富田博信、中根淳、城處洋輔
 開催日時：平成28年8月29日(月)
 場所：浦和コミュニティセンター 第13集会室
 参加者：19人
- (4) 第3回取得者向けCT認定講習会
 講師：富田博信、中根淳、城處洋輔
 開催日時：平成28年8月29日(月)
 場所：浦和コミュニティセンター IT教室
 参加者：3人
- (5) 第8回CT認定講習会
 講師：富田 博信、八木沢英樹、染野 智弘、
 中根 淳、佐々木 健、志藤 正和、
 城處 洋輔、柴 俊幸、寺澤 和晶
 開催日時：平成29年1月22日(日)
 場所：済生会川口総合病院
 参加者：28人
- (6) 平成28年度胸部・上部消化管・CT検査認定試験
 開催日時：平成29年2月5日(日)
 場所：さいたま赤十字病院
 参加者：胸部26人 上部消化管9人 CT12人
- (7) 平成28年度胸部認定者
 指導員：該当者なし
 準指導員：市浦 京子(上尾中央総合病院)
 南澤 奈月(上尾中央総合病院)
 山口 恵利(西大宮病院)
- (8) 平成28年度上部消化管検査認定者
 指導員：該当者なし
 準指導員：高橋 康昭(上尾中央総合病院)
 赤坂 未波(熊谷総合病院)
 安達 沙織(上尾中央総合病院)
- (9) 平成28年度CT認定者
 指導員：該当者なし
 準指導員：梅堀 貴史(熊谷総合病院)
 石田 隼斗(上尾中央総合病院)
 鈴木 友理(済生会川口総合病院)
- (10) MRI講習会
 講師：丸 武史、近藤 敦之、藤田 功
 開催日時：平成28年11月13日(日)
 場所：さいたま赤十字病院

- 参加者：28人
- (11) 第5回 Freed セミナー
 講師：濱川博招(株式会社ウイ・キャン)
 開催日時：平成29年3月25日(土)
 場所：上尾中央総合病院
 参加者：23人
- (12) DR計測セミナー
 講師：土田 拓治、滝口 泰徳、森 一也、
 大柿 護
 開催日時：平成29年2月26日(日)
 場所：済生会川口総合病院
 参加者：18人
- (13) 基礎講習 乳房撮影
 講師：土田 拓治、新島 正美、田中 宏、
 岡田 智子
 開催日時：平成28年7月3日(日)
 場所：さいたま赤十字病院
 参加者：42人
- (14) 救急撮影ケーススタディー
 講師：金野 元樹、下林 義明
 開催日時：平成29年3月28日(火)
 場所：上尾中央総合病院
 参加者：22人

3. 編集・情報・企画班 活動報告

- (1) 編集活動報告
 平成28年度の編集活動として、会誌「埼玉放射線」を第64巻244号から第65巻247号まで、計4回発刊致しました。第64巻244号では、学術特集MRI「拡散をもう一度振り返る」・寄稿「医療被ばく低減施設認定までの軌跡」。245号では、学術特集「fMRIによる脳機能計測：基礎と展望」。246号では、学術特集「一般撮影領域のDRL」「安全なMRI検査のために～検査前確認～」[「リニアックの基本構造」]。第65巻247号では「第31回埼玉県診療放射線技師学術大会抄録集」・学術特集「条件付きMRI対応デバイスの現状と動向」を掲載しました。また前年度に続き、協賛企業の方々に「技術解説」をご執筆いただき、多くの方から内容について好評をいただきました。
- (2) 情報活動報告
 ア「会員向けHP」
 1) 学術案内(71件)
 2) 巻頭言(4件)246号まで
 3) 会誌(3件)242号まで
 4) お知らせ(32件)
 5) 学術データベース(0件)
 6) 平成28年度関東甲信越診療放射線技師学術大会HP
- イ「一般向けHP」
 1) 「会誌・バックナンバー」242号まで
 2) 開催案内(1件)
- ウ「メールマガジン配信」
 1) 9件 No73～81まで
- (3) 企画班活動報告
 ア. 会誌企画

- 1) 会誌 2016 年 10 月 246 号
「学術特集」
・一般撮影領域の DRL
上尾中央総合病院 滝口 泰徳
・安全な MRI 検査のために～検査前確認～
イムス富士見総合病院 吉田 晋吾
・リニアックの基本構造
埼玉医科大学総合医療センター 畑中 星吾
「技術解説」
・医療における 3D プリンタの活用
丸紅情報システムズ株式会社

- 2) 会誌 2017 年 1 月 247 号
「学術特集」
・条件付き MRI 対応デバイスの現状と動向
埼玉医科大学国際医療センター 妹尾 大樹
- イ. 第 31 回埼玉県診療放射線技師学術大会 企画
- 1) テクニカルディスカッション
「放射線治療装置ごとの IGRT を理解しよう」

4. 新春の集い

- 開催日時：平成 29 年 1 月 13 日（金）19：00～21：00
会 場：大宮サンパレス GLANZ「ストーリーア」
参 加 者：会員 41 人、賛助会員 35 人、新入会員 13 人、
合計 89 人

5. 役員・委員研修会

- 開催日時：平成 29 年 2 月 10 日（金）
場 所：With You さいたま埼玉県男女共同参画推進
センター セミナー室 1
参 加 者：19 人

6. 財務報告

決算関係報告は総会にて行います。

7. 公益活動

- (1) 医療画像展（秩父市保健センターまつり）
開催日時：平成 28 年 6 月 5 日（日）10：00～14：00
場 所：秩父市保健センター
- (2) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 川越
開催日時：平成 28 年 9 月 17 日（土）13：00～
18 日（日）13：00
場 所：川越市水上公園
- (3) 越谷市民祭り
開催日時：平成 28 年 10 月 23 日（日）
場 所：越谷市役所庁舎内
- (4) 彩の国いきいきフェスティバル
開催日時：平成 28 年 10 月 30 日（土）
場 所：埼玉県県民活動総合センター
- (5) 医療画像展（深谷市福祉健康まつり）
開催日時：平成 28 年 10 月 30 日（日）10：00～15：00
場 所：深谷ビクタートル・深谷市総合体育館
- (6) 浦和区健康まつり
開催日時：平成 28 年 11 月 6 日（日）10：00～
場 所：浦和コミュニティセンター

- (7) ふれあいキューブフェスティバル
開催日時：平成 28 年 12 月 3 日（土）～12 月 4 日（日）
場 所：春日部市ふれあいキューブ
- (8) 第 30 回 川越市健康まつり
開催日時：平成 28 年 12 月 11 日（日）10：00～15：00
場 所：ウエスタ川越
- (9) 被ばく相談
①各支部医療画像展、リレー・フォー・ライフ川越にて
開催
②ホームページにて 2 件

8. 支部報告

第一支部

- | | | |
|------|-------|-------|
| 支部理事 | 双木 邦博 | |
| 監 事 | 宮澤 浩治 | |
| 役 員 | 八木沢英樹 | 三橋 則行 |
| | 佐藤 吉海 | 梶 功治 |
| | 土田 拓治 | 森 一也 |
| | 工藤 政文 | 千代岡直家 |
| | 鎌田 靖男 | 田村 智将 |
| | 大塚 忠義 | 川島 慶太 |
| | 酒井 利幸 | 北原 弘治 |

- (1) 第 1 回 支部勉強会
開催日時：平成 28 年 6 月 16 日（木）19：00～
場 所：コムナーレ浦和 15 集会室
参加人数：46 人
内 容：
ア、メーカー最新技術講演
『Perfusion CT・MR の最新情報』
CT シーメンスヘルスケア 吉田博和
MR フィリップスヘルスケア 井上泰吉
イ、一般公演
『川口市立医療センターにおける心臓 MRI の紹介』
川口市立医療センター 千代岡直家
ウ、教育講演
『虚血性心疾患の画像診断』
日本大学病院循環器内科 鈴木 康之先生
- (2) 第 1 回 支部役員会
開催日時：平成 28 年 8 月 2 日（火）19：00～
場 所：JCHO 埼玉メディカルセンター
参加人数：9 人
- (3) 浦和区健康まつり
開催日時：平成 28 年 11 月 6 日（日）10：00～
場 所：浦和コミュニティセンター
参加事業：超音波式骨密度測定
医療画像展
放射線検査の啓発・説明
測定人数：373 人
- (4) 平成 28 年度 SART 支部合同勉強会 in 熊谷を開催した。
開催日時：平成 28 年 11 月 12 日（土）13：00～18：00
場 所：森林公園四季の湯温泉 ホテル・ヘリテジ
参加人数：157 人
内 容：

ア、支部合同症例検討会

「救急・時間外CTの基本症例

～技師から医師へのアプローチ～」

オブザーバー 小川赤十字病院 田中 達也
 上尾中央総合病院 金野 元樹
 コメンテーター 上尾中央総合病院 金野 元樹
 熊谷総合病院 吉田 敦
 座長 三愛病院 川島 慶太
 所沢ハートセンター 柴 俊幸
 埼玉医科大学病院 吉岡 正樹
 小川赤十字病院 高井 太市
 越谷市立病院 関根 貢
 彩の国東大宮メディカルセンター 茂木 雅和

- 1) 頭頸部内因性疾患 (第六支部)
指扇病院 安川 紘平
- 2) 頭頸部外傷性疾患 (第一支部)
済生会川口総合病院 鈴木 友里
- 3) 胸部内因性疾患 (第三支部)
埼玉医科大学国際医療センター 田島 秀晃
- 4) 腹部内因性疾患 (第四支部)
熊谷総合病院 吉田 敦
- 5) 腹部内因性疾患 (第五支部)
独協医科大学越谷病院 天早 峻
- 6) 胸腹部外傷性疾患 (第二支部)
防衛医科大学校病院 高橋 敦

イ、技師講演「被ばく相談、やっていますか」

座長 埼玉医科大学病院 紀陸 剛志
 西大宮病院 豊留 章裕

- 1) 「被ばく相談に必要なコミュニケーション」
上尾中央総合病院 佐々木 健
- 2) 「相談者に合わせた被ばく相談対応事例」
済生会栗橋病院 内海 将人

ウ、特別講演

座長 上尾中央総合病院 佐々木 健
 「SARTのミッションと未来へ目指すべきビジョン
 ～みんなのために！ひとりのために」
 埼玉県診療放射線技師会 副会長 富田 博信

(5) 第2回 支部勉強会

開催日時：平成28年11月24日(木) 19:00～

場 所：コムナーレ浦和 15 集会室

参加人数：36人

内 容：

ア、メーカー講演 19:00～
 座長 済生会川口総合病院 土田 拓治
 「デジタルマンモグラフィ装置 Selenia Dimensions」
 ホロジックジャパン株式会社 矢田絵都子

イ、一般講演 19:20～
 座長 済生会川口総合病院 森 一也
 「当院の腰椎撮影条件の検討」

演者 済生会川口総合病院 戸澤 僚太

「英語発表ってどんなの？」

演者 済生会川口総合病院 志藤 正和

ウ、特別講演 20:00～

座長 済生会川口総合病院 森 一也

「治療用照射装置出力線量の第三者機関による測定を実施して」

演者 済生会川口総合病院 倉持 正樹

(6) 支部決算報告

開催日時：平成29年2月16日(木) 19:00～

場 所：浦和コミュニティセンター

参加人数：35人

内 容：28年度第一支部決算報告

第一支部理事 双木 邦博

(7) 第3回 支部勉強会

開催日時：平成28年2月16日(木) 19:10～

場 所：浦和コミュニティセンター

参加人数：35人

内 容：

ア、メーカー公演

「RSNA2016 報告～これからのCT開発における方向性～」

シーメンスヘルスケア株式会社 CT事業部 吉田 博和

イ、一般演題

「結核感染の対処と様々な結核画像」

さいたま市立病院 双木 邦博

ウ、「DRLを知り撮影線量最適化を図ろう！」

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 公益委員 済生会川口総合病院 志藤 正和

(8) 28年度第2回役員会

開催日時：平成29年3月17日(金) 19:00～

場 所：JCHO 埼玉メディカルセンター

内 容：来年度計画について

(9) Dual-energy CT セミナー 2017

(第1,2,5,6 支部合同勉強会)

開催日時：平成29年3月18日(土) 10:30～

場 所：浦和コルソコミュニティプラザ

参加人数：112人

内 容：

ア、基礎講座

座長 埼玉医科大学総合医療センター 松澤 浩紀

「イメージベースでエネルギー情報を解析してみる」

東京慈恵会医科大学附属病院 樋口 壮典

イ、メーカー講演

座長 獨協医科大学越谷病院 渡邊 慎吾

「Dual Energy CTの現状と今後の展望」

東芝メディカルシステムズ 津島 総

シーメンスヘルスケア 松浦 孝俊

GEヘルスケア・ジャパン 中埜 泰暢

PHILIPS エレクトロニクス・ジャパン 守谷 芽実

ウ、技術セッション

座長 埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳

「Metal Artifact Reduction～評価法から臨床応用まで～」

埼玉県済生会川口総合病院 城處 洋輔

埼玉医科大学総合医療センター 鈴木 佳也

越谷市立病院 関根 貢

上尾中央総合病院 滝口 泰徳

エ、技術講演

座長 埼玉県済生会栗橋病院 内海 将人
 「Dual Energy CT の画質評価と臨床応用」
 済生会川口総合病院 富田 博信

オ、特別講演

座長 済生会川口総合病院 富田 博信
 「次世代のCT技術を目指して～フォトンカウン
 ティング型X線CTと静止型データ収集SPECT
 ～」
 法政大学応用情報工学科教授 尾川 浩一先生

第二支部

会 長 (支部理事) 大西 圭一
 副会長・会計 柴 俊幸
 会 計 小田島明子
 監 事 園部 明彦
 肥沼 武司
 役 員 栗原 真 瀧澤 誠
 山下 隆行 矢幅 俊一
 近藤 忠晴 塩野谷 純
 小沢 利行 仲埜 智文
 協力員 武田 義昭 千葉 雅恭

(1) 第1回勉強会

日 時：平成28年4月28日(木) 18:30～
 場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加者：23人
 内 容：

ア、製品紹介

「ITEM2016 最新 GEMR レポート」
 GEヘルスケア・ジャパン 坂口 裕一

イ、一般研究発表

「FPD搭載乳房用X線装置における空間分解能
 (SCTF) の評価」

熊谷総合病院 亀山 枝里

「RIS及びワイヤレスFPD搭載ポータブルX線装
 置の使用経験」

三郷中央病院 長坂 純

「局所励起技術と臨床応用について」

GEヘルスケア・ジャパン 池田 陽介

ウ、「CT ビギナーズセミナー ～スライス面内分解
 能～」

座長 西狭山病院 小澤 昌則

1) 「総論 -スライス面内分解能とは-」

越谷市立病院 関根 貢

2) 「焦点サイズと検出器サイズについて」

所沢ハートセンター 柴 俊幸

3) 「view数について」

済生会川口総合病院 荻野 奈規

4) 「再構成関数、再構成FOVについて」

上尾中央総合病院 館林 正樹

(2) 第2回勉強会

日 時：平成28年5月26日(木) 18:30～
 場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加人数：17人

内 容：

ア、製品紹介

「ITEM2016 最新 GECT レポート」
 GEヘルスケア・ジャパン 大川 博和

イ、一般研究発表

「胃X線検査におけるピロリ菌感染判定方法につ
 いて」

大宮シテッククリニック 堀越 隆之

「Bone Scan Whole body 撮像における %RMSU・
 FWHMによるスキャン速度の検討」

埼玉県立循環器呼吸器病センター 山本 壮一

「Gemstone Spectral Imaging (Dual Energy CT)
 の臨床応用について」

GEヘルスケア・ジャパン 大川 博和

ウ、「乳腺の画像診断～MMGと病理～」

座長 原田病院 瀧澤 誠

講師 済生会川口総合病院 土田 拓治

(3) 第3回勉強会

日 時：平成28年6月23日(木) 18:30～
 場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加者：47人
 内 容：

ア、製品紹介

「富士フィルム一般撮影 最新画像処理のご紹介」
 富士フィルムメディカル株式会社 浅野 省二

イ、一般研究発表

「保育器収容低体重児に対するポータブル撮影時
 における撮影条件および被ばく線量の基礎検討」

埼玉医科大学総合医療センター 鳥越 翔

「3.0T-MRIにおけるsingle shot T2WIの高分解能
 化についての基礎的検討」

済生会川口総合病院 丸 武史

「一般撮影の線量管理 最新状況」

富士フィルムメディカル株式会社 MS部

浅野 省二

ウ、「研究のためのファントム作成について」

座長 済生会川口総合病院 土田 拓治

草加市立病院 佐藤 広崇

1) 「DR研究のためのファントム」

北里大学メディカルセンター 今花 仁人

2) 「MMG研究のためのファントム」

獨協医科大学越谷病院 高橋 利聡

3) 「CT研究のためのファントム」

済生会川口総合病院 城處 洋輔

4) 「MRI研究のためのファントム」

埼玉医科大学病院 荒木 智一

(4) 循環器CTセミナー2016(第2支部・バイエル薬品
 共催)

日 時：平成28年8月27日(土)
 場 所：浦和コルソコミュニティプラザ
 参加人数：262人
 内 容：

ア、基礎講演「TECから考える造影CT検査の基礎」

座長 三井記念病院 皆川 利浩

講師 さいたま赤十字病院 寺澤 和晶
 イ、ランチョンセミナー「心臓 CT 最新技術報告」
 座長 済生会川口総合病院 荻野 奈規
 講師
 フィリップスエレクトロニクスジャパン 守谷 芽実
 シーメンス・ジャパン 松浦 孝俊
 東芝メディカルシステムズ 天野 清香
 GEヘルスケア・ジャパン 大川 博和

ウ、セッション I
 座長 神奈川県立がんセンター 太田陽一郎
 「冠動脈 CT 教えます！～基本的な考え方から心電
 図・検査値まで～」

上尾中央総合病院 館林 正樹
 「心臓 CT 撮影タイミング補正の基礎と TBT 変法
 の臨床応用について」

深谷赤十字病院 齋藤 幸夫
 「冠動脈 Subtraction CTA の臨床経験」
 高瀬クリニック 高柳 知也

エ、セッション II
 「大動脈弁閉鎖不全における心臓 CT の造影法につ
 いて」

座長 益子病院 蒲田 淳一
 講師 順天堂大学医学部附属練馬病院 堂領 和彦

オ、技術講演
 「冠動脈 CT 検査と放射線被ばく ～発がんリスク
 の推定、そして最適化に向けて～」
 座長 上尾中央総合病院 佐々木 健
 講師 金沢大学保健学系量子医療技術学講座准教授
 松原 孝祐

カ、特別講演
 「循環器 CT の最近の進歩」
 座長 石心会川崎幸病院 石田 和史
 江戸川病院 佐藤 英幸
 講師 慶應義塾大学医学部放射線科学教室主任教授
 陣崎 雅弘

(5) 第 4 回勉強会
 日 時：平成 28 年 9 月 29 日 (木) 18:30～
 場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加人数：30 人
 内 容：

- ア、製品紹介
 「シーメンスが取り組む Metal Artifact Reduction
 について」
 シーメンス・ジャパン株式会社 松浦 孝俊
 イ、「整形外科領域の撮影技術向上を目指して」
 1) 一般撮影
 「Talbot-Lau 干渉計 X 線撮影装置による臨床撮影」
 座長 防衛医科大学校病院 野瀬 英雄
 講師 埼玉医科大学病院 仁藤 真吾
 2) CT
 「整形疾患から考える CT 撮影のポイント」
 座長 上尾中央総合病院 金野 元樹
 講師 越谷市立病院 村本 圭祐
 3) MRI

「プロトコルを考える ～基礎からの腰椎 MRI～」
 座長 済生会川口総合病院 丸 武史
 演者 上尾中央総合病院 石川 応樹

(6) 第 5 回勉強会
 日 時：平成 28 年 10 月 27 日 (木) 18:30～
 場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加者：43 人
 内 容：

ア、第二支部セッション
 「3 月稼働の Angio-CT 装置について ～ Angio/80
 列 CT/US の可能性～」

防衛医科大学校病院 野口 拓斗
 「CT 用低コントラストファントムの作成」
 国立障害者リハビリテーションセンター病院
 肥沼 武司

「0 (ゼロ) から START ! Angio 稼働～稼働に向
 けた経験報告～」
 イムス三芳総合病院 高田 博邦

イ、特別講演
 「身体のみかんと画像診断～ルーティンのまま
 にそのままに僕は君だけを検査できない～」

座長 埼玉石心会病院 塩野谷 純
 講師 西狭山病院 小澤 昌則

(7) 平成 28 年度 SART 支部合同勉強会 in 熊谷
 (第 1・2・3・4・5・6 支部合同勉強会)
 日 時：平成 28 年 11 月 12 日 (土) 13:00～18:00
 場 所：森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘリテージ
 参加人数：157 人
 内 容：

ア、「救急・時間外 CT の基本症例～技師から医師へ
 のアプローチ～」
 オブザーバー 小川赤十字病院 田中 達也
 上尾中央総合病院 金野 元樹
 コメンテーター 上尾中央総合病院 金野 元樹
 熊谷総合病院 吉田 敦
 座長 三愛病院 川島 慶太
 所沢ハートセンター 柴 俊幸
 埼玉医科大学病院 吉岡 正樹
 小川赤十字病院 高井 太市
 越谷市立病院 関根 貢
 彩の国東大宮メディカルセンター 茂木 雅和

- 1) 頭頸部内因性疾患 (第六支部)
指扇病院 安川 紘平
- 2) 頭頸部外傷性疾患 (第一支部)
埼玉県済生会川口総合病院 鈴木 友里
- 3) 胸部内因性疾患 (第三支部)
埼玉医科大学国際医療センター 田島 秀晃
- 4) 腹部内因性疾患 (第四支部)
熊谷総合病院 吉田 敦
- 5) 腹部内因性疾患 (第五支部)
獨協医科大学越谷病院 天早 峻
- 6) 胸腹部外傷性疾患 (第二支部)
防衛医科大学校病院 高橋 敦

イ、技師講演

「被ばく相談、やっていますか」

座長 埼玉医科大学病院 紀陸 剛志
西大宮病院 豊留 章裕

1) 「被ばく相談に必要なコミュニケーション術」
上尾中央総合病院 佐々木 健

2) 「相談者に合わせた被ばく相談対応事例」
埼玉県済生会栗橋病院 内海 将人

ウ、特別講演

「SARTのミッションと未来へ目指すべきビジョン
～みんなのために！ひとりのために！～」

座長 上尾中央総合病院 佐々木 健
講師 埼玉県診療放射線技師会 副会長 富田 博信

(8) 骨軟部撮影セミナー 2017

(SART・TART 支部合同勉強会 骨軟部診断情報研究会共催)

日 時：平成 29 年 2 月 18 日 (土)

場 所：済生会川口総合病院 東館講堂

参加人数：152 人

内 容：

ア、一般演題

座長 東京大学医学部附属病院 田部井勝行
国立精神・神経医療研究センター病院 釋迦堂 充
「機能解剖を考える ～手関節～」

上尾中央総合病院 仲西 一真
「THA 術前計画における股関節 30 度内旋位 PA 撮影の検討」

さいたま赤十字病院 大河原侑司
「上腕骨顆上骨折症例における再撮影の検討」

済生会川口総合病院 西田 衣里
「ACS 患者を対象としたアキレス腱の撮影意義と撮影方法について」

所沢ハートセンター 柴 俊幸
「誰でも簡単スカイラインビューの実践」

堀ノ内病院 小池 正行
「Dual Energy CT を用いた乾癆性関節炎の画質評価」

東京慈恵会医科大学附属病院 宮崎 健吾
イ、メーカーセッション

座長 上尾中央総合病院 滝口 泰徳

1) 「最新画像処理【ダイナミック処理について】」
富士フィルムメディカル株式会社 宮野 武晴

2) 「ワイヤレスフラットパネルを用いた四肢撮影への新しいアプローチ」

フィリップスエレクトロニクスジャパン
北中 康友

「キヤノンデジタルラジオグラフィ CXDI シリーズの紹介」

キヤノンライフケアソリューションズ株式会社
伊藤 琢也

ウ、「撮影から考える(診る)疾患、疾患から考える撮影(読影や撮影の工夫・ポイント)」

座長 埼玉医科大学病院 高橋 忍
「大腿骨頸部骨折の撮影・読影ポイント」

深谷赤十字病院 坂本 里紗

「技師として手疾患を撮る(診る)」

船橋市立医療センター 石塚 瞬一
エ、救急撮影セッション

「明日から実践！～救急撮影の基礎を学び、疑問を解消～」

座長 羽生総合病院 大野 渉
「外傷診療における救急撮影の基礎」

さいたま赤十字病院 渡部 伸樹
「みんなで創ろう、実践的救急撮影法」

上尾中央総合病院 内田 瑛基
オ、DR セッション

座長 東海大学医学部附属八王子病院 由地良太郎
「臨床に適した画像処理選択の基本 ～四肢撮影を中心に～」

済生会川口総合病院 森 一也
「線量指標 EI の基礎知識 ～整形外科領域での活用法～」

獨協医科大学越谷病院 高橋 利聡
カ、教育講演

座長 埼玉医科大学病院 岡本 泰正
「骨軟部診断情報研究会での症例検討紹介」

昭和大学歯科病院 石田 秀樹
「各施設一般撮影領域線量比較の取り組み」

関東労災病院 若林 一成
キ、特別講演

「日々の撮像に活かしたい骨軟部診断の知識～読影医の視点から～」

座長 JR 東京総合病院 後藤 太作
講師 埼玉医科大学病院 竹澤 佳由 先生

(9) Dual Energy CT セミナー 2017

(第1・2・5・6 支部合同勉強会)

日 時：平成 29 年 3 月 18 日 (土)

場 所：浦和コロソコムユニティプラザ

参加人数：112 人

内 容：

ア、基礎講演

「イメージベースでエネルギー情報を解析してみる」
座長 埼玉医科大学総合医療センター 松澤 浩紀

講師 東京慈恵会医科大学附属病院 樋口 壮典
イ、メーカー講演

「Dual Energy CT の現状と今後の展望」
座長 獨協医科大学越谷病院 渡邊 慎吾

講師
フィリップスエレクトロニクスジャパン 守谷 芽実

シーメンス・ジャパン 松浦 孝俊
東芝メディカルシステムズ 津島 総

GEヘルスケア・ジャパン 中埜 泰暢
ウ、技術セッション

「Metal Artifact Reduction ～評価法から臨床応用まで～」

座長 埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳
講師

埼玉県済生会川口総合病院 城處 洋輔
埼玉医科大学総合医療センター 鈴木 佳也

越谷市立病院 関根 貢
上尾中央総合病院 滝口 泰徳

エ、技術講演

「Dual EnergyCT の画質評価と臨床応用」

座長 済生会栗橋病院 内海 将人
講師 済生会川口総合病院 富田 博信

オ、特別講演

「次世代の CT 技術を目指して～フォトンカウンティング型 X 線 CT と静止型データ収集 SPECT～」

座長 済生会川口総合病院 富田 博信
講師 法政大学応用情報工学科教授
尾川 浩一 先生

第三支部

支部理事 渡部 進一
役員 吉岡 正樹 佐藤 正康
佐藤 正彦 森下 勝
中田 智仁
会計幹事 守谷 文貴
会計監査 今井 昇

(1) 第 1 回 第三支部勉強会

ア. 開催日時：平成 28 年 6 月 17 日 (金) 19:00～21:00

イ. 開催会場：ウエスタ川越 活動室 1

ウ. 参加人数：44 人

エ. 内 容：技師講演

(ア) 「苦手を克服！肘関節 MRI の撮像方法」

埼玉医科大学病院 荒木 美和

「MRI 認定における性能評価の解析方法について (Image)」

埼玉医科大学病院 栗田 京助

(イ) 特別講演

「職能団体における政治の役割」

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏
副会長 富田 博信

(2) 第 1 回 第三地区役員会

ア. 開催日時：平成 28 年 6 月 17 日 (金) 18:30～19:00

イ. 開催会場：ウエスタ川越 活動室 1

ウ. 参加人数：7 人

エ. 内 容：川越健康まつり、納涼会、BLS 講習、ホームページ作成など

(3) 第 30 回 川越市健康まつり 第 1 回実行委員会

ア. 開催日時：平成 28 年 7 月 21 日 (木) 13:30～15:00

イ. 開催会場：川越市総合保健センター 会議室

ウ. 参加人数：20 人

エ. 内 容：開催場所、タイムスケジュールなど

(4) 第三地区 納涼会

ア. 開催日時：平成 28 年 7 月 23 日 (土) 19:30～21:30

イ. 開催会場：甘太郎 川越店

ウ. 参加人数：37 人

エ. 内 容：会員の親睦を深める

(5) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 川越

リーダー会議

ア. 開催日時：平成 28 年 8 月 20 日 (土) 18:00～20:00

イ. 開催会場：小江戸蔵里ギャラリー

ウ. 参加人数：2 人 (公益、支部)

エ. 内 容：リレー・フォー・ライフ チーム説明会

(6) 第 2 回 第三地区役員会

ア. 開催日時：平成 28 年 9 月 6 日 (火) 19:00～20:00

イ. 開催会場：埼玉医科大学病院 MR 棟 技師室

ウ. 参加人数：6 人

エ. 内 容：リレー・フォー・ライフ担当、ボウリング大会、支部合同勉強会、川越市健康まつり BLS 講習の協力など

(7) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 川越

ア. 開催日時：平成 28 年 9 月 17 日 (土) 13:00～18 日 (日) 13:00

イ. 開催会場：川越市水上公園

ウ. 参加人数：35 人 (第三地区会員)

エ. 内 容：ボランティア協力

(8) 第 30 回 川越市健康まつり 第 2 回実行委員会

ア. 開催日時：平成 28 年 9 月 30 日 (金) 13:30～15:00

イ. 開催会場：川越市総合保健センター 会議室

ウ. 参加人数：25 人

エ. 内 容：開催内容説明、タイムスケジュール、前日準備事項など

(9) 第三地区ボウリング大会

ア. 開催日時：平成 28 年 10 月 7 日 (金) 19:00～20:30

イ. 開催会場：川越ボウリングセンター

ウ. 参加人数：28 人

エ. 内 容：会員の親睦を深める

(10) 第 3 回 第三地区役員会

ア. 開催日時：平成 27 年 10 月 7 日 (金) 20:30～21:00

イ. 開催会場：川越ボウリングセンター内 会議室

ウ. 参加人数：5 人

エ. 内 容：ボウリング大会反省会、支部合同勉強会 川越市健康まつり、BLS 講習会、新春の集いについて

(11) 第 30 回 川越市健康まつり 第 3 回実行委員会

ア. 開催日時：平成 28 年 11 月 8 日 (火) 13:15～14:30

イ. 開催会場：川越市総合保健センター 会議室

ウ. 参加人数：23 人

エ. 内 容：開催内容確認、前日準備及び当日の注意事項など

(12) 支部合同勉強会催

ア. 開催日時：平成 28 年 11 月 12 日 (土) 13:00～

イ. 開催会場：ホテルヘリテイジ四季の湯温泉

ウ. 参加人数：157 人

エ. 内 容：支部発表 (症例検討)、技師講演 (被ばく相談)、特別講演、懇親会

(13) 救急セミナー (第三支部共催)

ア. 開催日時：平成 28 年 11 月 16 日 (水) 19:00～20:30

イ. 開催会場：ウエスタ川越 活動室 3

ウ. 参加人数：14 人 (受講者)

エ. 内 容：一次救命処置 (CPR,AED) の習得

(14) 第 4 回 第三地区役員会

ア. 開催日時：平成 28 年 12 月 9 日 (金) 19:00～20:00

イ. 開催会場：埼玉医科大学病院 MR 棟 技師室

- ウ. 参加人数：6人
 - エ. 内 容：川越市健康まつり、新年会、勉強会、地区定期総会など
 - (15) 第30回 川越市健康まつり
 - ア. 開催日時：平成28年12月11日(日) 10:00～15:00
 - イ. 開催会場：ウエスタ川越
 - ウ. 参加人数：9人(地区会員含む)
 - 来場者約：約350人(医用画像展)
 - エ. 内 容：医療画像展の開催
 - (16) 第三地区新年会
 - ア. 開催日時：平成29年1月28日(土) 19:00～21:00
 - イ. 開催会場：函館海や(川越店)
 - ウ. 参加人数：30人
 - エ. 内 容：会員の親睦を深める
 - (17) 第5回 第三地区役員会
 - ア. 開催日時：平成29年2月20日(月) 19:00～20:00
 - イ. 開催会場：埼玉医科大学病院 MR棟 技師室
 - ウ. 参加人数：6人
 - エ. 内 容：平成29年度事業計画、地区総会について
 - (18) 平成28年度 第三支部・地区定期総会
 - ア. 開催日時：平成29年3月17日(金) 19:00～19:30
 - イ. 開催会場：ウエスタ川越 第1会議室
 - ウ. 参加人数：23人
 - (委任状提出 150人：議長一任 150人)

本総会出席23人と委任状数150人、合計が173人となり第三支部会員数240人の過半数を超えており、第三地区会則第9条により本総会は成立。

 - エ. 内容：定期総会審議事項
- 審議-1：平成28年度事業報告__審議結果：承認
 審議-2：平成28年度決算報告__審議結果：承認
 審議-3：平成29年度事業計画案__審議結果：承認
- (ア) 勉強会
 - 1) 第1回勉強会：平成29年6月予定
 - 2) 第2回勉強会(支部合同)：平成29年11月予定
 - 3) 第3回勉強会：平成30年3月予定
 - (イ) 親睦会行事
 - 1) 納涼会：平成29年7月予定
 - 2) ボウリング大会：平成29年10月予定
 - 3) 新年会：平成30年1月予定
 - (ウ) 公益
 - 1) リレーフォーライフ川越：平成29年9月予定
 - 2) 川越市健康まつり：平成29年10月29日予定
 - (エ) 役員会・定時総会
 - 1) 第1回役員会 平成29年 6月
 - 2) 第2回役員会 平成29年 9月
 - 3) 第3回役員会 平成29年 12月
 - 4) 第4回役員会 平成29年 3月
 - 5) 第三支部勉強会・定時総会 平成30年 3月
- 審議-4：平成29年度予算案について__審議結果：承認
 審議-5：平成29年度役員改選__審議結果：承認
- ・代表幹事：山岸 正和
(埼玉医科大学国際医療センター)
 - ・副代表幹事：森下 勝
(埼玉医科大学国際医療センター)

- ・会計幹事：中田 智仁
(埼玉医科大学国際医療センター)
 - ・会計監査：今井 昇(旭ヶ丘病院)
 - ・幹 事：佐藤 正彦
(埼玉医科大学総合医療センター)
 - ・幹 事：轟 圭介
(埼玉医科大学総合医療センター)
 - ・幹 事：市川 隆史(埼玉医科大学病院)
 - ・幹 事：橋本利恵子(埼玉医科大学病院)
- (19) 第3回 第三支部勉強会
 - ア. 開催日時：平成29年3月17日(金) 19:30～21:00
 - イ. 開催会場：ウエスタ川越 第1会議室
 - ウ. 参加人数：28人
 - エ. 内 容：
 - (ア) メーカー講演
「タブレット端末の導入と病院全体の情報共有強化」～メッセージングがコミュニケーションを変える今企業のコミュニケーション変革とは～
菱洋エレクトロ株式会社 ICT 営業第二本部 マーケティング部 志村 幸洋
 - (イ) 特別講演
「DRLを知り撮影線量最適化を図ろう！」
医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 放射線技術科主任
公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会 常務理事(公益) 佐々木 健
- 第四支部**
- | | |
|-----------|----------------------------|
| 会 長(支部理事) | 齋藤 幸夫 |
| 副会長 | 清水 浩和 |
| 会 計 | 大野 渉 |
| 役 員 | 萩原 貴之 新井 偉生
横田 文克 高井 太市 |
| 監 事 | 山田 伸司 関根 茂夫 |
- (1) 第1回 支部役員会
 - 日 時：平成28年4月14日(木) 18:30～19:30
 - 場 所：深谷赤十字病院
 - 参加者：6人
 - (2) 第1回 支部勉強会
 - 日 時：平成28年5月26日(木) 18:30～20:30
 - 場 所：さくらめいと 第1会議室
 - 講義内容：
 - 「CT・MRI造影剤の種類による違いと診療報酬改定のポイント」
富士製薬工業株式会社 営業部 関東第二支店第二営業所 土本 泰広
 - 「新人教育」
深谷赤十字病院 放射線科部 齋藤 幸夫
 - 「ディズニーに学ぶ患者接遇」
さいたま赤十字病院 放射線科部 大河原侑司
 - 参加者：46人
 - (3) 第2回 支部役員会
 - 日 時：平成28年5月26日(木) 20:30～21:00
 - 場 所：さくらめいと 第1会議室

参加者：7人
 (4) 医療画像展 (秩父市保健センターまつり)
 日時：平成28年6月5日(日) 10:00～14:00
 場所：秩父市保健センター
 内容：骨密度測定、パネル展示、スーパーボール釣り
 等

実行委員：12人
 骨密度測定：400人
 パネル展示：100人
 スーパーボール釣り：220人
 被ばく相談：4人

(5) 平成28年度 第四支部 納涼会
 日時：平成28年7月29日(金) 19:00～
 場所：旬彩ダイニング 浪漫 熊谷市宮前町 2-95
 参加者：59人

(6) 第2回 支部勉強会
 日時：平成28年9月15日(木) 18:30～21:00
 場所：さくらめいと 第1会議室

講義内容：
 頭部領域 MRI について
 座長 小川赤十字病院 山田 伸司
 第1部「施設紹介、頭部ルーチン撮像法」
 熊谷総合病院 吉田 敦
 羽生総合病院 鯨井 昇
 深谷赤十字病院 富田 欣治
 小川赤十字病院 高井 太市
 第2部「症例検討」
 脳出血のMRI ～脳内出血の継時的変化～
 熊谷総合病院 吉田 敦
 脳梗塞のMRI ～急性期脳梗塞を中心とした症例～
 羽生総合病院 鯨井 昇
 脳腫瘍のMRI ～髄膜腫と下垂体腺腫を中心に～
 深谷赤十字病院 富田 欣治
 認知症のMRI ～VSRADについて～
 小川赤十字病院 高井 太市

参加者：56人

(7) 第3回 支部役員会
 日時：平成28年9月15日(木) 21:00～21:30
 場所：さくらめいと 第1会議室

参加者：7人

(8) 医療画像展 (深谷市福祉健康まつり)
 日時：平成28年10月30日(日) 10:00～15:00
 場所：深谷ピクチャー・深谷市総合体育館
 内容：骨密度測定、パネル展示、スーパーボール釣
 り等

実行委員：13人
 骨密度測定、パネル展示、モニター展示：450人
 スーパーボール釣り：200人
 被ばく相談：0人

(9) 地域医療連携講演会の開催について
 日時：平成28年11月8日(火) 19:00～
 場所：深谷赤十字病院 1F 多目的ホール
 内容：開会挨拶：深谷寄居医師会
 地域医療担当理事 飯塚 勇 先生

座長：深谷赤十字病院 院長 伊藤 博 先生
 特別講演：『放射線治療のあれこれ』
 深谷赤十字病院 放射線治療科部長
 楮本 智子 先生
 閉会挨拶：深谷寄居医師会 会長
 緒方 伸男 先生

参加者：102人
 (10) 支部合同勉強会 in 熊谷
 日時：平成28年11月12日(土)
 場所：森林公園 四季の湯温泉ホテル・ヘリテイジ
 講演内容：

開会挨拶 第二支部理事 大西 圭一
 壱. 支部合同症例検討会
 コメンテーター
 彩の国東大宮 M.C 茂木 雅和

支部座長
 第一支部 三愛病院 川島 慶太
 第二支部 所沢ハートセンター 柴 俊幸
 第三支部 埼玉医科大学病院 吉岡 正樹
 第四支部 小川赤十字病院 高井 太市
 第五支部 越谷市立病院 関根 貢
 第六支部 彩の国東大宮 M.C 茂木 雅和

「救急・時間外 CT 基本症例～技師から医師へのア
 プローチ～」
 第一支部 済生会川口総合病院 鈴木 友理
 第二支部 防衛医科大学校病院 高橋 敦
 第三支部 埼玉医科大学国際医療センター
 田島 秀晃

第四支部 熊谷総合病院 吉田 敦
 第五支部 獨協医科大学越谷病院 天早 峻
 第六支部 指扇病院 安川 紘平

式. 技師講演
 座長 西大宮病院 豊留 章裕
 埼玉医科大学病院 紀陸 剛志

「被ばく相談、やっていますか」
 壱、被ばく相談に必要なコミュニケーション術
 上尾中央総合病院 佐々木 健
 式、相談者に合わせた被ばく相談対応事例
 埼玉県済生会栗橋病院 内海 将人
 参、質問コーナー・ディスカッション
 参. 特別講演

座長 上尾中央総合病院 佐々木 健
 「SARTのミッションと未来へ目指すべきビジョ
 ン～みんなのために！ひとりのために！～」
 公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
 副会長 富田 博信
 閉会挨拶 第一支部理事 双木 邦博
 合同勉強会懇親会 司会進行 渡部 進一

参加者：157人
 (11) 医療画像展 (行田市健康フォーラム 2016)
 日時：平成28年11月13日(日)
 場所：行田市「みらい」ホール
 内容：支部合同勉強会 in 熊谷と日程が重なった為中止
 (12) 平成28年度 第四支部 忘年会

日 時：平成 28 年 11 月 25 日（金）19：00～

場 所：マロウドイン熊谷

参加者：78 人

(13) 第 3 回 支部勉強会

日 時：平成 29 年 1 月 26 日（木）18：30～21：00

場 所：さくらめいと 第 1 会議室

講演内容：「シーメンス CT 最新情報」

シーメンスヘルスケア株式会社 松浦 孝俊

「夜勤帯に撮像した CT 症例報告 Vol 3」

羽生総合病院 岡田 拓司

「Ai (Autopsy Imaging：死亡時画像診断) の基礎」

羽生総合病院 大野 渉

参加者：51 人

(14) 第 4 回 支部役員会

日 時：平成 29 年 1 月 26 日（木）21：00～21：30

場 所：さくらめいと 第 1 会議室

参加者：7 人

(15) 平成 28 年度 第四支部 監査会

日 時：平成 29 年 2 月 24 日（金）19：00～

場 所：熊谷総合病院

参加者：9 人

(16) 第 4 回支部勉強会・平成 28 年度第四支部総会

日 時：平成 29 年 3 月 23 日（木）18：50～20：00

場 所：さくらめいと 第 1 会議室

講演内容：DRL を知り撮影線量最適化を図ろう！

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 公益委員

上尾中央総合病院 矢島 慧介

定期総会

参加者：48 人

(17) 長谷川英治氏公衆衛生功労知事表彰祝賀会

日 時：平成 29 年 3 月 25 日（土）18：00～

場 所：熊谷市銀座 1-64 マロウドイン熊谷「飛天」

参加者：91 人

第五支部

支部理事 矢崎 一郎

支部役員

鈴木 孝 中村 禎二

中村 正之 岩井 悠二

矢部 智 西山 史朗

金子 初穂 中嶋 幸孝

眞壁 耕平 矢作 悠馬

長坂 純

(1) 支部情報交換会

開催日時：平成 28 年 4 月 21 日（木）

場 所：春日部市市民活動センター

内 容：一般撮影 FPD の最新動向と最新画像処理
フジフィルムメディカル株式会社

(2) 支部情報交換会

開催日時：平成 28 年 5 月 19 日（木）

場 所：春日部市市民活動センター

内 容：「ITEM2016 報告会フィリップス最新情報の
アップデート」
株式会社 フィリップスエレクトロニクスジャパン

(3) 支部情報交換会

開催日時：平成 28 年 6 月 16 日（木）

場 所：春日部市市民活動センター

内 容：

①心臓 CT 検査の基礎構築 (Aquilion PRIME の使用
経験)

草加市立病院 放射線科 町永 努

②シーケンスチャートと傾斜磁場の基礎

草加市立病院 放射線科 加藤 広一

③当院における放射線治療の現状と今後

草加市立病院 放射線科 鈴木 健太

(4) 支部情報交換会

開催日時：平成 28 年 7 月 28 日（木）

場 所：春日部市市民活動センター

内 容：「X 線装置の歴史と最新技術紹介」

島津メディカルシステムズ (株)

(5) 支部情報交換会

開催日時：平成 28 年 8 月 24 日（水）

場 所：春日部市市民活動センター

内 容：

①一般撮影基礎の基礎

～困ったときの対処法から読影の初歩について～

越谷市立病院 國井 琢矢

②当院におけるマンモグラフィ検査の運用

越谷市立病院 武村 香澄

③乳腺 MRI の基礎

(6) 支部情報交換会

開催日時：平成 28 年 9 月 29 日（木）

場 所：春日部市市民活動センター

内 容：

①乳腺検査における CT の役割

獨協医科大学越谷病院 中土 愛梨

②デジタル乳腺トモシンセシス (DBT) の有用性について

獨協医科大学越谷病院 小松崎 亜実

③乳腺 MRI のルーチン検査と追加撮像

獨協医科大学越谷病院 遠藤 駿登

(7) 支部情報交換会

開催日時：平成 28 年 10 月 27 日（木）

場 所：春日部市市民活動センター

内 容：

①コロンフォートのご紹介

伏見製薬株式会社 窪内 大将

②当院における大腸 CT 検査の流れ

三郷中央総合病院 放射線技術科 寺島 幸

③コロンフォートにおける前処置の検討

三郷中央総合病院 放射線技術科 市村 孝幸

(8) 越谷市民祭り

開催日時：平成 28 年 10 月 23 日（日）

場 所：越谷市役所庁舎内

(9) ふれあいキューブフェスティバル

開催日時：平成 28 年 12 月 3 日（土）

12 月 4 日（日）

場 所：春日部市ふれあいキューブ

(10) 支部情報交換会

開催日時：平成 28 年 12 月 15 日 (木)
 場 所：春日部市市民活動センター
 内 容：DRL を知り撮影線量最適化を図ろう！
 医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院
 放射線技術科主任
 佐々木 健

(11) 支部情報交換会

開催日時：日時：平成 29 年 1 月 26 日 (木)
 場 所：春日部市市民活動センター
 内 容：①当院における症例検討会の取り組み
 済生会栗橋病院 放射線技術科 渡邊 城大
 ②症例：一般撮影
 済生会栗橋病院 放射線技術科 脇谷 正行
 ③症例：CT
 済生会栗橋病院 放射線技術科 櫻井 均

(12) 支部情報交換会

開催日時：日時：平成 29 年 2 月 23 日 (木)
 場 所：春日部市市民活動センター
 1 膠原病と RA における一般撮影の役割
 草加市立病院 医療技術部 放射線科 佐藤 史佳
 2 当院における頸部 CTA の撮影法と MPR 分解能について
 草加市立病院 医療技術部 放射線科 石川 春菜
 3 MRI 撮像の実践 (ポジショニングから撮像条件まで)
 草加市立病院 医療技術部 放射線科 佐藤 広崇

(13) 支部情報交換会

開催日時：平成 29 年 3 月 23 日 (木)
 場 所：春日部市市民活動センター
 1：最新の機器紹介 シーメンス・ヘルステア株式会社
 2：当院における心臓造影 CT の撮影方法と画像解析について
 新久喜総合病院 放射線科 斎藤 俊樹
 3：虚血性心疾患における心筋血流シンチグラフィの役割
 新久喜総合病院 放射線科 添田 拓哉

第六支部

会 長 (支部理事) 高嶋 豊
 副会長 山口 明
 監 事 濱守 誠 尾形 智幸
 学 術 茂木 雅和 木村 浩明
 安川 紘平 春日 沙織
 仲西 一真
 広 報 仙波 亮 藤巻 武義
 編 集 辻村明日香
 総 務 竹内 信行 秋谷 龍一郎
 倉内 克憲
 会 計 徳田 光希 (山口 明)

(1) 支部役員会

開催日時：平成 28 年 4 月 7 日 (木)
 場 所：さいたま赤十字病院
 参 加 者：13 人

(2) 関東甲信越学術大会

開催日時：平成 28 年 5 月 14、15 日 (土、日)

場 所：大宮ソニックシティ

第六支部演題発表

第六支部学術担当：彩の国東大宮メディカルセンター

茂木 雅和

(3) 平成 28 年 第六支部第一回定期講習会

開催日時：平成 28 年 6 月 9 日 (木) 19:00 ~

場 所：彩の国東大宮メディカルセンター

内 容：

ア、『MRI 膝関節について』

講師：埼玉医科大学病院 高橋 忍

イ、『職能団体における政治の役割について』

講師：埼玉県庁病院局 田中 宏

講師：埼玉県済生会川口総合病院

富田 博信

ウ、『施設見学』

講師：東大宮メディカルセンター放射線科スタッフ

参 加 者：47 人

(4) 第六支部納涼会

開催日時：平成 28 年 7 月 14 日 (木)

場 所：Dinning Café MARINA

参 加 者：32 人

(5) 支部役員会

開催日時：平成 28 年 8 月 30 日 (火)

場 所：さいたま赤十字病院

参 加 者：12 人

(6) 平成 28 年度 第六支部第二回定期講習会

開催日時：平成 28 年 10 月 20 日 (木) 19:00 ~

場 所：JCHO さいたま北部医療センター

内 容：

ア、『CT による急性期疾患の特徴』

講 師：西大宮病院 豊留 章裕

講 師：白岡中央総合病院 石田 仁子

講 師：指扇病院 石川 直哉

イ、『症例検討、ディスカッション』

講 師：埼玉石心会病院 諸田 智章

講 師：さいたま赤十字病院 小此木 俊

講 師：上尾中央総合病院 内田 瑛基

参 加 者：61 人

(7) 彩の国いきいきフェスティバル

開催日時：平成 28 年 10 月 30 日 (日)

場 所：埼玉県民活動総合センター

～放射線展～パネル展示

被ばく相談 6 人 骨密度測定 211 人

実行委員：11 人

(8) 支部合同勉強会 (1.2.3.4.5.6 支部)

開催日時：11 月 12 日 (土)

場 所：ホテルヘリテイジ熊谷

参 加 者：157 人

(9) 忘年会

開催日時：平成 28 年 11 月 24 日 (木) 19:00 ~

場 所：KICHIRI

参 加 者：37 人

(10) 支部役員会

開催日時：平成 28 年 12 月 6 日（火）

場 所：さいたま赤十字病院

参加者：13 人

(11) 埼玉県診療放射線技師会第六支部定期総会及び第六支部第 3 回定期講習会

開催日時：平成 29 年 3 月 10 日（金）19：00～

場 所：指扇病院

内 容：

①定期総会

②第六支部第 3 回定期講習会

『骨盤部 MRI 検査の基礎』

ア、子宮卵巣 MRI

講 師：上尾中央総合病院 渋江 美美香

イ、骨盤部 MRI

講 師：埼玉県立がんセンター 山内 辰雄

参加者：47 人

イ、第 49 回 埼玉消化管撮影研究会

講 師：山下誠司、浅見純一、重松綾、今出克利

開催日時：平成 28 年 11 月 24 日（木）

場 所：さいたま赤十字病院 第 3 会議室

参加者：33 人

ウ、第 50 回 埼玉消化管撮影研究会

講 師：小田丈二、今出克利、大森正司

開催日時：平成 29 年 1 月 22 日（日）

場 所：さいたま赤十字病院 多目的ホール

参加者：34 人

9. 研究会活動

(1) 埼玉医用乳房画像研究会活動報告

ア、画像の向こうの患者を診よう

1) 第 51 回 症例検討会

開催日時：平成 28 年 4 月 19 日

参加者：40 人

2) 52 回 症例検討会

開催日時：平成 28 年 5 月 17 日

参加者：27 人

3) 第 53 回 症例検討会

開催日時：平成 28 年 6 月 21 日

参加者：51 人

4) 第 54 回 症例検討会

開催日時：平成 28 年 7 月 19 日

参加者：33 人

5) 第 55 回 症例検討会

開催日時：平成 28 年 8 月 23 日

参加者：23 人

6) 第 56 回 症例検討会

開催日時：平成 28 年 9 月 20 日

参加者：13 人

7) 第 57 回 症例検討会

開催日時：平成 28 年 10 月 25 日

参加者：20 人

8) 第 58 回 症例検討会

開催日時：平成 29 年 2 月 21 日

参加者：28 人

9) 第 59 回 症例検討会

開催日時：平成 29 年 3 月 28 日

参加者：19 人

(2) 埼玉消化管撮影研究会活動報告

ア、第 48 回 埼玉消化管撮影研究会

講 師：鈴木紫方、志田智樹、池田圭介、大森正司

開催日時：平成 28 年 7 月 8 日（金）

場 所：さいたま赤十字病院 5F 講堂

参加者：45 人

平成 28 年度（公社）埼玉県診療放射線技師会理事会審議事項

1. 平成 28 年度表彰者について審議し承認した。（議案書番号：理-1）（承認）
2. 平成 28 年度 CT 入門編および取得者向け講習開催について審議し承認した。（議案書番号：理-2）（承認）
3. 新入会の承認について審議し承認した。（議案書番号：理-3）（承認）
4. 平成 27 年度埼玉県診療放射線技師会決算について審議し承認した。（議案書番号：理-4）（承認）
5. 深谷市福祉健康まつりへの参画について予算および骨密度装置、パネル等の貸出しについて審議し承認した。（議案書番号：理-5）（承認）
6. 浦和区健康まつりへの参画について予算および骨密度装置、のぼり等の貸出しについて審議し承認した。（議案書番号：理-6）（承認）
7. 第 30 回川越市健康まつりへの参画における予算について審議し承認した。（議案書番号：理-7）（承認）
8. 平成 27 年度事業報告について審議し承認した。（議案書番号：理-8）（承認）
9. 平成 28 年度学術大会開催について審議し承認した。（議案書番号：理-9）（承認）
10. 第 15 回胸部認定講習会開催について審議し承認した。（議案書番号：理-10）（承認）
11. 救急撮影ケーススタディー開催について審議し承認した。（議案書番号：理-11）（承認）
12. 平成 28 年度 MRI 基礎講習会開催について審議し承認した。（議案書番号：理-12）（承認）
13. 第 3 回 DR セミナー開催について審議し承認した。（議案書番号：理-13）（承認）
14. 第 8 回 CT 認定講習会開催について審議し承認した。（議案書番号：理-14）（承認）
15. 平成 28 年度第 16 回上部消化管検査認定講習会開催について審議し承認した。（議案書番号：理-15）（承認）
16. 新入会の承認について審議し承認した。（議案書番号：理-16）（承認）
17. 会員施設への骨密度装置およびパネル、のぼり等の貸出しについて審議し承認した。（議案書番号：理-17）（承認）
18. 第 3 回救急セミナー（第 3 支部合同）開催について審議し承認した。（議案書番号：理-18）（承認）
19. 第 42 回越谷市民祭りへの参画における予算およびパネル等の貸出について審議し承認した。（議案書番号：理-19）（承認）
20. リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 川越の参加における予算案の変更について審議し承認した。（議案書番号：理-20）（承認）
21. 当会事業におけるデータ通信機器の購入について審議し承認した。（議案書番号：理-21）（承認）
22. 第 35 回日本診療放射線技師学術大会における埼玉開催について審議し承認した。（議案書番号：理-22）（承認）
23. 新入会の承認について審議し承認した。（議案書番号：理-23）（承認）
24. 事務所コピー機の更新について審議し承認した。（議案書番号：理-24）（承認）
25. 彩の国いきいきフェスティバル参画に際し予算およびのぼり貸出、骨密度装置レンタル使用について審議し承認した。（議案書番号：理-25）（承認）
26. 超音波式骨密度測定装置貸出規約の改定について審議し承認した。（議案書番号：理-26）（承認）
27. シンチレーションサーベイメータの購入について審議し承認した。（議案書番号：理-27）（承認）
28. 平成 28 年度 Freed セミナー開催について審議し承認した。（議案書番号：理-28）（承認）
29. 新入会の承認について審議し承認した。（議案書番号：理-29）（承認）
30. 平成 29 年役員選挙における選挙管理委員の選任について審議し承認した。（議案書番号：理-30）（承認）
31. 第 6 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会開催日時について審議し承認した。（議案書番号：理-31）（承認）
32. 「ほぼら春日部」オープン 5 周年記念イベント参画に際し、医用画像展開催のための予算および展示パネルの貸出について審議し承認した。（議案書番号：理-32）（承認）
33. 新入会員について審議し承認した。（議案書番号：理-33）（承認）

34. 浦和区健康まつり参加に当たり予算額を大幅に超えたため、当初予算額の変更と追加補助の申請について審議し承認した。(議案書番号：理-34) (承認)
35. 佐々木正夫会員を名誉会員として承認した。(議案書番号：理-35) (承認)
36. 平成 29 年度表彰者（公衆衛生功労知事表彰 2 名、公衆衛生功労協会会長表彰 2 名、埼玉県知事表彰 1 名、公衆衛生功労厚生労働大臣表彰 1 名、平成 30 年春叙勲候補者 1 名）推薦について審議し承認した。(議案書番号：理-36) (承認)
37. 第 20 回秩父市保健センターまつりに参画し医用画像展を開催するに当たり、予算案の承認および骨密度測定装置、展示パネル等の貸出について審議し承認した。(議案書番号：理-37) (承認)
38. 新入会員の承認について審議し承認した。(議案書番号：理-38) (承認)
39. 平成 29 年度事業計画案について資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-39) (承認)
40. フレッシュアップセミナー（第 19 回 SART セミナー）開催について審議し承認した。(議案書番号：理-40) (承認)
41. 小川清前会長を平成 29、30 年度相談役として推薦することについて、審議し承認した。(議案書番号：理-41) (承認)
42. 平成 29 年度埼玉県診療放射線技師会収支予算について資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-42) (承認)
43. 新入会員について審議し承認した。(議案書番号：理-43) (承認)

平成 29 年度事業計画 県民へのアピール

本会の設立目的として、定款第3条に「この法人は、診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、診療放射線学の向上を図り、もって地域保健医療の向上及び県民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。」とある。本会が学術活動や出版事業等を行う目的は、会員非会員を問わず、埼玉県内の診療放射線技師の資質の向上により、質の高い医療技術を広く県民へ還元することが目的である。

本会では、数多くのセミナーや勉強会を企画している。また健康祭りへの参加や公立学校における放射線教育の担務など、県民向けの企画を数多く行っている。これら本会が企画開催する公益事業に参加いただいた県民のみならず、広く県民に本会活動を知っていただくためにアピールすることも本会の役割と考えている。これまで私たちがアピールを行ってきた相手方は、診療放射線技師の同じ仲間であったり、企業など放射線関係団体、そして医療における他職種が主であった。しかし、公益法人である職能団体は、本来県民のための活動を目的とした団体であり、これまで行ってきたアピールは手段であり目的ではない。

町では、商工会や法人会、青年会議所など、多数の公益団体が活動を行っているが、多くは行政

と関わりながら事業を進めている。それは、行政は住民全ての生活に最も関わっている公共団体からである。健康祭りなどを技師会独自で開催するのは広報などアピール力に限界がある。だからこそ行政と協同で開催することは、県民に対する公益事業としても十分に意味のあることである。

アピールする内容は、本会の存在はもちろんのこと、その活動実績、そして具体的にどのような公益事業ができるのか常に示す必要がある。そして示す相手先は行政だけではなく、行政と密接な関わりを持つ市民団体へのアピールも必要であると考えている。

市町村で開催する健康祭りへの参画は、本会の公益事業の重要な柱であり、同時に行政や市民団体への重要なアピールの場でもある。これらの事業を、昨年は県議会と行政に本会公益事業としてのアピールを行い、非常に高い評価を得ることができた。これも会員の方々の日頃の実績があるからこそアピールできたことはいままでもない。

平成 29 年度は、組織でのアピールはもちろんのこと、個々の役員もできる範囲でのアピールを行っていきたいと考えている。

1. 職業人としての質の向上

- (1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催
 - ア. 埼玉県診療放射線技師学術大会
 - イ. 胸部撮影認定講習会
 - ウ. 上部消化管検査認定講習会
 - エ. フレッシュアップセミナー (SART セミナー)
 - オ. 放射線技術部門マネジメント・セミナー (医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成)
 - カ. CT 認定講習会
 - キ. MRI 基礎講習会
 - ク. 乳腺セミナー
 - ケ. DR 計測セミナー
 - コ. 救急撮影ケーススタディー (日本救急撮影技師認定機構との共催)
 - サ. 読影力向上のための講習会 (支部開催セミナー)
 - シ. 業務拡大に伴う統一講習会
- (2) 会員講師の育成と体制づくり
- (3) 他県診療放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進
 - ア. 関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力
 - イ. 埼玉県医師会主催事業への支援
 - ウ. 埼玉臨床画像研究会への協力
 - エ. 日本放射線技術学会関東部会との合同企画
 - オ. 日本診療放射線技師会との合同開催企画
 - カ. 各認定機構との合同企画 (埼玉開催の推進)

2. 組織運営に関わる事業

- (1) 行政との連携
- (2) 入会促進事業の強化

3. 公益目的事業

- (1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊
- (2) 市民公開講座の開催
- (3) 地域自治体主催事業への参画
- (4) 医療画像展の開催と支援
- (5) 県民向けホームページの充実
- (6) 医療被ばく相談の迅速な対応
- (7) 公立学校における放射線教育の担務
- (8) 技師会事務所近隣住民に対する公益事業

4. 編集・情報

- (1) 本会誌「埼玉放射線」の充実
- (2) 診療放射線技師向けホームページの充実
 - ア. 各講習会、セミナー、イベントなどの迅速な広報
 - イ. 学術データベースの充実
- (3) メールマガジンの有効利用

5 その他

- (1) 他職種の職能団体との連携
- (2) 技師会事務所長期修繕計画の立案
- (3) 日本診療放射線技師会・他県技師会への協力

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定款

平成 24 年 4 月 1 日制定

平成 27 年 5 月 30 日改正

第 1 章 総 則

(名 称)

第 1 条 この法人は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会と称する。

(事務所)

第 2 条 この法人は、主たる事務所を埼玉県さいたま市に置く。

第 2 章 目的及び事業

(目 的)

第 3 条 この法人は、診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、診療放射線学の向上を図り、もって地域保健医療の向上及び県民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

(事 業)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 県民への放射線医療に関する知識の普及啓発事業
 - (2) 診療放射線学及び診療放射線技師の職業倫理高揚に関する研修会、研究会、講習会等の開催
 - (3) 放射線管理と医療被曝の適正化に関する事業
 - (4) 診療放射線学に関する調査、研究、情報提供及び指導
 - (5) 前各号に掲げる事業に関する図書、印刷物等の刊行
 - (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項の事業は、埼玉県内にて行うものとする。

第 3 章 会 員

(種 別)

第 5 条 この法人に次の会員を置く。

- (1) 正会員 診療放射線技師及び診療エックス線技師であってこの法人の事業に賛同して入会した個人
 - (2) 名誉会員 この法人に特に功労のあった正会員のうち、理事会の推薦を受け総会の承認を得た個人
 - (3) 賛助会員 正会員の資格を有しないもので、この法人の事業に賛同して、理事会の承認を得た個人又は団体
- 2 前項の会員のうち正会員及び名誉会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。

(会員の資格の取得)

第 6 条 この法人の会員になろうとする者は、理事会の定めるところにより申し込みをし、その承認を受けなければならない。

(経費の負担)

第 7 条 この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、会員になった次年度から毎年、会員は、総会において別に定める額を支払う義務を負う。ただし、自己の療養又は親族の介護、育児その他やむを得ない事情により、診療放射線技師又は診療エックス線技師として現に業務に従事していない期間が継続して 1 年以上経過している正会員については、総会において別に定める基準に従って経費を支払う義務を免除することができる。

- 2 名誉会員は、前項における経費を負担することを要しない。

(任意退会)

第8条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規則に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

(会員資格の喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第7条の支払義務を2年以上履行しなかったとき。
- (2) 総会員が同意したとき。
- (3) 当該会員が死亡し、又は解散したとき。

第4章 総会**(構成)**

第11条 総会は、正会員及び名誉会員をもって構成する。

2 前項の総会をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員総会とする。

(権限)

第12条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任又は解任
- (3) 理事及び監事の報酬等の額に関する事項
- (4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 解散及び残余財産の処分
- (7) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第13条 総会は、定時総会として毎事業年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第14条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

2 正会員及び名誉会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する会員は、会長に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

(議長)

第15条 総会の議長は、当該総会において出席会員の中から選出する。

(議決権)

第16条 総会における議決権は、会員1名につき1個とする。

(決議)

第17条 総会の決議は、正会員及び名誉会員の議決権の過半数を有する会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、正会員及び名誉会員の半数以上であって、正会員及び名誉会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第20条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第18条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議長及び出席した理事は、前項の議事録に記名押印する。

第5章 役員等

第19条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 15名以上20名以内
- (2) 監事 2名以内
- 2 理事のうち1名を会長とし2名を副会長、6名を常務理事とする。
- 3 前項の会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副会長及び常務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第20条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

- 2 理事会は、会長、副会長及び常務理事を選定及び解職する。会長の選定及び解職をする場合において、理事会は、総会にこれを付議した上で、その決議の結果を参考にすることができる。

(理事の職務及び権限)

第21条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、副会長及び常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
- 3 会長、副会長及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第22条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第23条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

- 2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 4 理事又は監事は、第19条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第24条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(役員報酬等)

第25条 理事及び監事に対して、総会において定める総額の範囲内で、総会において別に定める役員報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(相談役)

第26条 この法人に、任意の機関として、1名以上3名以下の相談役を置く。

- 2 相談役は、次の職務を行う。
 - (1) 会長の相談に応じること。
 - (2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること。
- 3 相談役を選任及び解任は、理事会において決議する。
- 4 前条の規定は、相談役の報酬等について準用する。

第6章 理事会

(構成)

第27条 この法人に理事会を置く。

- 2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第28条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長及び常務理事の選定及び解職

(常務理事会)

第29条 この法人に常務理事会を置く。

- 2 常務理事会は、会長、副会長及び常務理事をもって構成する。
- 3 常務理事会は、次の職務を行う。
 - (1) この法人の業務運営の年間計画案を策定し、理事会に提出すること。
 - (2) 業務の適正を確保するために必要な体制の運用及び改善についての意見を理事会に提出すること。

(招集)

- 第30条 理事会及び常務理事会は、会長が招集する。
- 2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長が理事会及び常務理事会を招集する。

(決議)

- 第31条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。
- 2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

- 第32条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
- 2 出席した会長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第7章 資産及び会計**(事業年度)**

第33条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

- 第34条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。
- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

- 第35条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。
- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
 - (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
 - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、総会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。
 - 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、正会員及び名誉会員の名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
 - (1) 監査報告
 - (2) 理事及び監事の名簿
 - (3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類
 - (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第36条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に

に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする。

第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第37条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第38条 この法人は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第39条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第40条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第41条 この法人の公告は、電子公告により行う。
2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

第10章 支部

(支部)

第42条 この法人に、理事会の定めるところにより支部を置く。

- 2 支部は第34条の事業計画書に基づき、当該支部に関する事業を執行する。
- 3 支部は第20条第1項の規定により、総会で理事を選任するにあたり、理事候補者の推薦をすることができる。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 この法人の最初の会長は小川 清とする。
- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第34条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 諸規程

会費規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第7条の規定に基づき、会費の納入に関し、必要な細則を定めるものとする。

第2条 会費は次のとおりとする。

正会員	年額 9,000円
賛助会員（個人）	年額 9,000円
賛助会員（法人）	年額 25,000円

第3条 前条の会費は、毎事業年度における合計額の30%以上を当該事業年度の公益目的事業に使用する。

第4条 会員は、毎事業年度、9月30日までに、会費年額の全額を納付しなければならない。

第5条 定款第7条第1項ただし書きの規定により、会費の免除の取扱いを受けようとする者は、所定の申請書を添えて、毎年度、本会に申請するものとする。

第6条 この規程の改廃は、理事会の決定を経て総会の承認を得るものとする。

附 則

この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

この規程は、平成28年6月18日から施行する。

役員等の報酬並びに費用に関する規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第25条に基づき、役員等の報酬等及び費用に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定 義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員 理事及び監事をいう。
- (2) 役員等 役員及び会長から指名を受けた会員をいう。
- (3) 報酬等 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第13号に規定する報酬

等であって、次条及び第4条に規定するものをいう。

- (4) 費用 職務の遂行に伴い発生する交通費、通勤手当、旅費（宿泊費を含む。）及び手数料等の経費をいう。

(報酬の額及び支給の方法)

第3条

理事の報酬は、理事会及び常務理事会の出席1回につき2,000円を上限とし、理事会で決定する。

2 監事の報酬は、年額111,370円を上限として、監事が協議して定める額とする。

3 前2項の規定にかかわらず、当該役員が報酬を辞退した場合は支給しない。

4 報酬は、四半期ごとに現金で支給する。ただし、当該役員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(講師及び原稿執筆謝金)

第4条 役員等が会長よりセミナー、研修会若しくはシンポジウムなどの会合における講師を委嘱されたとき又は原稿執筆を委嘱されたときは、別に定める「役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程」に基づき講師謝金又は執筆謝金を支給する。

(費 用)

第5条 本会は、役員等がその職務の遂行に当たって負担した費用については、これを請求のあった日から遅滞なく支払うものとし、また前払いを要するものについては前もって支払うものとする。

2 前項の費用は、現金で支払うものとする。ただし、当該役員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支払うものとする。

(公 表)

第6条 この規程をもって、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第20条第1項の規定により報酬等の支給の基準として公表するものとする。

(改正)

第7条 この規程は、総会の議決によらなければ改正することができない。

(補則)

第8条 この規程の実施に関し必要な事項は、会長が理事会の承認を得て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年5月25日から施行する。

役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程 (本会主催の講師謝金)

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）の役員等が、本会主催の講演会、セミナー又はこれに類する会合（以下「講演会等」という。）の講師を務めたときは、その謝金として、1回につきその時間が30分以内のときは5,568円、1時間以内のときは11,137円を、1時間を超えるときは22,274円を支払うものとする。

(原稿執筆謝金)

第2条 役員等が、本会の発行する定期刊行物又は書籍の原稿を執筆したときは、1000字まで3,000円、それ以後1000字毎に1,000円を限度として執筆謝金を支払うことができる。

(支払い方法)

第3条 前2条の謝金は、当該講演又は入稿の後速やかに現金で支払うものとする。ただし、当該役員等から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(会員以外の者への謝金)

第4条 会員以外の者が本会の発行する定期刊行物若しくは書籍の原稿を執筆したときは、第2条に定める金額に100分の50を乗じた額を加算して支給する。

(改正)

第5条 この規程は、総会の議決によらなければ改正することができない。

(補則)

第6条 この規程の実施に関する必要な事項は、会長が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年5月25日から施行する。

講師謝礼に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）が主催する診療放射線技師会または診療エックス線技師会を主な対象者とした、職業倫理高揚及び診療放射線学の向上に関する研修会、研究会、講習会等（以下、「研修会等」という。）の講師への謝礼について必要な事項を定めることを目的とする。

(謝礼の支払い)

第2条 謝礼は、研修会等1回ごとに、講師1人につき55,685円を上限として支払うものとする。

(旅費)

第3条 講師には、その自宅又は勤務地から研修会等の会場まで公共交通機関を使用した場合における交通費相当額を支給する。ただし、研修会等の会場の近辺に公共交通機関が存在しない等交通不便地の場合は、講師の自宅又は勤務地から当該会場に最も近い鉄道の駅までの交通費相当額に、当該駅から会場まで距離1kmごとに300円を乗じて得た額を加算して支給する。

(支給の方法)

第4条 謝礼及び旅費の支給日は研修会等の終了後とし、支給方法は所得税その他法令の規定に基づき控除すべき金額を控除し、その残額を現金又は当該講師の指定する銀行口座に振り込む方法により支給する。

(適用除外)

第5条 この規程は、本会の会員が研修会等の講師を勤めた場合には適用しない。

2 本会の会員が研修会等の講師を勤めた場合の謝礼

及び旅費に相当する金員の支給は、役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程に基づき支給するものとする。

(改正)

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決により行う。

(補則)

第7条 この規程の実施に関する必要な事項は、会長が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年5月8日から施行する。

旅費および日当等支払規程

(趣旨)

第1条 この規程は、委員会（編集委員会、学術委員会その他理事会の議決に基づき設置した委員会その他の組織をいう。以下同じ。）の会務（当該委員会の会議及び当該委員会の所掌する事務に関する活動であって、会長の許可を得たものをいう。以下同じ。）のために出張する当該委員会の構成員に支給する旅費及び日当について定めるものとする。

(旅費)

第2条 旅費は当該旅行のための移動方法の別にかかわらず、旅行開始場所から会務実施場所までの往復の旅程について、公共交通機関を用いて旅行した場合に生じる額を支給する。ただし、当該旅行の区間に公共交通機関による移動が不能な区間が含まれるときは、当該移動が不能な区間の旅費は、距離1kmごとに300円を乗じて得た額を支給するものとする。

第3条 会務に従事した場合は、当該委員会の構成員に日当を支給する。

2 前項の日当は、会務1日につき1,000円とする。ただし、会長が理事会の議決を経て定めたものについては2,000円とする。

第4条 旅費及び日当のほか、会務に関する学術大会、講習会等の開催及びその準備に係る役務費、消耗品費その他の経費であって委員会の構成員が立て替えたものは別に弁償する。

第5条 経費は、その都度現金により支払う。ただし、

当該委員会の構成員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決により行う。

附則

この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

会員の登録等に関する規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第5条第1項、第6条及び第8条に基づいて、会員の入退会に関する細部手続について必要事項を定めることを目的とする。

第2条 本会に入会しようとする者は、診療放射線技師及び診療エックス線技師でなければならない。ただし、賛助会員はこの限りではない。

第3条 本会に入会を希望する者は、所定の入会申込書を会長に提出するものとする。

第4条 理事会は、入会申込書に基づいてその諾否を審査し、入会承認を決定するものとする。

第5条 入会を承認したときは、会員原簿に登録するとともに、速やかに入会年月日を本人に通知するものとする。

2 入会を否認したときは、その理由を付して本人に通知するものとする。

第6条 会員の資格は、理事会が承認した日に始まり資格喪失した日に終わる。ただし、定款第10条（1）の要件が発生したときは、理事会の承認を経て資格を停止し、出版刊行物送付等を制限することがある。

第7条 会員は、入会申込書記載の住所、氏名、勤務先に変更を生じたときは、速やかに届け出るものとする。

第8条 会員は次の特典を享受することができる。

（1）本会が保有する会議室を優先して利用することができる。

（2）本会が刊行する会誌を無料で配布を受けることができる。

（3）メーリングリストに登載し、メール等による情報提供を受けることができる。

（4）本会が主催、共催する研修会、セミナー等に割

引料金を参加することができる。

第9条 会員が退会しようとするときは、理由を付し、退会届を本会に届け出るものとする。

第10条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成24年12月5日から施行する。

役員選出規程

第1章 総 則

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の役員の選出は、定款第21条に基づき、この規程により行うものとする。

第2章 選挙管理委員会

第2条 役員を選出するときは、理事会の承認を得て、選挙管理委員会を設けるものとする。

第3条 選挙管理委員会は、正会員のなかから選出して構成し、委員長は互選とする。

2 役員及び選挙の立候補者は、選挙管理委員にはなれない。

第4条 選挙管理委員会は、次の業務を行う。

- (1) 選挙の公示
- (2) 役員の立候補者届の受理、資格審査及び立候補者氏名の公示
- (3) 投票及び開票の管理ならびに当選の確認
- (4) 総会において選挙結果の報告
- (5) その他選挙管理に必要な事項

第5条 選挙管理委員の任期は2年とする。

第3章 役員の選挙

第6条 理事、監事に立候補しようとする個人、又は推薦しようとする支部は、所定の様式により選挙管理委員会に届け出るものとする。ただし、推薦の場合は本人の同意を必要とする。

第7条 立候補又は推薦の届出締切りは、総会の2か月前とする。

第8条 選挙は、立候補届のあった者について、総会に出席した会員によって行うものとする。

第9条 投票は、出席会員の無記名投票により行うものとする。

第10条 投票は、次の順序によって行う。

(1) 理 事

(2) 監 事

第11条 当選者は、それぞれ有効投票数を得た者から、高点順に定める。

第4章 無投票当選

第12条 各選挙を通じ、締切日を経過しても立候補者が役員定数を超えないときは、総会において無投票により当選者を定めるものとする。

第5章 異議申し立て

第13条 選挙に関する異議は、選挙終了後14日以内に選挙管理委員会に文章をもって申し立てることができる。

第6章 立候補ならびに当選の取消

第14条 役員立候補者が、選挙公報など選挙に関わる事項について、重大な虚偽の申告を行ったことが明らかになった場合は、選挙管理委員会の決議により立候補または当選を取り消すことができる。

第15条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

総会運営規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の総会運営を民主的かつ能率的に運営することを目的として定める。

第2条 前条の目的を達成するために、総会運営委員会を設けるものとする。

第3条 前条の委員会は、正会員のなかから6名の委員を選出して構成し、委員長は互選とする。

第4条 総会運営委員会は、総会の付議に基づき、次のことを協議し、その承認を得て運営する。

- (1) 議長団の選出の方法
- (2) 議事日程及び進行
- (3) 総会出席会員の資格審査
- (4) その他総会運営について必要な事項

第5条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

表彰規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第4条の事業を遂行するにあたり、顕著な功績のあった者の表彰に関する事項と、関係団体からの推薦依頼に関する諸条件について定める。

(条件)

第2条 表彰の対象となる者は、次の各号に該当することを条件とする。

- (1) 本会に15年以上在籍し、かつ会費を完納している者
- (2) その他、会長が適当であると認めた者

(種類)

第3条 表彰に関する分類は次のとおりとする

- (1) 功労賞 本会に多大な貢献があった者、または本会役員の在任期間が4年以上を有している者
- (2) 学術奨励賞 保健医療に関する研究、発明、発見、考案を行った者
- (3) 学術新人賞 研究発表を積極的に行った概ね30歳未満の正会員
- (4) 叙勲、関係団体表彰候補
- (5) 永年勤続者
 - ア 20年以上放射線業務に従事した者
 - イ 40年以上放射線業務に従事した者
- (6) 特別賞 他の模範となる善行があった者

(推薦)

第4条 受賞者の推薦は正会員又は名誉会員が行う。

(選考)

第5条 選考は表彰委員会が行い、委員会は会長、副会長、総務常務理事、および会長委嘱者5名の計10名で組織する。なお、会長委嘱者と委員長は役員外とする。

(決定)

第6条 表彰委員会は選考結果を理事会に答申し、決定は理事会にて行う。その他表彰に関する必要な事項についても理事会において決定する。

(内容)

第7条 表彰は表彰状と副賞を授与するものとする。

(実施)

第8条 表彰の実施は総会時に行うものとする。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年2月6日から施行する。

表彰規程細則

(表彰の実施)

第1条 表彰に関わる旅費、交通費は旅費規程の対象外とする。

2 表彰者ならびに表彰の概要を本会会誌に掲載し広報する。

(予算)

第2条 表彰に関する予算は当該年度の予算から充当する。

(表彰枠)

第3条 表彰の種類に関わる表彰枠は次のとおりとする。

- (1) 学術奨励賞 若干名
- (2) 学術新人賞 若干名

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年2月6日から施行する。

互助規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会員の相互扶助を図るために定めたものである。

第2条 前条の目的を達成するために、次の各号の事業を行う。

- (1) 会員に対する死亡弔慰金の給付

第3条 死亡弔慰金の金額は20,000円とする。

第4条 正会員の死亡退会の連絡を受けた場合、内容審査のうえ速やかに関係理事を通じて該会員の遺族に給付金を支給するものとする。

第5条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は理事会において決定するものとする。

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

委員会設置規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）の運営に必要な委員会の設置基準を定め、本規定をもって定款第4条に基づく事業を、会長の指示に基づき能率的に遂行するための組織を整えることを目的とする。

(委員会の種別)

第2条 この規程に基づく委員会は、常設委員会及び特別委員会とする。

2 常設委員会は、本会の管理業務又は定例の事業を担当するものとし、次の各号のとおりとする。

- (1) 総務・財務委員会
- (2) 学術委員会
- (3) 編集・情報委員会
- (4) 公益委員会

3 特別委員会は、本会の運営上臨時に派生する問題、又は特別の事業の必要に応じ、会長が理事会の議決を経て、これを設けるものとする。

(構成及び選任)

第3条 前条の各委員会は、委員長、副委員長及び、若干名の委員により構成される。

2 前条第2項各号に規定する常設委員会における委員長への就任は、会長の指名により、常務理事が、これを分掌する。

3 前条第3項に規定する特別委員会の委員長は、会長の指名に基づき、全理事のなかからこれを選任し理事会にて承認する。

4 各委員会の副委員長は、当該委員長の指名に基づき、全理事のなかから選出し、理事会において承認の上、会長がこれを委嘱する。

5 各委員会の委員は、正会員又は名誉会員から当該委員長が推挙し、会長が委嘱する。

(職 務)

第4条 委員長は、当該委員会を代表し、その事務を総理する。

2 各委員は、当該委員長の求めにより、随時招集される所属委員会に出席し、付議事項の審議を行う他、委員長を補佐し、本会の事業計画の実行、又は問題の解決に努めなければならない。

3 委員長に不測の事態が起きた場合は、副委員長がその職務を代行する。

(委員会)

第5条 各委員会は、当該委員長が随時招集する。

2 各委員長は、委員会が開催される毎に、以下の内容について、簡潔明瞭な報告書（議事録）を作成し、これを会長及び、総務担当の常務理事（常務理事）に提出しなければならない。

- (1) 付議された事項
- (2) その審議内容
- (3) 審議結果

(理事会への報告)

第6条 各委員長及び、各委員長により分担指名された副委員長は、担当する管理業務又は事業の企画及び実施状況を理事会に報告しなければならない。

(規程の変更)

第7条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、状況により必要な事案が発生した場合は、会長が理事会に諮り定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成26年9月4日から施行する。

研究会設置規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線

技師会（以下「本会」という。）定款第4条に基づき本会に研究会を設置する場合の手続きを定め、学術研究活動の促進を目的とする。

（定義）

第2条 この規程でいう研究会とは、前条に掲げた目的を達成するための学術研究を目的とする組織をいう。

（設置申請）

第3条 この規程に従い研究会の設立をしようとする正会員又は名誉会員は、研究会設置申請書（様式一研1）を会長に提出し、理事会の承認を得なければならない。

（承認基準）

第4条 前条により研究会の設立承認をする場合、次の基準を満たしていなければならない。

- （1）学問領域としての専門性と主体性、かつ社会性が認められること
- （2）当該研究会の活動により県民が利益を得られること
- （3）本会が認可する研究会の幹事及び主たる構成員は本会会員であること

（解散及び廃止）

第5条 研究会は、研究会解散届（様式一研2）を会長に提出し、自主的に解散することができる。

2 理事会は前項のほか、前条の基準を満たさないと判断した場合、研究会を廃止することができる。

（名 称）

第6条 研究会は、その名称とともに本会研究会であることを称することができる。

（活 動）

第7条 研究会は、目的を達成するために自主的に活動するものとし、概ね次の活動を行う。

- （1）研究会を開催する
- （2）研究成果を学術大会等に発表する

（報 告）

第8条 研究会は、毎年の活動状況を総会に報告する。

（助 成）

第9条 本会は、認可した研究会の発展向上を図る目的で、研究会からの申請により、理事会の承認を得て、助成を行うことができる。

2 助成の規模及び方法は別途理事会で定める。

（規程の改廃）

第10条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

技師会センター運営規程

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）技師会センターは埼玉県診療放射線技師会事務所及び会議室で構成する。

第2条 この規程は、技師会センターの運用について規定する。

第3条 技師会センターの管理責任者は会長とする。会長はセンターの業務管理者を指名し、業務管理者がセンター運営業務を行う。

2 重要事項については理事会において審議する。

第4条 業務管理者はセンターの運営に関する全ての責任を有する。

（会議室の利用）

第5条 次に掲げる各号に適合する場合、会長の許可を得て技師会センターを利用することができる。

- （1）理事が主催する全ての会議、委員会、講習会等
- （2）本会会員が所属する団体で、会長が認めた会議等
- （3）その他、会長が特に認めた会議、講習会等

（使用手続）

第6条 前条のうち（1）に該当する場合を除き使用する者は、使用責任者を定め、別に定める「技師会センター使用許可申請書」を3週間前までに、所定の使用料金を添えて提出し、会長の許可を得なければならない。

（使用の優先）

第7条 使用は本会事業に関するものを優先し、第5条の順とする。

(使用料及び使用時間)

第8条 使用料及び使用時間は、第5条の(1)に該当する場合を除き、下記の規定によるものとする。

2 使用時間の区分及び使用料は次に定めるとおりとする。

(1) 09:00～12:00	2,000円
(2) 13:00～17:00	2,000円
(3) 18:00～21:00	2,000円
(4) 09:00～17:00	4,000円
(5) 13:00～21:00	4,000円
(6) 09:00～21:00	5,000円

第10条 使用責任者は重大なる過失による使用中の火災設備等の毀損事故に対して責任を有するものとする。

第11条 この規程の改廃は、理事会の決議により行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

理事の職務権限規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会(以下「本会」という。)定款第21条に基づき、本会の理事の職務権限を定め、公益社団法人としての業務の適法、かつ効率的な執行を図ることを目的とする。

(定 義)

第2条 この規程において、理事とは、理事並びに代表理事たる会長並びに、業務執行理事たる副会長及び常務理事をいう。

(法令等の遵守)

第3条 理事は、法令、定款及びこの法人が定める規範、規程等を順守し、誠実に職務を遂行し、協力して、定款に定める本会の目的の遂行に寄与しなければならない。

(理 事)

第4条 理事は、理事会を組織し、法令及び定款の定めるところにより、本会の業務の執行の決定に参画する。

(会 長)

第5条 会長の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 代表理事として本会を代表し、その業務を執行する。
- (2) 理事会を招集し、議長としてこれを主宰する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(副会長)

第6条 副会長の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 会長を補佐し、本会の業務を執行する。
- (2) 会長に事故あるとき又は欠けたときは、会長の業務執行に係る職務を代行する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(常務理事)

第7条 常務理事の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 理事会が決める担当業務を分掌し、執行する。
- (2) 副会長に事故あるとき又は欠けたときは、副会長の業務執行に係る職務を代行する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(細 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に必要な事項は、理事会の決議により別に定めることができる。

(改 廃)

第9条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

この規程は、平成24年12月5日から施行する。

互助給付金申請書

平成 年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

〇〇支部理事 印

会員 氏に下記事項発生のため互助規程により見舞金を給付されるよう申請いたします。

記

勤務場所
氏名
当該事項
発生日月
金額
理事の意見

会費免除申請書

申請日 平成 年 月 日

※会費規程第5条により、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会費免除の申請をいたします

申請者会員番号	
申請者名	印
連絡先	〒 電話
申請代理者氏名	印
※様により本人が申請できない場合、ご署名下さい。	
続柄	
会費免除申請理由	(1) 自己の療養 (2) 介護 (3) 育児 (4) その他 ()
※該当する申請理由に○をつけて下さい。	
休業期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日まで ※ご職場に申請されている休業期間をお書き下さい。
休業証明書の確認	有 ・ 無

※免除の対象となるのは、毎年度の会費を納入期限までに納めている会員に限ります。また、申請時に当年度の会費が納入されている必要があります。
※本申請には休業期間を証明する書類が必要となります。

事務処理欄

受付欄	
会費確認	

様式－研1

研究会設置申請書

平成 年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

〇〇研究会
代表者 印

規程の定めるところにより、下記のとおり研究会の設置を申請します。

記

- 1 研究会の名称
- 2 代表者、役員等の名前
- 3 連絡先
- 4 研究会構成員－別添名簿のとおり
(本会会員と他の区別がわかるような名簿)
- 5 研究分野、内容 (具体的に)
- 6 研究会履歴
- 7 助成申請の有無

様式－研2

研究会廃止届

平成 年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

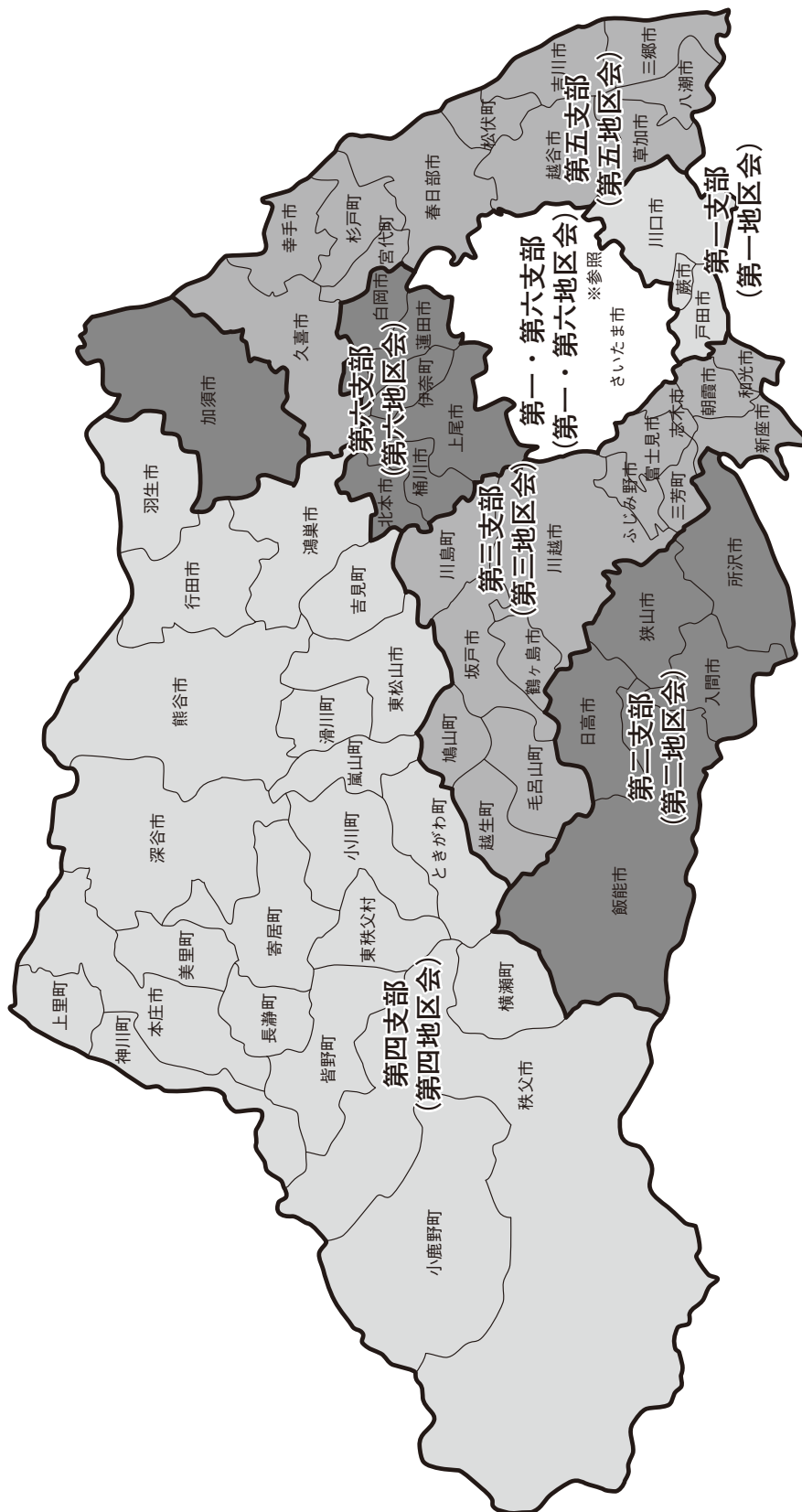
〇〇研究会
代表者 印

規程の定めるところにより、下記のとおり研究会の廃止を届けます。

記

- 1 研究会の名称
- 2 代表者、役員等の名前
- 3 連絡先
- 4 廃止の理由
- 5 廃止の年月日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 支部地図 (平成29年4月1日現在)



※第一支部 桜区・浦和区・南区・緑区
 第六支部 上記以外のさいたま市内区

- 巻頭言
- 会告
- お知らせ
- 誌上講座
- 連載企画
- 技術解説
- 総会資料
- 動本会
- 各支部情報
- 各支部掲示板
- 求人
- 議事録
- 会員向の
- 役員名簿
- 申込書
- 年間スケジュール

平成29年度当初予算

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

科目	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	内部取引控除	合計	備考
	公1	公2	公3	共通	収1	共通				
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
受取会費	0	0	0	3,420,000	0	0	7,980,000		11,400,000	
正会員受取会費				3,240,000			7,560,000		10,800,000	@9000×1200
賛助会員受取会費				180,000			420,000		600,000	@25000×24
事業収益	1,200,000	0	1,020,000	0	2,220,000	410,000	0		2,630,000	14セミナー参加料
講習会受講料等収益	600,000				600,000				600,000	@2000×300
学術大会参加登録費収益	600,000				600,000				600,000	@100000×3 @60000×12
会誌広告収益		0	1,020,000		1,020,000				1,020,000	
福利事業収益					0				0	
貸付収益					0	410,000			410,000	倉庫2F貸貸良
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0		0	
雑収益	390,000	0	0	0	390,000	0	173,300		563,300	預金利息
受取利息					0		100		100	
雑収益	390,000	0	0			390,000	173,200		563,200	日放委託料 学術大会機部展示料 20,000円×17社
経常収益計	1,590,000	0	1,020,000	3,420,000	6,030,000	410,000	8,153,300		14,593,300	
(2) 経常費用										
事業費										
給与手当	205,500	154,107	154,107	0	513,714	0			513,714	事務員給与増分
福利厚生費	138,200	75,000	0		213,200	0			213,200	医師研修・講習会 役員経費他
会議費	128,000	36,000	229,000		393,000	0			393,000	委員会会議費等
旅費交通費	554,440	240,000	72,000		866,440	0			866,440	委員会交通費・日当
通信運搬費	178,522	29,390	663,710		871,622	0			871,622	電話・ネット・郵送費等
減価償却費	263,660	87,886	347,086		698,632	26,012			724,644	
消耗什器備品費					0				0	
消耗品費	194,074	163,591	27,191		384,856	0			384,856	
修繕費	40,000	40,000	40,000		120,000	0			120,000	
印刷製本費	2,000		1,974,024		1,976,024	0			1,976,024	学術大会マニュアル 会誌印刷代等
光熱水料費	46,800	15,600	15,600		78,000	0			78,000	電気・ガス、水道
賃借料	923,572	51,325	87,600		1,062,497	0			1,062,497	会費・リース料等
保険料	59,797	19,933	19,933		99,663	0			99,663	
諸謝金	1,157,445	174,315	146,000		1,477,760	0			1,477,760	講師料・原簿料等
租税公課	24,270	8,090	8,090		40,450	20,000			60,450	

支払手数料	6,480	12,960	8,208		27,648	8,000		8,000		35,648	
渉外費	10,000	10,000	10,000		30,000	0		0		30,000	
委託費			350,000		350,000	25,000		25,000		375,000	HP管理他
雑費	10,000	10,000	10,000		30,000	0		0		30,000	
管理費											
役員報酬									103,800	103,800	監事
給与手当									565,269	565,269	事務局長・事務局長給与
福利厚生費用									235,000	235,000	会員カード等
会議費									491,100	491,100	理事会等
旅費交通費									549,470	549,470	理事会交通費等
通信運搬費									419,282	419,282	郵便料・電話・ホト代等
減価償却費									468,797	468,797	
消耗什器備品費									0	0	
消耗品費									172,957	172,957	
修繕費									120,000	120,000	
印刷製本費									56,160	56,160	
光熱水料費									78,000	78,000	
賃借料									17,500	17,500	総会会場費等
保険料									99,663	99,663	
諸謝金									1,256,752	1,256,752	税理士 司法書士顧問料他
租税公課									113,000	113,000	
支払手数料									25,920	25,920	振込手数料等
渉外費									120,000	120,000	
委託費									100,000	100,000	
雑費									50,000	50,000	
経費用計	3,942,760	1,128,197	4,162,549		9,233,506	79,012	0	79,012	5,042,670	14,355,188	
評価損益等調整前当期経常増減額											
評価損益等計											
当期経常増減額	▲ 2,352,760	▲ 1,128,197	▲ 3,142,549	3,420,000	▲ 3,203,506	330,988	0	330,988	3,110,630	238,112	
2.経常外増減の部											
(1)経常外収益											
(2)経常外費用											
当期経常外増減額											
他会計振替額				142,271	142,271	▲ 142,271	0	▲ 142,271		0	
法人税・住民税及び事業税						▲ 150,000	0	▲ 150,000		▲ 150,000	
当期一般正味財産増減額	▲ 2,352,760	▲ 1,128,197	▲ 3,142,549	3,562,271	▲ 3,061,235	38,717	0	38,717	3,110,630	88,112	
一般正味財産期首残高											

概要

公益・共益で5:5であった会費収入の事業割合が、平成29年度から3:7に変更となった(第5回定期総会第4号議案「会費規程変更」にて承認)。これにより収支相償の公益目的事業割合が64%と改善されている。
各支部主催で行われている講習会等の諸謝金に対し、源泉所得税分を諸謝金に計上している。

鈴木監事 県議会で乳がん検診に関する代表質問行う

平成 29 年 2 月 27 日（月）、県議会本会議において、本会監事である鈴木正人県会議員が無所属県民会議の会派代表としての質問を行った。

内容は、「乳がん検診における超音波併用検診の推進について」の質問である。

近年、乳がん検診学会では高濃度乳房（以下、デンスブレスト）の受診者へ告知が必要か議論されている。デンスブレストは脂肪性乳房に比べるとマンモグラフィー（以下、MMG）で病変の検出感度が低いということから、アメリカの一部の州では、受診者に対してデンスブレストの告知が義務付けられている。

日本での乳がん罹患年齢のピークは 40 代後半であり、他のがんとは異なる特徴を持つ。また欧米と比較し日本人の乳房は乳腺組織の密度が高く比較的デンスブレストである割合が高い。つまり日本においては、最も罹患率が高い年代に対して MMG が不得意ということになる。そこで東北大学を中心とした、乳がん検診における超音波検査の有効性検証に関する研究（J-Start）が行われ、乳がん検診で MMG に超音波検査を加えることにより、発見率が 1.5 倍になるという中間報告がされた。このことはマスコミでも大きく取り上げられた。今後は MMG に超音波併用検診の流れになることは明らかであるが、検診現場では、超音波検診の技術者が不足しているという声がよく聞かれる。

そこで今回、鈴木県会議員は、埼玉県の乳がん検診制度の充実を図るための政策として「乳がん検診における超音波併用検診の推進について」を、埼玉県知事に対して代表質問を行った。



質問の要旨は次の通りである。

「講習会の会場を県営の施設で行う際には、これを無償化したり、また講師の宿泊にかかる経費についても、県営の施設については費用の減額もしくは無償化を行うなど、すでにあるリソースを活用することによって、直接的な資金の援助以外にも、協力できる点があると考えております」



これに対して、上田知事から次の答弁を得ることができた。

「今後、国の検討結果を受けて、それに沿った乳がん検診の人材育成を医師会とも協議しながら支援していきたいと思います。本年1月には、県内医療従事者育成を目的として、交通の便の良い、さいたま新都心に地域医療教育センターをオープンしました。こうした設備の整った便利な施設を活用していただきたいと考えます」

今回の代表質問では、行政に対して乳がん検診についての問題点を訴えるきっかけとなり、上田知事から前向きな回答を得られたことは大きな成果といえる。

本会監事でもある鈴木正人県議に深謝する。

(文責：田中 宏)

公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞して

深谷赤十字病院
清水 文孝

平成 29 年 2 月 13 日（月）、大手町サンケイプラザホールで開催された公衆衛生事業功労者表彰式において、公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞しました。当日は、厚生労働省と一般財団法人日本公衆衛生協会の共催にて、大臣表彰者 130 人、公衆衛生協会会長表彰 240 人が表彰されました。埼玉県の厚生労働大臣表彰受賞者は、当方を含め 6 人でした。また診療放射線技師の受賞は、当方 1 人でした。病院という医療の最前線で職務を遂行してきたことが公衆衛生に当てはまるのか、また何分にも浅学菲才のわが身が、このような栄えある表彰を受けて良いのか、と思いながらも身に余る光栄の受賞であり、全国より表彰式に来られた皆さまと同席させていただけたことに感謝しております。

今回の表彰は、長年にわたり技師会の役員として活動をさせていただけたこと、その功労として公益社団法人埼玉県診療放射線技師会からご推薦を頂き受賞となったものと思っております。また埼玉県診療放射線技師会の役員を続けられたことは、深谷赤十字病院伊藤院長をはじめとする幹部の皆さまのご理解、放射線部門のスタッフの協力が不可欠でした。この表彰状には知事表彰の時と同様に、深谷赤十字病院の施設名、放射線科部スタッフの名前、当方を導いていただきました諸先輩のお名前などが記されてはおりませんが、施設の代表、第四支部の代表として私が受賞したと思っております。この場をお借りし、皆さまに感謝申し上げる次第です。さらに、役員としての活動は、埼玉県診療放射線技師会そして日本赤十字社診療放射線技師会を含め約 20 年。家を不在にすることも多々ありながらも、ただ背中を押してくれた妻には最大の感謝です。

定年まで約 1 年、この受賞に恥じないよう前進してまいる所存です。「不動」は性に合わず、無駄といわれようが「動」の性分です。倒れるなら一歩でも前向きに“老騎千里を走るがごとく”と思い、まい進させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、重ねて会の役員 of 皆さま、会員の皆さまに感謝申し上げ、受賞報告とさせていただきます。



公衆衛生事業功労者表彰を受賞して

堀ノ内病院
小池 正行

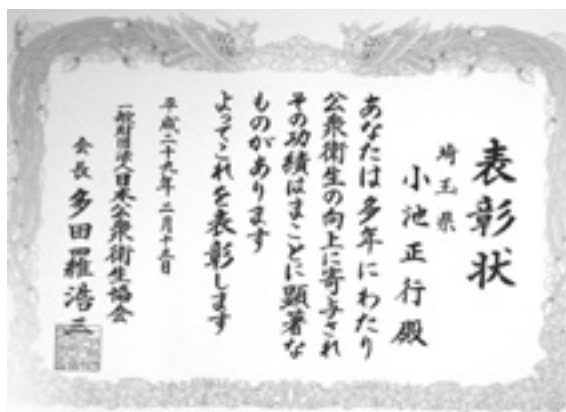
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の推薦により、平成28年度公衆衛生事業功労者として日本公衆衛生協会会長表彰の栄誉を賜り深く感謝申し上げます。

私は、昭和54年、診療放射線技師として右も左も分からないまま防衛医科大学校病院に入職し、平成28年度定年退職しました。防衛医科大学校病院時代は、疲労困憊して勤務を終えアパートに帰るなり一度仮眠をしてから夕食に取り掛かるという、若い時期もありました。

定年を迎えられたのは職場の先輩、後輩のお陰であることは紛れもない事実ではありますが、本当の心の支えになったのは、入職後数年たった後、埼玉県診療放射線技師会との出会いが大きかったと思います。年齢もほぼ同じ診療放射線技師なのに、知識の豊富さや職場環境の差に愕然とした思いでした。さまざまな状況の中で日々努力して、まるで後光が射しているような技師に近づくだけで幸せになった気がしました。世の中には上には上がいることを思い知らされ、私自身少しずつ努力するようになったのもこの時期からです。

今日このような栄誉に浴するに当たり、埼玉県診療放射線技師会をはじめ多くの方に感謝することは勿論のこと、多くの目標を与えてくださった天の神様にも感謝したいと思います。

最後に、このように人を育てる公益社団法人埼玉県診療放射線技師会のますますの発展と会員のご活躍、ご健勝を祈念申し上げ、感謝の言葉と致します。



日本公衆衛生協会会長表彰を受賞して

埼玉県済生会栗橋病院
栗田 幸喜

このたび、公衆衛生事業功労者表彰として平成 29 年 2 月 13 日（月）、大手町サンケイプラザホールにて、一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰を受賞させていただきました。これもひとえに、長年にわたり多くの先輩、また同僚の皆さまのご指導、ご高配の賜であり深く感謝申し上げますとともに、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の田中会長はじめ、理事、表彰委員の方々に厚くお礼申し上げます。当日は、隣席に元防衛医科大学放射線部の小池正行氏、また厚生労働大臣賞を受賞された日本赤十字社深谷赤十字病院の清水文孝氏と一緒に参加させていただき、心強い限りでありありがとうございました。

また先日の 4 月 1 日（土）には、第 5 支部矢崎理事が発起人となり、医療・福祉への功績が認められ、すでに知事表彰を受賞されていた獨協医科大学越谷病院中村正行氏と越谷市立病院矢部智氏との合同祝賀会を企画していただきました。足下のやや悪い中、フラルガーデン春日部において多くの皆さまにご出席いただき、盛大に開催することができました事、感謝・感謝であります。

今後も微力ではありますが、今回の受賞に恥じないよう日々の仕事ならびに公衆衛生事業に貢献できるように精進してまいりたいと思います。

最後に、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会のさらなる発展と、会員皆さまのますますのご活躍・ご健勝をご祈念申し上げお礼の言葉とさせていただきます。



平成 29 年 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会新春の集い開催報告

総務常務理事
平野 雅弥

平成 29 年 1 月 13 日（金）19：00 より、大宮サンパレス・グランツにて「平成 29 年新春の集い」が開催されました。今回は、新入会員 13 人を含む総勢 89 人の方々にご参加いただきました。

開会后、小川前会長のあいさつおよび祝電を披露し、しばらくご歓談いただいた後、日ごろよりお世話になっております賛助会員の皆さまにもスピーチをしていただきました。その後、今年度表彰された方々からも貴重なお話を頂戴しました。お酒も入り、会も盛り上がったころ、新入会員の皆さまには司会とのやりとりの中で自己紹介や抱負などを述べていただきました。全体に和やかで盛会の 2 時間でした。

最後に、お忙しい中ご参加いただきました会員、賛助会員の皆さまに心より感謝申し上げます。



第31回埼玉県診療放射線技師学術大会開催報告

大会実行委員長
今出 克利

第31回埼玉県診療放射線技師学術大会が平成29年3月5日（日）、入間郡毛呂山町の日本医療科学大学で開催された。同大学では、平成23年3月13日に学術大会を行う予定であったが、2日前の3月11日に東日本大震災が発生し、やむを得ず中止となった。今年、大学が創立10周年を迎え、6年越しに実現する運びとなった。

大会テーマは『今を未来へと繋げる～Hope to the 10years of the future～』とし、学生・現役技師ら、特に若い技師の皆さまを中心に楽しんでいただける内容を企画した。大会内容は、一般演題18演題・学生演題9演題、シンポジウム「診療放射線技師の教育と育成について考える」、学術特別企画「国際学会にチャレンジ」、テクニカルディスカッション「放射線治療装置ごとのIGRTを理解しよう」、リーディングコーナー、ランチョンセミナー、機器展示（16社）であった。また公益社団法人日本診療放射線技師会 統括専門職の小川清氏より特別講演Ⅰ「今、そして、これから」、日本放射線公衆安全学会 監事の諸澄邦彦氏より特別講演Ⅱ「放射線医学の歴史と進歩」をご講演いただいた。

参加人数は、295人（会員219人、非会員13人、学生31人、協賛メーカー32人）。会場は都心部より離れた場所であったが、車で参加でき郊外で環境が良いということから多くの方々に参加をいただくことができた。また来場者の多くが車で来ることを想定し、大学側の協力もあり、駐車場係を学生に協力いただきスムーズな運営ができた。

初めて大学で学術大会を開催するに当たり課題もあったが、終わってみれば盛會に終了することができた。施設を快くお貸しいただいた日本医療科学大学、大学関係者、関係各位に深謝を申し上げる。

来年度開催予定の第32回埼玉県診療放射線技師学術大会は、平成30年3月4日（日）大宮ソニックシティで開催予定である。引き続き盛會に開催できるように企画・準備を行ってまいりますので、ぜひご期待ください。



日本医療科学大学



受付風景



田中会長あいさつ



機器展示



発表風景



大学へ贈呈



実行委員一同

巻頭言

会告

お知らせ

誌上講座

連載企画

技術解説

総会資料

動本
会
き
の

強各
会支
会情
報勉

掲各
示支
板部

コ求
ーナ
ー人

議
事
録

動会
員
向
の

役員
名簿

申F
込A
書X

ジ年
コ間
ース
ルケ

「リーディングコーナー 成績優秀者」

胸部部門	：	大宮シテイククリニック	堀越 隆之
MMG 部門	：	済生会川口総合病院	高橋 美香
MDL 部門	：	行田中央総合病院	浅見 純一
CT 部門（難易度★★★）	：	上尾中央総合病院	佐々木 学
CT 部門（難易度★）	：	埼玉医科大学総合医療センター	山崎 貴雄
MRI 部門	：	上尾中央総合病院	飯島 竜

「優秀演題賞 学生演題部門」

21. リニアックにおけるコリメータ反転効果の検証

日本医療科学大学 ○橋爪 寧々、小出 智生、佐藤 洋、中谷儀一郎

24. 散乱線による水晶体への影響～立位電子線治療において～

日本医療科学大学 ○原田 玲奈、丹野 美佳、坂本 重己、中谷儀一郎

「優秀演題賞 一般演題部門」

7. Effective NEQ による仮想グリッドの評価

済生会川口総合病院 放射線技術科 戸澤 僚太

17. 血管撮影における面積線量計を用いた皮膚表面線量推定についての検討

済生会川口総合病院 放射線技術科 岡田 翔

公文書の出し方 平成 28 年度役員研修会

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏

1. 公文書とは

法的には、国または地方公共団体の機関、あるいは公務員がその職務上作成した文書をいう。従って、公益社団法人の出す文書はこれに該当せず、法的には私文書に該当する。『言葉のバンク』しかし、公文書管理法第2条第8項では「公文書等」として、行政文書、法人文書、特定歴史公文書等とあり、公益社団法人で出す文書のこの「公文書等」に該当することになる。従って、技師会で出す文書は「公文書」と表現して問題はない。

2. 公文書における法的責任

公文書偽造罪（刑法第155条）

1年以上10年以下の懲役

私文書偽造罪（刑法第159条）

3ヵ月以上5年以下の懲役

他人が許可なく技師会名で発行した場合、刑法第159条に該当する可能性がある。日本は文書に対する信頼を極めて重要視しており、その罰則も重く懲役刑のみとなっている。

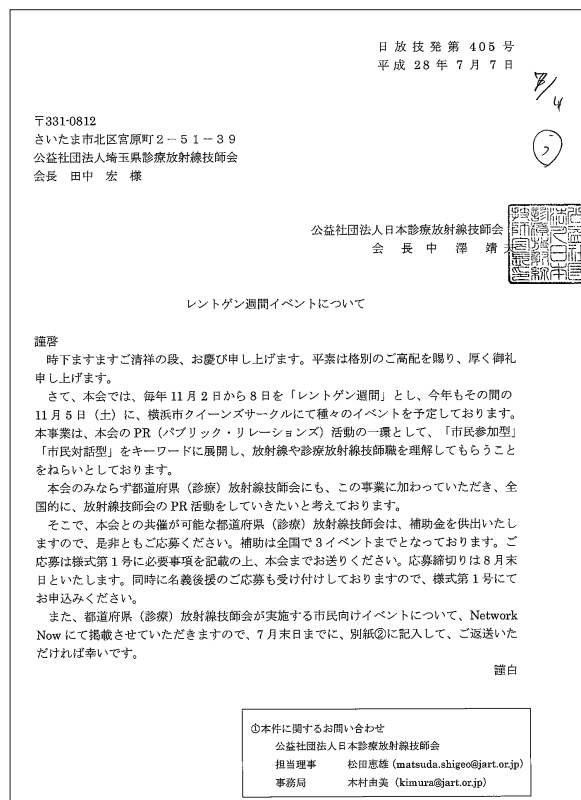
3. 公文書番号

公文書番号は、文書管理の意味を持つもので、その組織内の運用で決めるものである。公文書番号を発行しない組織もあり、必ず発行しなければならないというものではない。また組織外部に出す文書にのみ公文書番号を発行するという運用方法もあるが、発行の有無に関する判断が曖昧になりやすいため、発行する文書には全て公文書番号を発行している組織が多い。

4. 日付について

原則、発行した日付けを入れ、未来日は入れない。文書の出すタイミングを先読みして、未来日の日付で文章を作成する。その文書を誤って未来日のまま送付した場合には、消印より未来日の文書を送るという事はあり得ないため、文書自体が無効となることがある。また、「〇年〇月吉日」という日付けは、祝賀会などの案内によく使われるが、公文書としてあまり使われない。

筆者の失敗談として、ある団体から毎年決まった証明書の発行を依頼されていたことから、事前に見越して、あらかじめその証明書を取得し、その後、団体からの証明書の依頼が来たので、事前



に取得しておいた証明書を提出したところ、依頼日以前に取得した証明書は無効である。ということを経験した。

文書における日付けは、公文書や法的文書においては極めて重要な要素の一つになることがある。

5. 講師依頼状を出す場合の注意点

私たちが最も多く関わる公文書の一つとして講師依頼状がある。これまで公文書の事務的なことについて述べてきたが、相手に失礼のない依頼をしなければならない。

(1) 講師依頼について

自分と講師の関係が親しい間柄なのか、そうでないのかで異なる。そうでない場合は、直接電話で依頼することが望ましい。メールはあくまでも、依頼内容に関する詳細な打ち合わせとその記録と考えるのがよい。私たち医療従事者はITに強い人が多く、メールに頼りすぎるあまり、相手に失礼になりやすい場合がある。

(2) 講師依頼状出し方

本人の他、技師長、病院長に依頼状が必要か否か、また、直接、個々に送ってよいのか、まとめて本人に送るのかを打ち合わせしなければならない。施設によっては内諾を取ってから依頼状を提出する場合があります、その場合、直接上司に送られると順番が逆になってしまうことがあるので、本人と詳細な調整する必要がある。

(3) 依頼状を出すタイミング

依頼状は基本的に早い方がよい。依頼の内諾を半年前にいただいておりますながら、依頼状を直前に送るとするのは失礼になる場合がある。理由は、講師の施設で依頼内容に関する決済を取らなければならない場合があり、最低でも1ヵ月必要なことが多い。それから逆算すると、講演日より最低でも1ヵ月から2ヵ月前には正式な依頼状が必着していなければならない。逆に依頼状は早めに送

付し、直前にメールや電話などで確認するほうが親切である。

(4) 謝礼金の記載

謝礼金の記載がない依頼状は、公的病院では決済が下りないことが多いので、講師依頼状に謝礼金の記載は必須である。公的な病院はたとえ本人が公務員であったとしても謝礼金自体は問題にならない。職務に影響を及ぼさないという営利企業など従事許可が必要であり、正式な謝礼金が記載してあることが必要である。従って、謝礼金欄に「本会規定による」は決済が下りないばかりでなく、講師に対して失礼に当たることがある。

6. さいごに

文書は発行した後に、それまでの経緯は置き去りにされ、文書のみが独り歩きする可能性がある。また文書は原本またはPDFなどのデジタルデータで長期間保存される。さらにはその文書が証拠となり、法的な責任を問われることもある。発行には十分な注意をしなければならない。

平成 28 年度第 15 回胸部認定講習会報告

学術委員
滝口 泰徳

平成 28 年 12 月 4 日（日）に、第 15 回胸部認定講習会が開催された。
講習会参加人数は会員 29 人、非会員 2 人の 31 人であった。昨年度より多くの方に参加していただき、2 回目以降の参加者もあり、改めて胸部単純写真の重要性を実感した。
内容と講師は以下の通りである。

・胸部単純写真の撮影法	所沢ハートセンター	柴 俊幸
・装置の基礎	株式会社島津製作所	清水 達也
・胸部単純写真の適正線量と被ばく	済生会川口総合病院	土田 拓治
・胸部の CT 診断	羽生総合病院	染野 智弘
・胸部単純写真を診る	上尾中央総合病院	滝口 泰徳
・胸部単純写真の読影法	上尾中央総合病院	佐々木 健

アンケートの結果を下記に示す。基礎的な内容の「胸部単純写真の撮影法」や「装置の基礎」、読影に関する内容の「胸部単純写真を診る」、「胸部単純写真の読影法」に関しての理解度は高かったが、前回同様、「胸部単純写真の適正線量と被ばく」や、「胸部の CT」に関しては一部の受講者より、難易度が高いとの回答があった。その背景として、受講者には若い方が多く、CT の経験が少ない方もいると考え、このような結果になったと思われる。フリーのコメントでは「今まで何度も胸部単純撮影を行いました、気を付けるところが多くあり、しっかりわれわれが撮影することが大切だと思いました。ありがとうございました。」との感想を頂いた。講義を行った講師陣も、このような感想は非常に励みになり今後もより良い講習会を目指そうと思えた。来年度も受講者の満足度が高い講習会内容考え、興味がある方の多くの参加を心待ちにしている。



難易度	簡単	やや簡単	適度	やや難しい	難しい
胸部単純写真の読影法	0	1	28	2	0
装置の基礎	0	0	24	7	0
胸部の CT	0	0	16	14	1
胸部単純写真の適正線量と被ばく	0	0	9	18	4
胸部単純写真を診る	0	0	29	1	1
胸部単純写真の読影法	0	0	26	4	1

第8回 CT 認定講習会 開催報告

学術理事
城處 洋輔

平成 29 年 1 月 22 日（日）に、第 8 回 CT 認定講習会が済生会川口総合病院 東館講堂で開催され、他県からの参加者も含め 28 人が受講された。前半は、分野ごとに CT 検査における解剖を含めた基礎から臨床症例を交えた実践的な講義が行われ、後半は、TDC の理解を中心とした造影技術、装置の性能評価やプロトコル構築のために必要な物理特性の講義が行われた。物理特性実習では、事前に撮影したファントムデータを用い、受講生がエクセルを用いて真剣に解析する姿勢が見られた。また自由参加ではあるがファントム作成実習では、和やかな雰囲気の中で、参加者同士楽しみながら作成する様子が見られた。当日のプログラムを以下に記す。受講生の皆さま、また講義や実習を担当された講師の皆さまには、この場をお借りしてお礼申し上げます。

プログラム

8:20 ~ 8:40	受付		
8:40 ~ 8:45	オリエンテーション		
8:45 ~ 9:45	救急 CT の撮影法、読影講義	佐々木 健	上尾中央総合病院
9:50 ~ 10:50	胸部 CT の撮影法、読影講義	染野 智弘	羽生総合病院
11:00 ~ 12:00	腹部 CT の撮影法、読影講義	八木沢英樹	JCHO 埼玉メディカルセンター
13:00 ~ 14:00	頭頸部 CT の撮影法、読影講義	富田 博信	済生会川口総合病院
14:10 ~ 15:10	造影技術概論	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター
15:20 ~ 16:20	物理特性講義	柴 俊幸	所沢ハートセンター
16:30 ~ 18:30	実習 1 (MTF、SSPz、NPS)	柴 俊幸	所沢ハートセンター
18:30 ~ 19:30	実習 2 ファントム作成 (参加自由)	志藤 正和 城處 洋輔	済生会川口総合病院 済生会川口総合病院



講義



物理特性実習

第16回 上部消化管検査認定講習会 開催報告

学術常務理事
今出 克利

平成29年1月22日（日）に、第16回上部消化管検査認定講習会をさいたま赤十字病院で開催しました。さいたま赤十字病院が移転してから初めての講習会開催であり、非常にきれいな会場の中、すがすがしい気持ちで講義を聴講できたのではないのでしょうか。

受講者数は18人で、午後からは埼玉消化管撮影研究会との合同開催となり、全体での参加者は33人でした。今年は、東京都がん検診センターの小田先生をお招きして、読影と病理について講演していただきました。講習会のプログラムは下記の通りです。

プログラム（敬称略）

平成29年1月22日（日）：上部消化管撮影 認定講習会

9：00～9：30	受診者管理（検査説明・接遇・情報管理）	志田 智樹（レインボークリニック）
9：30～11：00	X線透視装置の基礎：画質：性能評価	三浦 洋敬（東芝メディカルシステムズ株）
11：00～12：00	被ばく管理	工藤 安幸（東松山市立市民病院）
12：00～12：30	造影剤のリスクマネジメント	永長 正樹（カイゲンファーマ株式会社）

埼玉消化管撮影研究会と合同開催

13：30～15：30	上部消化管の読影と病理	小田 丈二 先生（東京都がん検診センター）
15：30～16：30	上部消化管撮影技術	今出 克利（さいたま市民医療センター）
16：30～17：30	精密検査法およびレポート作成	大森 正司（さいたま赤十字病院）

終わりに、東京都がん検診センターの小田先生、日立メディコの三浦さま、カイゲンの永長さま、講義を担当していただいた技師の先生方、当日、会場準備や運営にお手伝いいただいた埼玉消化管撮影研究会の世話人、バリウムメーカーのMRの方々はこの場を借りて深くお礼申し上げます。



さいたま赤十字病院 2F 多目的ホール

平成 28 年度 埼玉県診療放射線技師会認定試験 開催報告 (胸部・上部消化管検査・CT)

学術常務理事
今出 克利

平成 28 年度埼玉県診療放射線技師会認定試験が平成 29 年 2 月 5 日（日）、移転して間もないさいたま赤十字病院で開催しました。CT 認定では、筆記試験と読影試験に加えて物理特性（NPS、MTF、SSPz）の試験が行われ、12 人が受験し A 認定なし、B 認定が 4 人でした。胸部認定では、胸部単純写真の読影試験および筆記試験が行われ、26 人が受験し A 認定なし、B 認定が 3 人でした。上部消化管検査認定では、普通胃と横胃の 2 症例による画像評価と読影試験および筆記試験が行われ、9 人が受験し A 認定なし、B 認定が 3 人でした。

認定試験を合格した方々には、各施設で撮影技術向上と精度管理の普及をお願いするとともに、放射線業務の質の向上に努めていただきたいと思います。

【CT 認定】

A 認定：該当者なし

B 認定：梅堀 貴史（熊谷総合病院）
石田 隼斗（上尾中央総合病院）
鈴木 友理（済生会川口総合病院）



【胸部認定】

A 認定：該当者なし

B 認定：市浦 京子（上尾中央総合病院）
南澤 奈月（上尾中央総合病院）
山口 恵利（西大宮病院）



【上部消化管検査認定】

A 認定：該当者なし

B 認定：高橋 康昭（上尾中央総合病院）
赤坂 未波（熊谷総合病院）
安達 沙織（上尾中央総合病院）



平成 28 年度 役員研修会 開催報告

総務常務理事
結城 朋子

平成 29 年 2 月 10 日（金）に、恒例となりました役員研修会を開催致しました。

この役員研修会は、理事および常務理事の他、地区・委員会の委員の皆さまを対象としており、会議以外ではあまり顔を合わせる事のない役員間のコミュニケーションの場として、また役員としての資質向上を図ることを目的とし毎年開催しております。

研修会のテーマを決めるにあたり、会の役員としてどのようなスキルが必要か、いろいろと検討した結果、“公文書”に関して研修会を開催することとしました。そもそも私たち技師は日常業務のなかで、公文書の発行に携わる機会は少なく、いざ発行するとなると手続きの方法や文章の書き方など分からないことも多々あります。今ではインターネットを通じて文章のひな形は簡単に手に入りますが、公文書とはどんなものか、公文書の正式な書式などといった基本的な知識は、役員として会の運営を円滑に行うために必要不可欠であると思います。今回は当会の田中 宏 会長に“公益社団法人の運営に必要な公文書と法的な契約行為”と題して、ご講演いただきました。まず、私たちが扱う公文書の種類として“講師依頼状”、“委嘱状”、“他団体への後援依頼”、“借用依頼”などを挙げ、“公文書とは”また“公文書番号の振り方”などを見本と合わせ分かりやすくお話いただきました。続いて依頼状発行の手続き方法や、公文書に関する刑法など内容は多岐にわたっており、大変参考となりました。講演時間の 1 時間半はあっという間でしたが、会の運営に携わる私たち役員にとって大変有意義な研修会となりました。

第3回 埼玉 DR 計測セミナー報告

済生会川口総合病院
土田 拓治

第三回 DR 計測セミナーが、済生会川口総合病院にて開催された。他県からのリピーターも含め 18 人の参加者であった。前回アンケートを参考に今回も新たな実習項目として、乳房撮影装置における物理特性と散乱線含有率測定実習を取り入れた。全て実習スタイルとしたことで、参加された方々との距離も近く、より理解を深めていただいたことは、企画したわれわれとしても嬉しい限りである。ただしタイトスケジュールになり、参加者だけでなく講師への負担が増してしまったことは、今後の反省点である。

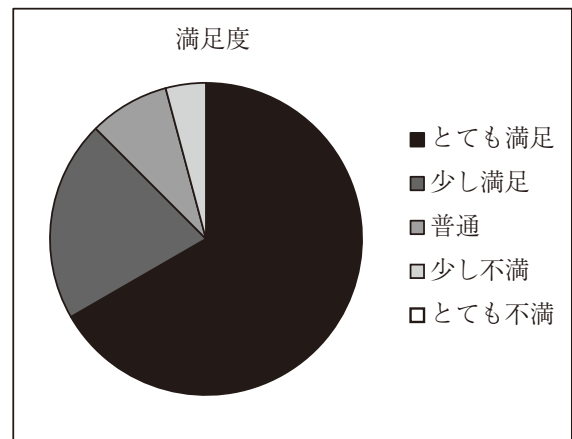
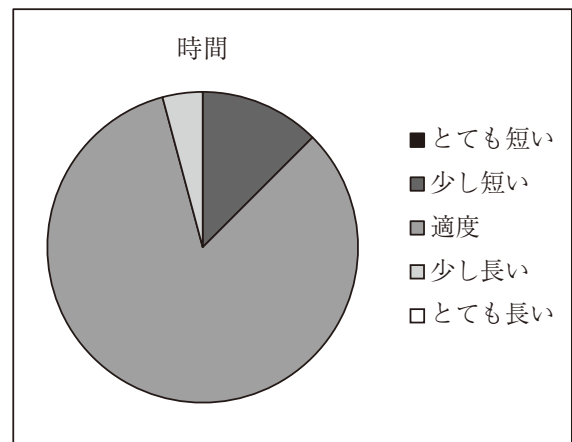
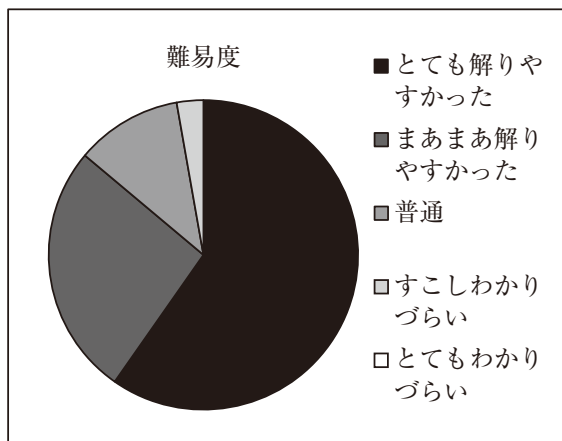
次年度も新たな企画をすでに用意している。具体的には、ファントムによる視覚評価解析や統計学的分析などの実習も加える予定である。このセミナーを行う上で施設借用を快諾していただいた施設、講師・スタッフ全ての関係各位に紙面をお借りし深くお礼申し上げます。以下に今回セミナー内容とアンケート結果を報告する。

次回もたくさんの参加申し込みお待ちしております。

以下プログラムとアンケート結果を記載する。

- 実習 1：乳房撮影装置物理特性の取得
- 実習 2：散乱線含有率測定
- 実習 3：一般撮影機器における物理特性測定
- 実習 4：PC による物理特性解析

アンケート結果



第5回 Freed セミナー報告

上尾中央総合病院
佐々木 健

平成 29 年 3 月 25 日（土）に、第 5 回となる Freed セミナーが開催されました。今回は、株式会社 ウィ・キャン 代表取締役 濱川博招さまを講師にお招きし、『部下管理・5つの質問（ドラッカーより）・上司マネジメント』などをグループワークを交えて行いました。

- ✓ 診療放射線技師の顧客とは誰か？
- ✓ われわれのミッションとは何か？
- ✓ 上司が仕事をし易くなるにはどうしたらよいか？
- ✓ 患者が望む診療放射線技師像とは？

これらの質問にあなたはどのように答えますか？

私たちが組織の中で仕事をしていく上で、考えなくてはならないことを参加者同士で話し合いながら答えを探しており、非常に有意義な時間となりました。

次回は『報・連・相』をテーマに平成 29 年秋を予定しております。

お時間ある方は気軽にご参加ください。

《セミナー風景》



第5回 Freed セミナーに参加して

上尾中央総合病院
小川 智久

診療放射線技師として、中堅に必要な考え方やコミュニケーションの取り方、行動の仕方など、日常の業務以外のスキルを学びたいと思い、今回の Freed セミナーに参加することにしました。セミナーは、座学とディスカッションを交えたもので、とても充実した3時間を過ごすことができました。

座学では「ミッション・顧客・顧客の価値について」というテーマで、講義が進められていきました。診療放射線技師として、部下や上司をマネジメントしなくてはならないこと、常に医療を提供する顧客を意識して業務を行わなければならないこと、顧客が診療放射線技師に何を求めているかを理解することなど、日常業務では考える事の少ない目線の話で、考えさせられる内容の講義でした。

ディスカッションでは、4人1グループとなり、診療放射線技師としての使命とは何か、自分の強みは何かなど、さまざまなテーマを考え発表をしていきました。グループ内には、違う病院の違年代の方がいたので、それぞれの目線に沿った、意見を聞くことができました。

セミナー終了後は懇親会も開催され、セミナーでは話すことのできなかつた仕事の話や、それぞれの病院での取り組みなどを話すことができ、とても充実した時間となりました。

第3回救急撮影ケーススタディー開催報告

学術委員
滝口 泰徳

平成29年3月28日(火)に、第3回救急撮影ケーススタディーを上尾中央総合病院で開催しました。本セミナーはグループ形式で症例検討を行い、他施設の診療放射線技師と交流しつつ、疾患に対する理解を深めることを目的としています。前回は頭部領域に絞った内容で、座学を行った後に、グループワークを行いました。今回は座学のみを講義をやめ、グループワークによる症例検討のみを行いました。ケーススタディー①②ともに、循環器疾患がメインの内容となっており、ケーススタディー①「胸部痛」では、大動脈解離と肺塞栓の2症例あり、講師の下林先生からは、グループワークの前に胸痛をきたす疾患を丁寧に説明していただき、また各症例の血液データなども分かりやすい解説があり、活発なディスカッションの一助となりました。ケーススタディー②の「心不全？」では、講師の金野先生が実際に経験された非常に珍しい症例で、主訴が慢性心不全の急性増悪で、最終的な診断は腹部大動脈瘤と下大静脈が交通することによって起こった心不全症状の急性増悪ということでした。グループワークは基礎検査データから考えられる疾患、単純CTより考えられる疾患、造影CTより考えられる疾患と、3回あり、各テーブルで多くのディスカッションが行われました。終了後のアンケートでは「希少な症例を学ぶことができ、大変良かったです。また患者データ(血液・生化学)からさまざまな疾患を考えることができ、これからも学習していかなければならないと感じました」「職場でもやってみたいと思います」との意見を頂き、今回のセミナーも受講者にとって有意義なものであったと思います。

今後も本セミナーを継続して行い、救急診療に関する知識を高めていければと考えています。第4回救急撮影ケーススタディーも多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

19:00～20:00 ケーススタディー①「胸部痛」

埼玉医科大学総合医療センター

下林 義明

20:00～21:00 ケーススタディー②「心不全？」

上尾中央総合病院

金野 元樹



骨軟部撮影セミナー 2017 開催報告

済生会川口総合病院
森 一也

このたび、平成 29 年 2 月 18 日（土）に、骨軟部診断情報研究会共催で埼玉県診療放射線技師会、東京都診療放射線技師会地区合同勉強会として、骨軟部撮影セミナー 2017 が済生会川口総合病院東館講堂で開催された。約 150 人が参加し、盛況のうちに閉会した。

一般撮影のポジショニングや撮影条件・画像処理の設定は、各施設によりさまざまであり統一されていないのが現状である。そのため自施設における撮影方法や条件が適正か不安に感じている施設が多くある。今回のセミナーでは、一般撮影における四肢撮影に焦点を当て、初学者からベテランまで多くの方々が学べるように「ポジショニングの工夫」「救急撮影」「画像処理」など、さまざまな視点から四肢撮影の解説が行われた。各施設の若手技師による「一般演題」では、聴講していた若手技師に良い刺激を与えるきっかけになったかと思う。本会を開催するに当たり、開催の 1 年前よりご助力いただいた骨軟部診断情報研究会の先生方による講演では、過去の症例報告や現在行っている取り組みについて説明していただいた。歴史ある研究会であるため、本セミナーにおいても学ぶべき点が多々あり、今後も協力して地区の活性化に貢献できればと思う。また竹澤先生による特別講演では、一般撮影の画像だけでなく CT・MRI 画像からのアプローチを交え、読影医がどのような視点で単純 X 線画像を読影しているのかを講演していただいた。竹澤先生の講演を拝聴し、今後は取得された単純 X 線画像が CT や MRI の検査の際にどのように活用されているのか、マルチモダリティでのセッションによる検討を行えば良いと感じた。

埼玉県診療放射線技師会ではさまざまなモダリティの勉強会を企画・開催しているが、一般撮影を主とする勉強会は少なかった。参加人数からも一般撮影に関する勉強会の要望の高さが分かる。また本会は地区の垣根を越え、多くの先生方や若手技師の交流の場となる会でもあり、情報交換の場としても非常に有益であると感じた。今後も、参加者のニーズに応え、情報交換の場としても提供できるよう、継続して本会を開催していきたいと考えている。

末尾になりますが、本セミナーを企画していただきました大西代表、実行委員の方々、ご講演いただきました演者の方々、およびご助力賜りました骨軟部診断情報研究会の先生方に深く感謝申し上げます。

骨軟部撮影セミナー 2017 開催報告

上尾中央総合病院
内田 瑛基

平成 29 年 2 月 18 日（土）に、埼玉県済生会川口総合病院で埼玉県診療放射線技師会と東京都診療放射線技師会の合同開催による『骨軟部撮影セミナー 2017 ～初学者からベテランまで抑えておきたい四肢撮影技術～』が開催され、演者そして実行委員として参加致しました。本セミナーは今年度からの新しい試みとなる勉強会でしたが、埼玉県、東京都だけでなく他県からの参加者もあわせて 152 人の方々にご参加いただき、盛会に終了しました。

当日は下記のプログラムに沿って 20 人の先生より、貴重な講演をしていただきました。

「機能解剖を考える ～手関節～」	上尾中央総合病院	仲西 一真
「THA 術前計画における股関節 30 度内旋位 PA 撮影の検討」	さいたま赤十字病院	大河原侑司
「上腕骨顆上骨折症例における再撮影の検討」	埼玉県済生会川口総合病院	西田 衣里
「ACS 患者を対象としたアキレス腱の撮影意義と撮影方法について」	所沢ハートセンター	柴 俊幸
「誰でも簡単スカイラインビューの実践」	堀ノ内病院	小池 正行
「Dual Energy CT を用いた乾癆性関節炎の画質評価」	東京慈恵会医科大学附属病院	宮崎 健吾
「最新画像処理 【ダイナミック処理について】」	富士フィルムメディカル株式会社	宮野 武晴
「ワイヤレスフラットパネルを用いた四肢撮影への新しいアプローチ」	株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン社	北中 康友
「キヤノンデジタルラジオグラフィ CXDI シリーズの紹介」	キヤノンライフケアソリューションズ株式会社	伊藤 琢也
「大腿骨頸部骨折の撮影・読影ポイント」	深谷赤十字病院	坂本 里紗
「技師として手疾患を撮る（診る）」	船橋市立医療センター	石塚 瞬一
「外傷診療における救急撮影の基礎」	さいたま赤十字病院	渡部 伸樹
「みんなで創ろう、実践的救急撮影法」	上尾中央総合病院	内田 瑛基
「臨床に適した画像処理選択の基本 ～四肢撮影を中心に～」	埼玉県済生会川口総合病院	森 一也
「線量指標 EI の基礎知識 ～整形外科領域での活用法～」	獨協医科大学越谷病院	高橋 利聡
「骨軟部診断情報研究会での症例検討紹介」	昭和大学歯科病院	石田 秀樹
「各施設一般撮影領域線量比較の取り組み」	関東労災病院	若林 一成
「日々の撮像に活かしたい骨軟部診断の知識～読影医の視点から～」	埼玉医科大学病院	竹澤 佳由 医師

本セミナーを開催するにあたりお力添えをしていただいた骨軟部診断情報研究会会長および東京都診療放射線技師会副会長である石田秀樹先生のご講演では、骨軟部診断情報研究会の歴史や骨軟部診断情報研究会を毎月開催し続けるために行っていること、そして実際の症例報告などについてご教授いただきました。

また埼玉医科大学病院の竹澤佳由医師のご講演では、症例ごとで診断時の判別に必要な画像や画像処理など、われわれ診療放射線技師が普段行っている検査がどのように活かされているかをご教授いただきました。自身の勉強不足も身に染みましたが、それ以上に医師と診療放射線技師が協力していくことで、患者さまにより良い医療を提供する可能性を垣間見ることができ、技師としてのモチベーションが高まりました。

本セミナー開催に当たり演者の皆さまをはじめメーカーの皆さま、そして実行委員の皆さまには長期にわたり準備を重ねていただき感謝しております。今後も多くの方とスキルアップができる会になるよう、微力ですが尽力していきたいと思っております。

業務拡大に伴う統一講習会 北関東地域（埼玉県） 開催報告

学術委員
滝口 泰徳

（公社）日本診療放射線技師会が主催とする第1回「業務拡大に伴う統一講習会」が、平成29年4月22日（土）、23日（日）さいたま赤十字病院にて開催された。参加者は24人。講義および実習を通じて、業務拡大に伴う必要な知識や技能の習得ができたと思われる。受講生の皆さま、また実習を担当された指導者や会場スタッフの皆さまには、この場をお借りしてお礼申し上げます。

今年度は、第2回5月27日（土）28（日）、第3回9月2日（土）3日（日）に開催する予定である。多くの皆さまの参加をお待ちしております。

プログラム：

〈1日目〉

- 9：00～9：50 講義（DVD放映）静脈注射関係
- 9：50～10：40 講義（DVD放映）静脈注射関係
- 10：50～11：40 講義（DVD放映）静脈注射関係
- 11：50～12：40 実習・演習 静脈注射
- 13：30～14：20 講義（DVD放映）法改正
- 14：20～15：10 講義（DVD放映）IGRT
- 15：20～16：10 講義（DVD放映）IGRT
- 16：10～17：00 講義（DVD放映）IGRT
- 17：20～18：20 実習・演習 BLS



〈2日目〉

- 9：00～9：50 講義（DVD放映）下部消化管
- 9：50～10：40 講義（DVD放映）下部消化管
- 10：50～11：40 講義（DVD放映）下部消化管
- 11：40～12：30 講義（DVD放映）下部消化管
- 13：20～14：10 実習・演習 下部消化管
- 14：20～15：10 実習・演習 IGRT
- 15：20～16：10 試験説明および確認試験



スタッフ：

大森 正司	さいたま赤十字病院
石田 直之	埼玉医科大学総合医療センター
八木沢英樹	JCHO 埼玉メディカルセンター
吉野 和広	上尾中央総合病院
滝口 泰徳	上尾中央総合病院

（敬称略）

各支部勉強会情報

第二支部勉強会情報

平成 29 年 5 月 25 日 (木) 「平成 29 年度第 2 回勉強会」
 場所 国立障害者リハビリテーションセンター 4F 中
 会議場 (予定)

1. 製品紹介 (18:30 ~ 18:45)
 司会: 所沢ハートセンター 柴 俊幸
 「ITEM の SIEMENS CT 最新情報」
 シーメンスヘルスケア株式会社 CT 事業部
 松浦 孝俊

2. 一般研究発表 (18:45 ~ 19:15)
 座長: イムス三芳総合病院 小田島 明子、
 所沢ハートセンター 柴 俊幸

「当院における医療安全の取り組み ~ヒヤリハットについて~」

丸山記念総合病院 松田 繁尚

「当院における医療安全の取り組み ~疑義照会について~」

丸山記念総合病院 野口 祐輔

「最新アプリケーション情報」
 シーメンスヘルスケア株式会社 CT 事業部
 松浦 孝俊

3. 特別講演 (19:15 ~ 20:30)
 座長: 防衛医科大学校病院 近藤 忠晴

「いまさらきけない薬剤師による 3 つの話
 ~造影剤アナフィラキシーショック・ジェネリック医薬品・乳癌治療薬について~」

防衛医科大学校病院 薬剤部 相澤 雄介

平成 29 年 6 月 22 日 (木) 「平成 29 年度第 3 回勉強会」
 場所 国立障害者リハビリテーションセンター 4F 中
 会議場 (予定)

1. 製品紹介 (18:30 ~ 18:45)
 司会: 原田病院 瀧澤 誠
 「AMULET Innovality のご紹介」

富士フイルムメディカル株式会社 MS 部
 販売促進グループ東日本 MS センター 浅野 省二

2. 一般研究発表 (18:45 ~ 19:15)
 座長: 埼玉医科大学病院 堀切 直也、
 原田病院 瀧澤 誠

「造影 CT 検査時の血管外漏出への対策」
 三郷中央総合病院 寺島 幸

「スピラベリング法を用いた非造影 MRA による腎動脈描出における撮影条件の最適化」

さいたま市立病院 佐藤 吉海

「人工知能を用いた画像処理技術について」
 富士フイルムメディカル株式会社 MS 部
 販売促進グループ東日本 MS センター 浅野 省二

3. 特別セッション (19:15 ~ 20:30)

座長: 上尾中央総合病院 佐々木 健

- 1) 撮影技術
 上尾中央総合病院 滝口 泰徳
- 2) 撮影線量適正化
 済生会川口総合病院 森 一也
- 3) 読影
 熊谷総合病院 清水 理乃

平成 29 年 9 月 28 日 (木) 「平成 29 年度第 4 回勉強会」
 場所 国立障害者リハビリテーションセンター 4F 中
 会議場 (予定)

1. 製品紹介 (18:30 ~ 18:45)
 司会: トワーム小江戸病院 菅野 勝
 「インプラントによる金属アーチファクト低減技術」
 GE ヘルスケア MR 営業推進部 近江 公司

2. 放射線技師技師セッション (18:45-20:45)
 「整形外科領域の撮影技術向上を目指して」
 座長: トワーム小江戸病院 菅野 勝

- 1) MRI
 「病変把握がポイント! 手関節 MRI」
 埼玉医科大学病院 堀切 直也
- 2) CT
 「診療に役立つ膝関節 CT のススメ ~撮影技術と
 最高性画像の提供~」
 越谷市立病院 村本 圭祐
- 3) 一般撮影
 「膝関節立位荷重撮影について~ X 線所見の取り
 方から撮影条件の最適化まで~」
 上尾中央総合病院 渋谷 美香

平成 29 年 10 月 26 日 (木) 「平成 29 年度第 5 回勉強会」
 場所 国立障害者リハビリテーションセンター 4F 中
 会議場 (予定)

1. メーカー情報提供 (18:30 ~ 19:00)
 「最新 CT・ITEM2017 情報提供 (仮)」
 東芝メディカルシステムズ株式会社

2. 放射線技師技師セッション (19:00 ~ 20:30)
 「認定前に物理特性の基礎と演習、予習しませんか
 ~ CT 認定の合格率底上げに期待! ~」

所沢ハートセンター 柴 俊幸

第六支部 H29年度 第1回定期講習会のご案内

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平成27年6月に日本初のDRLが発表され1年半がたちました。そこでSART公益委員会では、地域・施設ごとの線量を調査し、DRLをどのように利用し運用していくかを検討したいと考えております。

この機会に被ばくの知識を活用して、適正化された線量で撮影をする事を勉強してみたいはいかがでしょうか。

お忙しいと存じますが、ぜひご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

日時：2017年5月18日(木) 18：55～20：50(予定)

場所：さいたま赤十字病院

参加費：500円

駐車場：無し（公共の交通機関をご利用ください）

【プログラム】

1. 開会の辞 18：55～ 茂木 雅和

2. 講演 19：00～

『DRLを知り撮影線量最適化を図ろう！』

埼玉県診療放射線技師会 公益委員会副委員長
丸山記念総合病院 芦葉 弘志 様

3. 閉会の辞 19：45～ 山口 明

4. 施設見学 19：50～

第一支部

第一支部報告

ア. 28年度第3回勉強会

(ア) 日時：平成29年2月16日(木) 19:00～20:50

(イ) 会場：コムナーレ浦和 15集会室

(ウ) 参加人数：35人

(エ) 内容：

I. 28年度会計報告 地区理事 双木邦博

II. メーカー講演 19:10～

『RSNA2016 報告 ～これからのCT開発における方向性～』

シーメンスヘルスケア株式会社 CT事業部 吉田 博和

II. 一般講演 19:40～

『結核感染の対処と様々な結核画像』

さいたま市立病院 双木 邦博

III. 特別講演 20:10～

『DRLを知り撮影線量最適化を図ろう!』

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 公益委員

済生会川口総合病院 志藤 正和

イ. 平成28年度第2回役員会

(ア) 日時：平成29年3月17日(土)

(イ) 会場：JCHO 埼玉メディカルセンター

(ウ) 出席人数：12人

(エ) 内容：来年度計画について

ウ. Dual-energy CT セミナー 2017 (第1,2,5,6支部合同勉強会)

(ア) 日時：平成29年3月18日(土) 10:30～

(イ) 場所：浦和コルソコミュニティプラザ

(ウ) 参加人数：112人

第二支部

第二支部会からのお知らせ

平成 28 年度第二支部事業総括

所沢ハートセンター 柴 俊幸

現在、平成 28 年 3 月 27 日（月）。暦の上でも立春がすぎ、カレンダーのイラストも春めかしいものも多く見受けられますが、年度の変わり目とは思えないほどの寒い日が続いております。

さて、第二支部は 2017 年 3 月 18 日に開催された「Dual-Energy CT セミナー 2017」をもって平成 28 年度の事業が全て終了となりました。本誌においても開催報告を掲載させていただいたとおり今年度は定期勉強会に加え（第六回は悪天候で中止となりましたが…）、循環器 CT セミナー 2016 から始まり、熊谷での支部合同勉強会、骨軟部撮影セミナー 2017、Dual-Energy CT セミナー 2017 と、過去最多の勉強会・セミナーの開催となったのではないかと思います。内容についてもそれぞれ特色があり、勉強会ごとに初見の参加者も多く見受けられお褒めの言葉もたくさんいただき、本当に心の底から「やりがい」というものを実感できた年でありました。これらの勉強会が開催できたのもひとえにご協力いただいた埼玉県診療放射線技師会の役員の方々、支部理事、そして思いに賛同していただいた実行委員の方々のおかげであり、この場を借りて厚く、そして熱くお礼申し上げます。

ここからは私の独り言となりますが、勉強会の開催に当たり、メインテーマやセッション内容、そして集客力というものは成功のためにとっても重要であります。しかし、私が一番大切にしているのは、陽の当たらない役目を引き受けていただいた実行委員への協力と感謝であります。事前の会計収支の計算や領収証の作成、寒い（暑い）中でセッションも聞けずに行う受け付け業務、大人数とお店での板挟みに合いながら何ヵ月も前から準備し、とりまとめていただいた懇親会の担当者、複数のメーカーさんを相手に機器展示をとりまとめてくれる委員の方など、本会だけでは見えない働きをしていただいた方がたくさんいらっしゃいます。そして、そのような仕事を引き受けていただくのはこれからの技師会を担う若手の技師であることが多いと思います。勉強ごかりの年代でありながら、運営のためにと裏方を引き受けた実行委員がたくさんいらっしゃいます。これからの勉強会やセミナーに参加される際にはぜひこのような方たちに一言「ありがとう」「お疲れさま」と声を掛けてください。この一言がこれからの埼玉の礎を築くことになると思います。

来年度からも第二支部は他支部と協力しながら精力的に活動していくと思います。隣に協力してくれる誰かがいることが当たり前だと思わずに、常に思いやりと感謝を持って活動していただくことで学術的なレベルの高さに加え、温かさの伝わる埼玉県診療放射線技師会になるのではないかと思います。今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。

第三支部



第三支部理事 渡部 進一

謹啓

春暖の候、会員の皆さまにおかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、3月17日(金)に開催されました、平成28年度定時総会・三支部勉強会におきましては、ご多忙のところ多くの方々にお集まりいただき誠にとお礼申し上げます。お陰をもちまして、当日の定時総会、勉強会ともに無事終了することができ、平成28年度事業予定を全て完了することができました。第三地区・支部事業の運営に際しましては、会員の皆さまより多大なお力添えをいただき、心より感謝しております。また、今回の役員改選により第三支部代表の任を退くことと相成りました。3年間の任期中には、皆さまからの温かいご支援、お引き立てを賜りましたことを心より感謝申し上げます。

今後は埼玉医科大学国際医療センター所属の山岸正和氏が第三支部代表を務める事になりましたので会員の皆さまには何卒、倍旧のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

敬白

【報告事項】

(1) 第30回 川越市健康まつり

- ア. 開催日時：平成28年12月11日(日) 10:00~15:00
- イ. 開催会場：川越駅西口 ウェスタ川越 多目的ホール
- ウ. 参加人数：9人(地区役員) 来場者 約350人
- エ. 内 容：「あなたのための医療画像展」を開催。



川越市 健康まつりにて

(2) 第三地区 新年会

- ア. 開催日時：平成29年1月28日(土) 19:30~21:30
- イ. 開催会場：函館海や (川越店) 埼玉県川越市脇田町7-1 鳥熊ビル2F
- ウ. 参加人数：30人



第三地区 新年会の様子

(3) 第5回 第三支部役員会

- ア. 開催日時：平成 29 年 2 月 20 日（月） 19:30～21:30
- イ. 開催会場：ウエスタ川越 予定
- ウ. 参加人数：6 人
- エ. 内 容：平成 29 年度事業計画・地区総会について

(4) 平成 28 年度 第三支部・地区定時総会

- ア. 開催日時：平成 29 年 3 月 17 日（金）19:00～19:30
- イ. 開催会場：ウエスタ川越 第 1 会議室
- ウ. 参加人数：23 人（委任状 150 通）
- エ. 内容：定期総会審議事項
 - 審議-1：平成 28 年度事業報告__審議結果：承認
 - 審議-2：平成 28 年度決算報告__審議結果：承認
 - 審議-3：平成 29 年度事業計画案__審議結果：承認
 - 審議-4：平成 29 年度予算案について__審議結果：承認
 - 審議-5：平成 29 年度役員改選__審議結果：承認

- ・地区代表幹事：山岸 正和（埼玉医科大学国際医療センター）
- ・副代表幹事：森下 勝（埼玉医科大学国際医療センター）
- ・会計幹事：中田 智仁（埼玉医科大学国際医療センター）
- ・会計監査：今井 昇（旭ヶ丘病院）
- ・幹 事：佐藤 正彦（埼玉医科大学総合医療センター）
- ・幹 事：轟 圭介（埼玉医科大学総合医療センター）
- ・幹 事：市川 隆史（埼玉医科大学病院）
- ・幹 事：橋本 利恵子（埼玉医科大学病院）

(5) 第3回 第三支部勉強会

ア. 開催日時：平成 29 年 3 月 17 日（金）19:30～21:00

イ. 開催会場：ウエスタ川越 第1会議室

ウ. 参加人数：28 人

エ. 内 容：

(ア) メーカー講演

「タブレット端末の導入と病院全体の情報共有強化」

～メッセンジャーがコミュニケーションを変える今企業のコミュニケーション変革とは～

菱洋エレクトロ株式会社 ICT 営業第二本部 マーケティング部

志村 幸洋 氏

(イ) 特別講演

「DR Lを知り撮影線量最適化を図ろう！」

医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 放射線技術科主任

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会 常務理事（公益）

佐々木 健 氏

第三支部ホームページ

<http://saitama3shibu.jimdo.com/>

第四支部

ぶらり第四支部の旅 Vol. 3

第四支部 齋藤 幸夫・萩原 貴之

今回のぶらりは鴻巣市です。第四支部の中では南に位置し、くくりとしては「県南」に属していると鴻巣市民は思っています。おいおい、萩ちゃん、四支部って鴻巣市も入るの?! 広いなあ～。

無知な私にごめんなさい、脱線したので話をもどしましょう!

鉄道はJR高崎線が通っていて、最寄り駅はJR鴻巣駅、JR北鴻巣駅、JR吹上駅です。セミナーなどで大宮に行くことが多いですが、JR鴻巣駅からJR大宮駅までは約20分とそこそこの時間で行くことができます。第四支部中心の熊谷市にもそこそこの時間で行けるので便利です。そんな鴻巣市といえば、免許センターがある場所として、車を運転する方であれば一度は訪れているのではないのでしょうか。他の支部の方にすると「何て遠い免許センターだ」という声が聞こえてきそうです。

市のキャッチフレーズは「ひな人形と花のまち こうのす」です。毎年、2月～3月初旬に「鴻巣びっくりひな祭り」が行われます。ひな人形で飾る日本一高いピラミッドひな壇が鴻巣市役所に登場し、何度見てもその大きさに度肝を抜かれます。まだご覧になってない方はお勧めします。

また鴻巣市には日本一があります。それは「川幅日本一」です。鴻巣市と吉見町の間を流れる荒川の川幅が2537mで日本一ということです。その「川幅日本一」にあやかって鴻巣市ではいろいろな「川幅」グルメがあります。川幅うどんをはじめ、川幅ラーメン、川幅海鮮丼、川幅せんべいなどもあるようです。要は幅の広いグルメということです。

私はその中でも、川幅うどんを食べ比べしてみました。お店によって川幅うどんでも全然違います。

麺の幅の太さも店によってそれぞれですが約7～8cmです。あまりの太さに「これで本当にうどんか?」というものもあります。また店によっては食べやすいようにナイフとフォークも一緒についています。お店のご主人に話を聞いたら普通のうどんと小麦粉の量は変わらないとのことでした。しかし、食べてみるとなぜか普通のうどんよりお腹が満腹になったような気がします。見た目のせいでしょうか? ホームページには「川幅グルメマップ」も載っています。まだ食べたことがない方はぜひ一度ご賞味ください。

さて、次は何処を紹介しようかなあ～

第四支部のぶらり旅は、つ・づ・く



川幅うどん 約7～8cm



色々なお店で食べ比べるのもおススメです

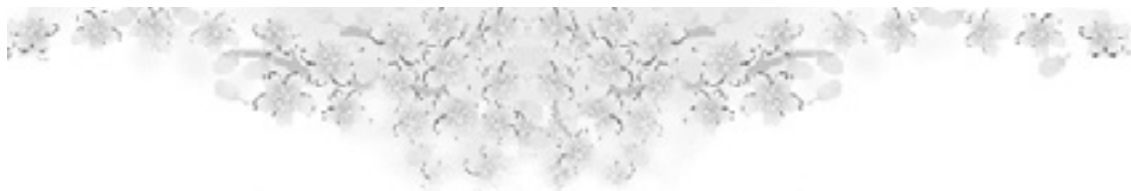


日本一高いピラミッドひな壇



「川幅日本一」鴻巣市

第五支部



第五支部

情報交換会

場所：春日部市民活動センター〔ふれあいキューブ〕

5月25日 19:00～(予定)

6月22日 19:00～(予定)

詳しくはSARTのHPなどのご案内致します。
(気軽にご来場していただいてご意見などお伺いできれば幸いです)

テーマなど皆様のご意見をお待ちしています。

ご参加ご協力をお願い致します。



第五支部理事 矢崎 (i-yazaki@sart.jp)



情報交換会以外でもご意見ご提案があれば気軽にご連絡ください

支部の活動にご協力いただける方からのご連絡お待ちしております。

下記でもご案内をしております。

<http://sart-daigoshibu.jimdo.com/>



第六支部

埼玉県診療放射線技師会

第六支部

- 1.巻頭言 秋谷 龍一郎
- 2.平成 28 年度 定期総会資料
- 3.平成 28 年度 第 3 回定期講習会報告
- 4.平成 29 年度 第 1 回定期講習会案内
- 5.旧役員 退任挨拶

巻頭言

知恵と経験

大宮中央総合病院

秋谷 龍一郎

今まで経験したことのない問題や出来事に遭遇した時に、「以前体験した事象と似ている」と感じたことがある人は少なからずいるだろう。過去のケースであった問題に近いものを参考にして、今回も同様のアプローチ、または少し違った角度からのアプローチを駆使して解決できるのではないだろうか。そして自分自身の経験の中でベストであろう選択をしていく。その経験が問題の所在と解決の方法を高い確率で推測することができる。

仕事上で何らかの予想外のケースが起きた場合に、過去の経験や蓄積した知識に照らし合わせて、同じ事象や類似のケースを見つけ出し解決にあたらなければならない。この作業はその人の経験や知識の総量が多いほど簡単なものになり、精度も高く、スピードも速くなる。きちんとした仕事ができる総合的な仕事力をつけるためには、やはり豊富な経験と幅広い知識が必要になってくる。

ただし、ここでいう知識とは単に書物を丸暗記しただけのものではない。知識というものは、それを簡略化していつでも使えて行動に移せる「知恵」にしてこそ意味がある。知識の本質を理解してこそ、知恵を身に付けることができる。その知恵を身に付けるということは言われたことだけをただやるのではなく、言われたその先まで自分で考え、理解していこうと努めることにあるのではないか。

例えば、何かの問題が起きたときに、教えてもらった通りやっとうまく対応できたとする。それでよしとする人はいつまでも知識止まりだ。しかし、知識を知恵に変えていける人は必ずその先まで考える。なぜ問題が起きたか、どうすれば防げるのか、派生する問題は何か、もっと良いアプローチの方法があるのではないか、など「なぜ」を繰り返し物事の本質に迫ろうとする。知恵を会得するということは、常に問題意識をもって向上していこうとする意識の高さである。

何事にも「もうできる！もう分かった！」と自分自身で思い込みをする前にきちんと物事の本質を見極めて、理解を深めていくことに努めなければならない。そしてきちんとした知恵にして経験を積み重ねて行かなければならない。

平成 28 年度 埼玉県診療放射線技師会第六支部定期総会報告

第六支部理事 高嶋 豊

去る 2 月 23 日（木）に、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会第六支部定期総会が行われ、総会は無事終了致しました。お忙しい中多くの出席者および委任状ありがとうございました。

また、役員選挙により来期第六支部会長が変更になります。

平成 29 年度、30 年度第六支部会長 埼玉県立小児医療センター山口 明となります。平成 29 年度は新しい役員体制となり、会員の皆さまにはご協力とともに、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

平成 28 年度 埼玉県診療放射線技師会第六支部 総会議事録

1. 日時 平成 29 年 2 月 23 日（木）

19 時 00 分～19 時 30 分

2. 場所 指扇病院

3. 会員数 273 人

4. 出席者 38 人

委任状提出者 155 人

合計 193 人

5. 開会

6. 会長挨拶

7. 議長選出・書記任命

大宮中央総合病院川久保彰人氏選出、書記に埼玉県立がんセンター桂慎也氏、指扇病院藤川真帆氏が選出された。

8. 議事事項

・平成 28 年度事業報告

・平成 28 年度決算報告

・監査報告

事業監査報告

会計監査報告

・平成 29 年度事業計画案

・平成 29 年度予算案

・その他

9. 議事の経過

総会出席者の審査の結果、本総会は成立する旨、報告された。

平成 28 年度事業報告を高嶋会長が報告。

平成 28 年度決算報告を徳田会計が報告。監査報告は濱守誠氏、尾形智幸氏により、事業が適正に行われた。また、収支共に会務・事業に対し健全に行われていると認める旨を報告した。議長は以上の議事について順次に賛否を諮り、全員異議なく承認された。

平成 29 年度事業報告案を高嶋会長が説明。平成 29 年度予算案を徳田会計が説明。議長はこれらの案について順次に賛否を諮り、全員異議なく承認された。

10. 役員選挙

指扇病院石川氏より、現副会長の埼玉県立小児医療センター山口明氏を推薦賛否を諮り、全員異議なく、平成 29、30 年度第六支部会長は山口明氏に承認された。

11. 閉会

以上のおり議事が進行されたことを報告致します。

平成 29 年 3 月 16 日（木）

指扇病院 仙波亮

平成 28 年度 第 3 回定期講習会報告

埼玉県立小児医療センター 春日沙織

埼玉県診療放射線技師会第六支部の第3回定期講習会が、平成29年2月23日に指扇病院で開催され、参加人数は47人でありました。今回の講習会は、メインテーマを「骨盤部 MRI 検査の基礎」とし、上尾中央総合病院の渋江英美香氏に「子宮卵巣 MRI」について、埼玉県立がんセンターの山内辰雄氏に「骨盤部（消化管・前立腺・膀胱）MRI」についてご講演いただきました。

渋江氏の講演では、子宮卵巣の解剖や疾患についての説明、撮像時の工夫・ポイントなどを解説していただきました。「この疾患は T1 強調画像ではこう見える、T2 強調画像ではこう見える」というような説明を細かくしていただき、まだ MRI を始めたばかりの新人・若手でもすぐに臨床の場で生かせるような内容でありました。またモーションアーチファクト対策についても、それぞれの方法の特徴、使い分けのポイントをお話ししていただき、子宮卵巣 MRI 以外の検査にも役立つ知識も豊富に盛り込まれた講演でした。

山内氏の講演では、主に消化管についての解剖、症例紹介をしていただきました。知識量が大変豊富で、大腸の解剖について押さえておくべきポイントや、大腸癌の局所評価・手術方式までお話ししてくださいました。消化管 MRI に関する多くの症例を取り扱い、実際の画像を提示して詳しく解説していただきました。MRI 検査は、事前に疾患に関する知識や解剖、撮像するときに見なくてはならないポイントなどをしっかりと押さえた上で検査をすることが重要であると、改めて感じる事ができる講演でありました。

また今回、講習会後にアンケートを取らせていただきました。参加者の皆さまからの率直な意見・感想や、今後のテーマについての希望などを伺うことができましたので、ここで得られた結果を今後の講習会の参考にさせていただきます。アンケートにご協力いただいた参加者の皆さま、ありがとうございました。

いずれの講演内容も当センターでは見ることのない症例ばかりで、大変勉強になりました。新人・若手は特に「MRI は難しい」というイメージを持ちやすいように思いますが、今後も第六支部の定期講習会は、誰もが気軽に足を運んでくれるような講習会をテーマにして開催していく予定です。今回は骨盤部に限定した MRI 検査の講習会となりましたが、今後また機会があれば他部位の MRI 検査の基礎についての講習会もぜひ開催したいと考えています。

最後にこの場をお借りして、ご講演いただいた演者の方々と、企画協力してもらった第六支部役員各位に深く感謝申し上げます。

第六支部役員退任挨拶

・丸山記念総合病院 高嶋 豊

支部会長職を通じて、たくさんの方のことを学ばせていただきました。臨床現場では経験できないような人との関わり、また多くの方の医療に対する考え方などたくさんの方のことを学べる良い機会でした。そして、多くの面から一つのことを見ると、当たり前のようなことが必要とされる場面がたくさんありました。

3月を迎え、退職や卒業式など新たな環境へ移られる方も多い時期かと思えます。新しい環境での人間関係や経験も一から作りださなければなりません。新たな環境へ飛び出すことは不安や希望などが入り混じりますが、心を成長させるためのチャンスでもあると考えます。そういう時こそ、人の思いやりや優しさを敏感に感じ取ることができるのではないかと感じます。そして人とのつながりや相手を思いやる気持ちの大切さに気付くことのできる良い機会だと思います。

これからはますますIT社会が進み、AIとの共存がなされてきます。医療現場におきましてもAIの進歩はめまぐるしく、機械に任せることが多くなっていくと思います。そんな中で、心の成長、人に対する思いやりをおろそかにしてはいけなと感じます。これは医療の臨床現場でも、また人とのつながりの間においてもとても重要なことです。どんなにIT社会が進んでもAIが増えても最後に人を動かすのは人の心です。心を育てるのは並大抵のことではありません。大人になった現在でも人に対する感情や思いやりを学ぶことがたくさんあります。日々の臨床現場でも多くの患者さまと接する機会があります。業務に追われ、人に対する対応をおろそかにしないよう心掛けていこうと思っています。

このたびは支部会長という貴重な経験をさせていただきましたことを感謝申し上げます。また、数年間の役員活動時、私を支えてくださった皆さま方にも心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

・指扇病院 仙波亮

総務として3年間、広報として3年間務めさせていただきました。会長をはじめ、役員の方々に支えていただき、無事に任期を全うすることができました。また第六支部には、院内では得ることのできない貴重な経験をさせていただき、大変感謝しております。

今後はさまざまな行事への参加という形で、第六支部へ貢献させていただきたいと考えております。6年間ありがとうございました。

・ JCHO さいたま北部医療センター 竹内 信行

JCHO さいたま北部医療センターの竹内です。3月をもって第六支部役員を退任させていただく事になりました。任期の間たくさんの技師の方々と接する機会があり他施設での撮影方法やその苦労話など多くの事を聞き、自分の施設に何かフィードバックさせることはないかと考えながら努めてきました。恥ずかしながら第六支部に貢献できたことは少ないですが、これまで役員と共に務めてきた方々には大変感謝しています、ありがとうございました。これからも第六支部の発展を陰ながら応援させていただきます。

・ 埼玉県立がんセンター 辻村 明日香

埼玉県立がんセンターの辻村です。この3月で六支部役員を退任させていただくこととなりました。気付けば丸7年、学術、総務、編集とやらせていただきました。何年たっても必死に他の皆さまについていくばかりでしたが、色々と交流ができ非常にやりがいがありました。これからは一会員として今後の六支部の勉強会などに参加していきたいと思っております。今までありがとうございました。

求人コーナー

本会は、求人情報の掲載のみで、雇用内容に関するお問い合わせは受けておりません。また雇用契約に一切関わっておりません。

施設名	医療法人社団 嬉泉会 <small>かすかべきせんびょういん</small> 春日部嬉泉病院
住所	埼玉県春日部市中央1丁目53-16
電話	048-736-0111
FAX	048-734-1700
E-Mail	iteya@kasukabe-kisen.jp
担当者名	<small>いてや</small> 射手矢 三男
募集対象	放射線技師
雇用形態	正職員（常勤）
業務内容	一般撮影（胸部、腹部など）CT（64列）・造影、骨塩定量など、オンコール体制
待遇	当院給与例：月給25.5万円～31万円（基本給＋諸手当、残業手当別途支給）、 賞与年2回 年間4ヵ月（昨年実績）、昇給年1回、通勤費支給
勤務時間	8：30～17：15
休日	年間休日113日（月8～10日の休日）、年1回8連休あり（特別休暇含）
募集人数	若干名
宿舍の有無	無
社会保険など	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、退職金制度（入職後3年以降）
応募方法	電話連絡の上、履歴書・職務経歴書などの書類を送付
その他	連絡先：048-736-0111 送付先：春日部市中央1-53-16 いずれも 春日部嬉泉病院 人事科 <small>いてや</small> 射手矢 三男 宛

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会発行の会誌「埼玉放射線」で、診療放射線技師の求人コーナーを掲載しております。次の掲載要項をご理解の上、申し込みくださるようお願い申し上げます。

掲載要項

発行部数：約1250部

発行エリア：埼玉県内

発行月：1・5・7・10月中旬

原稿締切日：発行月の1カ月前の1日

申込方法：求人広告掲載申し込み用紙でFAX、または同項目を記載し電子メールにて申し込み。
法令により年齢や性別に関する記述はできません。

掲載可否：後日担当者より連絡

掲載料：1回1万円

振込先：掲載決定後にご連絡

求人広告掲載申し込み FAX 用紙

施設名	
住所	
担当者氏名	
TEL	
FAX	
E-mail アドレス	
募集対象者	
雇用形態	
業務内容	
待遇	
勤務時間	
休日	
募集人員	
宿舍の有無	
社会保険など	
応募方法	
その他	

FAX 送信先 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
 FAX 番号 048-664-2733
 電子メールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

平成 28 年度 第 5 回理事会議事録 (抄)

日 時：平成 28 年 11 月 10 日 (木)
18:45 ~ 20:30

場 所：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
事務所

出席者：会 長：田中 宏
副 会 長：堀江 好一、富田 博信
常務理事：平野 雅弥、結城 朋子、
今出 克利、八木沢 英樹、
佐々木 健、潮田 陽一

理 事：栗田 幸喜、城處 洋輔、
岡田 智子、清水 邦昭、
芦葉 弘志、双木 邦博、
大西 圭一、斎藤 幸夫、
矢崎 一郎、高嶋 豊

欠 席：渡部 進一、鈴木 正人、
橋本 里見

第 1. 議事録作成人、議事録署名人の選出

議 長 田中 宏
議事録署名人 田中 宏、富田 博信
議事録作成人 結城 朋子
と定めた。

第 2. 報告及び確認事項

1. 会長 (田中)

- (1) Smic (Saitama medical information conference) の後援を承認した。
- (2) 第 10 回医療安全大会の後援を承認した。
- (3) 第 16 回乳がん市民フォーラム in 深谷の後援を承認した。
- (4) 第 58 回日本人間ドック学会の後援を承認した。
- (5) 第 32 回日本診療放射線技師学術大会会長会議へ参加した
ア. 日時：平成 28 年 9 月 17 日 (土)
イ. 場所：岐阜県長良川国際会議場
- (6) 公衆衛生功労知事表彰を本会元理事 2 人が受賞した。
ア. 長谷川 英治
イ. 千田 俊秀
- (7) 埼玉県知事表彰を本会元理事 1 人が受賞した。
ア. 矢部 智
- (8) 埼玉県議会無所属県民会議議員団との意見交

換会を行った。

- ア. 日時：平成 28 年 10 月 12 日 (水)
イ. 場所：埼玉県議会
ウ. 内容
(ア) 放射線特別授業について
(イ) 埼玉県民に対する被ばく相談について
(ウ) 原子力災害時放射線サーベイチームの活用について
- (9) 埼玉県医療整備課立ち入り検査を受けた。
ア. 日時：平成 28 年 11 月 2 日 (水)
イ. 場所：技師会事務所
- (10) 第 10 回医療安全大会へ参加した。
ア. 日時：平成 28 年 11 月 5 日 (土)
イ. 場所：大宮ソニックシティ

2. 総務 (平野)

- (1) 会長代理として埼玉医科大学病院就任披露の会に出席した。
ア. 日時：平成 28 年 9 月 24 日 (土)
イ. 場所：川越プリンスホテル
- (2) 新入会員の会員カードを作成し送付した。

3. 総務 (結城)

- (1) JART 永年勤続表彰 (30 年) 対象者へ申請書類を発送した。

4. 編集・情報 (八木沢)

- (1) 会誌における以下の作業を行った。
ア. 会誌 10 月 246 号を発送
イ. 執筆者にお礼状郵送

5. 編集・情報 (清水)

- (1) Web サイトについて掲載および更新を行った。(会員用)
ア. Dual Energy CT セミナー 2017 のお知らせ
イ. リレーフォーライフジャパン 2016 川越のお知らせ
ウ. CT 関連情報研究会 新企画チャンピオン画像募集
エ. 第 5 回 Freed セミナーのご案内
オ. 会誌埼玉放射線 No241 の公開
カ. 平成 28 年度 第三地区ボウリング大会のお知らせ
キ. 第 9 回 SAITAMA Cone Beam CT Technical

- Meetingのご案内
- ク. Smic (Saitama medical information conference) ミニセミナー
- ケ. 第六支部 平成 28 年度 第 2 回定期講習会のお知らせ
- コ. 第 49 回 埼玉 CT Technology Seminar 開催のご案内
- サ. 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 第一・二・三・四・五・六支部平成 28 年度支部合同勉強会 in Kumagaya
- シ. モニタ品質管理ハンズオンセミナー at 第 44 回日本放射線技術学会秋季学術大会
- ス. 第 37 回 ソニック CT カンファレンス
- セ. 埼玉県診療放射線技師会第四地区会 忘年会のお知らせ
- ソ. 埼玉県診療放射線技師会第五支部 情報交換会のおしらせ
- (2) Web サイト (一般用) およびメールマガジンについて以下の作業を行った。
- ア. リレーフォーライフジャパン 2016 川越のお知らせ
- イ. 会誌埼玉放射線 No.241 の公開
- ウ. メルマガ No.78、79 の配信
6. 学術 (今出)
- (1) 第 4 回学術委員会を開催した。
- ア. 日時:平成 28 年 9 月 6 日 (火)
- イ. 場所:技師会事務所 2 階
- ウ. 参加者:13 人
- エ. 内容
- (ア) 各講習会進捗状況報告
- (イ) 平成 28 年度埼玉県診療放射線技師学術大会について
- (ウ) 平成 31 年度日本診療放射線技師学術大会について
- (2) 第 32 回 日本診療放射線技師学術大会の視察を行った。
- ア. 日時:平成 28 年 9 月 16 日(金) ~ 18 日(日)
- イ. 場所:長良川国際会議場・岐阜都ホテル
7. 公益 (佐々木)
- (1) JART レントゲン週間イベントに関して、イベント手伝いとして 4 人選出した。
- (2) 放射線特別授業を行った。
- ア. 日時:平成 28 年 11 月 2 日 (水)
- イ. 場所:寄居北高等学校
- ウ. 講師および準講師:内海将人 (講師)、大河原侑司 (準講師)
8. 公益 (芦葉)
- (1) 放射線特別授業について県内 20 の高等学校に案内書を送付した。
- (2) 放射線特別授業を行った。
- ア. 日時:平成 28 年 11 月 2 日 (水)
- イ. 場所:寄居北高等学校
- ウ. 講師および準講師:内海将人 (講師)、大河原侑司 (準講師)
9. 財務 (潮田)
- (1) 顧問税理士の月次監査を受けた。
- ア. 日時:平成 28 年 10 月 28 日 (金)
- (3) 埼玉県医療整備課立ち入り検査に対応した。
- ア. 日時:平成 28 年 11 月 2 日 (水)
- イ. 場所:技師会事務所
10. 第一支部 (双木)
- (1) 浦和区健康まつり説明会に参加した。
- ア. 日時:平成 28 年 10 月 6 日 (木) 19:00 ~
- イ. 場所:浦和コミュニティセンター
- (2) 浦和区健康まつりに参加した。
- ア. 日時:平成 28 年 11 月 6 日 (日) 10:00 ~ 15:00
- イ. 場所:浦和コミュニティセンター
- ウ. 参加人数:21 人 (第一支部役員)
- エ. 内容
- (ア) 医療で用いる放射線検査についての説明
- (イ) 骨密度測の実施
- オ. 来場者数:骨密度測定 373 人
11. 第二支部 (大西)
- (1) 第 4 回勉強会を開催した。
- ア. 日時:平成 28 年 9 月 29 日 (木) 18:30 ~ 20:30
- イ. 場所:国立障害者リハビリテーションセンター
- ウ. 参加者:30 人
- エ. 内容
- (ア) 製品紹介
- 「シーメンスが取り組む Metal Artifact Reduction について」
- シーメンス・ジャパン株式会社 CT 事業部 松浦 孝俊

- (イ) 講演テーマ「整形領域の撮影技術向上を目指して」
- a. 一般撮影
「Talbot-Lau 干渉計 X 線撮影装置による臨床撮影」
(a) 座長 防衛医科大学校病院 野瀬 英雄
(b) 講師 埼玉医科大学病院 仁藤 真吾
- b. CT
「整形疾患から考える CT 撮影のポイント」
(a) 座長 上尾中央総合病院 金野 元樹
(b) 講師 越谷市立病院 村本 圭祐
- c. MRI
「プロトコルを考える ～基礎からの腰椎 MRI～」
(a) 座長 済生会川口総合病院 丸 武史
(b) 講師 上尾中央総合病院 石川 応樹
- (2) 第 5 回勉強会を開催した。
ア. 日時：平成 28 年 10 月 27 日 (木)
18:30～20:30
イ. 場所：国立障害者リハビリテーションセンター
ウ. 参加者：43 人
エ. 内容
(ア) 第 2 支部セッション
a. 座長 埼玉石心会病院 八木 雅恭
狭山中央病院 浜田 真行
所沢ハートセンター 柴 俊幸
b. 3 月稼働の Angio-CT 装置について～
Angio/80 列 CT/US の可能性～
防衛医科大学校病院 野口 拓斗
c. CT 用低コントラストファントムの作成
国立障害者リハビリテーションセンター病院 肥沼 武司
d. 0 (ゼロ) から START! Angio 稼働
～稼働に向けた経験報告～
イムス三芳総合病院 高田 博邦
- (イ) 特別講演
「身体のマカニズムと画像診断
～ルーティンのままにそのままに僕は君
だけを検査できない～」
a. 座長 埼玉石心会病院 塩野谷 純
b. 講師 西狭山病院 小澤 昌則
12. 第三支部 (渡部) 代理報告
(1) 第 30 回 川越市健康まつり第 2 回実行委員会に参加した。
ア. 日時：平成 28 年 9 月 30 日 (金)
13:30～15:00
イ. 場所：川越市総合保健センター 会議室
ウ. 参加人数：25 人
エ. 内容：開催場所、タイムスケジュール、前日準備事項など
- (2) 第 2 回地区役員会を開催した。
ア. 日時：平成 28 年 9 月 6 日 (火)
19:30～20:00
イ. 場所：埼玉医科大学病院 MR 棟技師室
ウ. 参加人数：6 人
エ. 内容：
(ア) リレー・フォー・ライフ担当について
(イ) 地区ボウリング大会について
(ウ) 支部行動勉強会について
(エ) 川越市健康まつりについて
- (3) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 川越に参加した。
ア. 日時：平成 28 年 9 月 17 日 (土)～18 日 (日)
イ. 場所：川越市水上公園
ウ. 参加人数：35 人 (第三支部会員)
13. 第四支部 (齋藤)
(1) 第 4 支部勉強会を開催した。
ア. 日時：平成 28 年 9 月 15 日 (木)
19:00～21:00
イ. 場所：さくらめいと 第一会議室
ウ. 参加者：56 人
エ. 内容
(ア) 頭部領域 MRI について
a. 座長 小川赤十字病院 山田 伸司
(イ) 第 1 部「施設紹介、頭部ルーチン撮像法」
a. 熊谷総合病院 吉田 敦
b. 羽生総合病院 鯨井 昇
c. 深谷赤十字病院 富田 欣治
d. 小川赤十字病院 高井 太市
(ウ) 第 2 部「症例検討」
a. 脳出血の MRI
～脳内出血の継時的変化～
熊谷総合病院 吉田 敦
b. 脳梗塞の MRI
～急性期脳梗塞を中心とした症例～

- 羽生総合病院 鯨井 昇
- c. 脳腫瘍のMRI
～髄膜腫と下垂体腺腫を中心に～
深谷赤十字病院 富田 欣治
- d. 認知症のMRI ～VSRADについて～
小川赤十字病院 高井 太市

(2) 第四支部役員会を開催した。

ア. 日時：平成28年9月15日(木)
21:00～21:30

イ. 場所：さくらめいと 第一会議室

ウ. 参加者：7人

(3) 第11回医療画像展「深谷市福祉健康まつり」に参加した。

ア. 日時：平成28年10月30日(日)
10:00～15:00

イ. 場所：深谷市総合体育館

ウ. 内容：パネル展示、骨密度測定、被ばく相談、スーパーボール釣りなど

エ. 来場者数

(ア) 骨密度測定、パネル展示、モニター展示
450人

(イ) スーパーボール釣り 200人

14. 第五支部 (矢崎)

(1) 地区情報交換会を開催した。

ア. 9月度

(ア) 日時：平成28年9月29日(木) 19:15～

(イ) 場所：春日部市市民活動センター 4F 会議室1

イ. 10月度

(ア) 日時：平成28年10月27日(木) 19:15～

(イ) 場所：春日部市市民活動センター 4F 会議室1

(2) 越谷市民祭りに参加した。

ア. 日時：平成28年10月23日(日)

イ. 場所：越谷市役所周辺

15. 第六支部 (高嶋)

(1) 第2回定期講習会を開催した。

ア. 日時：平成28年10月20日(木) 18:55～

イ. 場所：さいたま北部医療センター

ウ. 参加者：61人

(2) 彩の国いきいきフェスティバルに参加した。

ア. 日時：平成28年10月30日(日)

10:00～15:30

イ. 場所：埼玉県民活動センター

ウ. 参加者：11人(地区役員)

エ. 内容：パネル展示、被ばく相談、骨密度測定、クイズなど

オ. 来場者数

(ア) 被ばく相談 6人

(イ) 骨密度測定 212人

第3. 審議・承認事項

1. 平成29年役員選挙における選挙管理委員の選任について審議し承認した。(議案書番号：理-30)(承認)

2. 第6回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会開催日時について審議し承認した。(議案書番号：理-31)(承認)

3. 「ぼぼら春日部」オープン5周年記念イベント参画に際し、医用画像展開催のための予算および展示パネルの貸出について審議し承認した。(議案書番号：理-32)(承認)

4. 新入会会員の承認について審議し承認した。(議案書番号：理-33)(承認)

5. 浦和区健康まつり参加に当たり予算額を大幅に超えたため、当初予算額の変更と追加補助の申請について審議し承認した。(議案書番号：理-34)(承認)

配布資料(メール配信を含む)

(1) 会長資料

(2) 総務

(3) 編集・情報委員会資料

(4) 学術委員会資料 議事録

(5) 公益委員会資料

(6) 財務

(7) 各支部資料(第一支部、第二支部、第三支部、第四支部、第五支部、第六支部)

(8) 議案書

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において記名押印します。

平成28年11月10日

議事録署名人

平成 28 年度 第 6 回理事会議事録 (抄)

日 時：平成 29 年 1 月 5 日 (木)
18:45 ~ 20:30

場 所：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
事務所

出席者：会 長：田中 宏
副 会 長：堀江 好一、富田 博信
常務理事：平野 雅弥、結城 朋子、
今出 克利、八木沢 英樹、
佐々木 健、潮田 陽一

理 事：栗田 幸喜、城處 洋輔、
岡田 智子、清水 邦昭、
双木 邦博、大西 圭一、
渡部 進一、斎藤 幸夫、
矢崎 一郎

欠 席：芦葉 弘志、高嶋 豊、
鈴木 正人

(2) 第 6 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
定期総会開催予定について報告した。

ア. 日時：平成 29 年 6 月 18 日 (日)
イ. 場所：埼玉会館 7A 会議室

第 1. 議事録作成人、議事録署名人の選出について
議 長 田中 宏
議事録署名人 田中 宏、橋本 里見
議事録作成人 結城 朋子
と定めた。

3. 総務 (結城)

(1) 日本診療放射線技師会永年勤続表彰 (30 年)
15 人の申請を行った。
(2) 平成 29 年新春の集い開催案内を発送した。
(3) 平成 28 年度役員研修会開催予定について報
告した。
ア. 日時：平成 28 年 2 月 10 日 (金)
イ. 場所：With You さいたま男女共同参画推進
センター
ウ. 内容：依頼状等公文書の発行について (仮)

第 2. 報告及び確認事項

1. 会長 (田中)

- (1) 北関東拡大会長会議に出席した。
ア. 日時：平成 28 年 11 月 26 日 (土)
イ. 場所：大宮ソニックシティ
- (2) 日本診療放射線技師会より基礎講習会、救急
医療および看護学の講習会開催について依頼
があった。
- (3) 統一講習会の講師増員に関して以下の人数を
日本診療放射線技師会へ要望した。
ア. 新潟県 2 人、栃木県 4 人、茨城県 2 人、埼
玉県 8 人
- (4) 第 31 回埼玉県診療放射線技師学術大会にお
ける「学生相談コーナー」の開催について提
案した。

2. 総務 (平野)

- (1) 第 1 回選挙管理委員会を開催した。
ア. 日時：平成 28 年 11 月 15 日 (火)
イ. 場所：技師会事務所
ウ. 内容：平成 29・30 年度役員選挙について

4. 編集・情報 (八木沢)

(1) 会誌における以下の作業を行った。
ア. 会誌 10 月 246 号を発送
イ. 執筆者にお礼状郵送

5. 編集・情報 (清水)

(1) Web サイトについて掲載および更新を行っ
た。(会員用)
ア. 平成 28 年度埼玉県診療放射線技師会第一支
部第 2 回勉強会
イ. 第 50 回埼玉 CT Technology Seminar 開催
のご案内
ウ. 会誌バックナンバー 242 号掲載
エ. 2016 年バックナンバー掲載予定のお知らせ
オ. 平成 29 年第三地区新年会のお知らせ
カ. 第 37 回 SAITAMA MRI Conference のご
案内
キ. NPO 法人日本消化器がん検診精度管理評価
機構胃がん X 線検診基準撮影法・読影法講
習会
ク. 第 51 回埼玉 CT Technology Seminar 開催
のご案内
ケ. 第 31 回埼玉県診療放射線技師学術大会ポス
ターの掲載と差し替え
コ. 平成 29 年「新春の集い」のご案内
サ. Smic (Saitama medical information
conference) のご案内
シ. 第 24 回 CT 関連情報研究会のご案内

- ス. 平成 28 年度第 3 回救急撮影ケーススタディーのお知らせ
- セ. 平成 28 年度第 3 回救急撮影ケーススタディーのフォーム作成
- ソ. 骨軟部セミナーアンケート web アンケートご協力をお願い
- タ. 第 31 回埼玉県診療放射線技師学術大会プログラム
- (2) Web サイト (一般用) およびメールマガジンについて以下の作業を行った。
- ア. リレーフォーライフジャパン 2016 川越のお知らせ
- イ. 会誌埼玉放射線 No242 の公開
- ウ. 2016 年バックナンバー掲載予定のお知らせ
- エ. メルマガ No.80 の配信
- オ. メルマガ登録 1 件
6. 学術 (今出)
- (1) 第 5 回学術委員会を開催した。
- ア. 日時:平成 28 年 12 月 5 日 (月)
- イ. 場所:技師会事務所 2 階会議室
- ウ. 参加者:19 人
- エ. 内容
- (ア) 平成 28 年度埼玉県診療放射線技師学術大会について
- a. 発表抄録採択
- b. 座長選出
- c. 各セッション
- d. リーディングおよび機器展示
- e. 実行委員マニュアル、組織図作成
- f. その他
7. 公益 (佐々木)
- (1) 放射線特別授業 (熊谷女子高校) の講師依頼状を作成発送した。
- (2) 第五支部での DRL 勉強会を開催した。今後は他の支部においても順次開催予定。
- ア. 日時:平成 28 年 12 月 15 日 (木)
- (3) 放射線啓蒙活動紹介について各施設の取り組みの会誌連載について報告した。
- (4) 被ばく相談事例が 11 月に 1 件あり回答した。
- (5) 平成 28 年度埼玉県診療放射線技師学術大会特別講演 2 の講師を日本放射線公衆安全学会の諸澄邦彦氏へお願いした。
- (6) 第 2 回公益委員会を開催した。
- ア. 日時:平成 28 年 12 月 6 日 (火)
- イ. 場所:技師会事務所 2F 会議室
8. 財務 (潮田)
- (1) 顧問税理士の月次監査を受けた。
- ア. 日時:平成 28 年 12 月 24 日 (土)
9. 第一支部 (双木)
- (1) 第 2 回勉強会を開催した。
- ア. 日時:平成 28 年 11 月 24 日 (木) 19:00~20:50
- イ. 場所:コムナーレ浦和 第 15 集会室
- ウ. 参加人数:36 人
- エ. 内容
- (ア) メーカー講演 座長:
- 済生会川口総合病院 土田 拓治
- 「デジタルマンモグラフィ装置 Selenia Dimensions」
- ホロジックジャパン(株) 矢田絵都子
- (イ) 一般講演 座長:済生会川口総合病院 森 一也
- 「当院の腰椎撮影条件の検討」
- 済生会川口総合病院 戸澤 僚太
- 「英語発表ってどんなの?」
- 済生会川口総合病院 志藤 正和
- (ウ) 特別講演 座長:済生会川口総合病院 森 一也
- 「治療用照射装置出力量の第三者機関による測定を実施して」
- 済生会川口総合病院 倉持 正樹
10. 第二支部 (大西)
- (1) 平成 28 年度 SART 支部合同勉強会 in 熊谷を開催した。
- ア. 日時:平成 28 年 11 月 12 日 (土) 15:00~18:00
- イ. 場所:森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘリテージ
- ウ. 参加者:157 人
- エ. 内容
- (ア) 支部合同症例検討会「救急・時間外 CT の基本症例~技師から医師へのアプローチ」
- a. オブザーバー
- 小川赤十字病院 田中 達也
- 上尾中央総合病院 金野 元樹
- b. コメンテーター
- 上尾中央総合病院 金野 元樹
- 熊谷総合病院 吉田 敦

- c. 座長 三愛病院 川島 慶太
 所沢ハートセンター 柴 俊幸
 埼玉医科大学病院 吉岡 正樹
 小川赤十字病院 高井 太市
 越谷市立病院 関根 貢
 彩の国東大宮メディカルセンター 茂木 雅和
- d. 頭頸部内因性疾患（第六支部）
 指扇病院 安川 紘平
- e. 頭頸部外傷性疾患（第一支部）
 済生会川口総合病院 鈴木 友里
- f. 胸部内因性疾患（第三支部）
 埼玉医科大学国際医療センター 田島 秀晃
- g. 腹部内因性疾患（第四支部）
 熊谷総合病院 吉田 敦
- h. 腹部内因性疾患（第五支部）
 独協医科大学越谷病院 天早 峻
- i. 胸腹部外傷性疾患（第二支部）
 防衛医科大学校病院 高橋 敦
- (イ) 技師講演「被ばく相談、やっていますか」
 a. 座長 埼玉医科大学病院 紀陸 剛志
 西大宮病院 豊留 章裕
 b. 「被ばく相談に必要なコミュニケーション」
 上尾中央総合病院 佐々木 健
 c. 「相談者に合わせた被ばく相談対応実例」
 済生会栗橋病院 内海 将人
- (ウ) 特別講演
 a. 座長 上尾中央総合病院 佐々木 健
 b. 「SARTのミッションと未来へ目指すべきビジョン～みんなのために!ひとりのために」
 埼玉県診療放射線技師会 副会長 富田 博信
11. 第三支部（渡部）
 (1) 第30回 川越市健康まつり第3回実行委員会に参加した。
 ア. 日時：平成28年11月8日（木）
 13:15～14:30
 イ. 場所：川越市総合保健センター 会議室
 ウ. 参加人数：23人
 エ. 内容：開催内容確認、前日準備および当日の注意事項など
- (2) 第4回地区役員会を開催した。
 ア. 日時：平成28年12月9日（金）
 19:00～20:00
- イ. 場所：埼玉医科大学病院 MR棟技師室
 ウ. 参加人数：6人
 エ. 内容：川越市健康まつり、新年会、地区勉強会および定期総会について
- (3) 第30回川越市健康まつりに参加した。
 ア. 日時：平成28年12月11日（日）
 10:00～15:00
 イ. 場所：ウエスタ川越
 ウ. 参加人数：9人（役員）
 エ. 来場者数：約350人（医用画像展）
- (4) 支部合同勉強会を開催した。
 ア. 日時：平成28年11月12日（土）13:00～
 イ. 場所：ホテルヘリテージ四季の湯温泉
 ウ. 参加人数：約150人
 エ. 内容：支部発表、特別講演、懇親会
12. 第四支部（齋藤）
 (1) 支部合同勉強会 in 熊谷を開催した。
 ア. 日時：平成28年11月12日（土）～
 13日（日）12:30～
 イ. 場所：森林公園 四季の湯温泉ホテル・ヘリテージ
 ウ. 参加者：157人
 エ. 内容
 (ア) 開会挨拶 第二支部理事 大西圭一氏
 (イ) 支部合同症例検討会
 a. コメンテーター 彩の国東大宮 M.C
 茂木 雅和
 b. 座長 第一支部三愛病院
 川島 慶太
 第二支部所沢ハートセンター
 柴 俊幸
 第三支部埼玉医科大学病院
 吉岡 正樹
 第四支部小川赤十字病院
 高井 太市
 第五支部越谷市立病院
 関根 貢
 第六支部彩の国日が非大宮 M.C
 茂木 雅和
- c. 「救急・時間外CT基本症例～技師から医師へのアプローチ」
 (第一支部) 済生会川口総合病院
 鈴木 友里
 (第二支部) 防衛医科大学校病院
 高橋 敦

- (第三支部) 埼玉医科大学国際医療センター 田島 秀晃
 (第四支部) 熊谷総合病院 吉田 敦
 (第五支部) 独協医科大学越谷病院 天早 峻
 (第六支部) 指扇病院 安川 紘平
- d. 技師講演
 座長 西大宮病院 豊留 章裕
 埼玉医科大学病院 紀陸 剛志
- 「被ばく相談やっていますか」
 被ばく相談に必要なコミュニケーション術
 上尾中央総合病院 佐々木 健
 相談者に合わせた被ばく相談対応事例
 済生会栗橋病院 内海 将人
- e. 特別講演
 座長 上尾中央総合病院 佐々木 健
- 「SARTのミッションと未来へ目指すべきビジョン～みんなのために！ひとりのために！」
 埼玉県診療放射線技師会 副会長 富田 博信
- f. 閉会挨拶 第一支部理事 双木 邦博
- g. 合同勉強会懇親会総合司会 第二支部理事 渡部 進一
- (2) 第四支部忘年会を開催した。
 ア. 日時：平成28年11月25日(金) 19:00～
 イ. 場所：マロウドイン熊谷
 ウ. 参加者：78人
13. 第五支部 (矢崎)
 (1) 地区情報交換会を開催した。
 ア. 日時：平成28年12月15日(木) 19:00～
 イ. 場所：春日部市市民活動センター 4F 会議室1
- (2) 医療画像展 (ぼぼら春日部五周年記念フェスティバル)
 ア. 日時：平成28年12月3(土)、4(日) 日
 イ. 場所：春日部市市民活動センター (ふれあいキューブ)
- (3) 越谷市民祭、ぼぼら春日部フェスティバルにおける医療画像展の会計報告を行った。

14. 第六支部 (高嶋)：代理報告
 (ア) 支部合同勉強会 in 熊谷
 ア. 日時：平成28年11月12日(土) 13:00～
 イ. 場所：ホテルヘリテイジ四季の湯温泉
 (イ) 第六支部忘年会を開催した。
 ア. 日時：平成28年11月24日(木) 19:00～
 イ. 場所：KICHIRI 大宮西口店
 ウ. 参加者：40人
 (ウ) 役員会を開催した。
 ア. 日時：平成28年12月6日(火) 18:30～
 イ. 場所：さいたま赤十字病院 5F 会議室
 ウ. 参加者：13人

第3. 審議・承認事項

1. 佐々木正夫会員を名誉会員として承認した。(議案書番号：理-35) (承認)
2. 平成29年度表彰者(公衆衛生功労知事表彰2人、公衆衛生功労協会会長表彰2人、埼玉県知事表彰1人、公衆衛生功労厚生労働大臣表彰1人、平成30年春叙勲候補者1人)推薦について審議し承認した。(議案書番号：理-36) (承認)
3. 第20回秩父市保健センターまつりに企画し医用画像展を開催するに当たり、予算案の承認および骨密度測定装置、展示パネルなどの貸出について審議し承認した。(議案書番号：理-37) (承認)
4. 新入会会員の承認について審議し承認した。(議案書番号：理-38) (承認)

配布資料(メール配信を含む)

- (1) 会長資料
- (2) 総務
- (3) 編集・情報委員会資料
- (4) 学術委員会資料 議事録
- (5) 公益委員会資料
- (6) 財務
- (7) 各支部資料(第一支部、第二支部、第三支部、第四支部、第五支部、第六支部)
- (8) 議案書

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において記名押印します。

平成29年1月5日

議事録署名人

平成 28 年度 第 5 回常務理事会議事録（抄）

- 日 時：平成 29 年 2 月 2 日（木）
18：45～21：00
- 場 所：公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会事務所
- 出席者：会 長：田中 宏
常務理事：堀江 好一、富田 博信、
八木沢 英樹、平野 雅弥、
潮田 陽一、佐々木 健、
結城 朋子
欠 席：今出 克利
- (ウ) 内容：座長、演者顔合わせ、発表内容について
- (3) Web サイトへの掲載および更新について下記の作業を行った。
- ア. 「骨軟部撮影セミナー 2017」のお知らせ
イ. 平成 29 年度・30 年度役員選挙の告示
ウ. 第五支部情報交換会のお知らせ
エ. 平成 28 年度埼玉県診療放射線技師学術大会機器展示募集案内の差し替え
オ. 第 13 回胃 X 線検査を楽しく学ぶ会お知らせ
カ. 消化器がん検診学会関東甲信越支部 第 48 回放射線研修委員会学術大会お知らせ
キ. 第 331 回循研定例研究会お知らせ
- (4) メールマガジン No. 81 配信、新規登録 2 件
- (5) 編集情報企画班の活動報告について報告した。(別紙資料参照)

第 1. 議事録作成人 議事録署名人の選出

- 議 長 田中 宏
議事録署名人 田中 宏、堀江 好一
議事録作成人 結城 朋子
と定めた。

議事録作成人、議事録署名人の選出につづき、田中会長を議長に選出し、平成 28 年度第 5 回常務理事会を開催した。

第 2. 報告及び確認事項

1. 会長（田中）

- (1) 看護協会の新年会に出席した。
ア. 日時：平成 29 年 1 月 14 日（土）
イ. 場所：ホテルプリランテ武蔵野
- (2) 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部第 48 回放射線研修委員会学術集会の名義後援を行った。

2. 総務（結城）

- (1) SART 永年勤続表彰（20、30 年）対象者へ申請書類を発送した。
- (2) 平成 29 年新春の集いを開催した。
ア. 日時：平成 29 年 1 月 13 日（金）19：00 から
イ. 場所：大宮サンパレス
ウ. 参加者：会員 41 人、賛助会員 35 人、新入会員 13 人

3. 編集情報（八木沢）

- (1) 会誌について以下の作業を行った。
ア. 平成 29 年 1 月 20 日 247 号を発行
イ. 執筆者へお礼状を郵送
- (2) 第 31 回埼玉県診療放射線技師学術大会における以下の報告を行った。
ア. 第 2 演者記載漏れについての対策
イ. 第 1 回テクニカルディスカッション会議について
(ア) 日時：平成 29 年 1 月 30 日（月）
19：00 から
(イ) 場所：技師会事務所

4. 学術（今出）

- (1) CT 認定講習会を開催した。
ア. 日時：平成 29 年 1 月 22 日（日）
イ. 場所：済生会川口総合病院
ウ. 参加人数：全過程 会員 18 人、非会員 2 人
部位別 会員 8 人
- (2) 上部消化管検査認定講習会を開催した。
ア. 日時：平成 29 年 1 月 22 日（日）
イ. 場所：さいたま赤十字病院
ウ. 参加人数：会員 17 人、非会員 1 人

5. 財務（潮田）

- (1) 顧問税理士の月次巡回監査を以下の日程で予定している。
ア. 日時：平成 29 年 2 月 4 日（土）

第 3. 審議・承認事項

1. 平成 29 年度事業計画案について資料を元に審議し承認した。(議案書番号：常理-8) (承認)
2. フレッシュアップセミナー（第 19 回 SART セミナー）開催におけるプログラムおよび予算について審議し承認した。(議案書番号：常務-9) (承認)

次回、平成 29 年度第 1 回常務理事会予定 平成 29 年 4 月 6 日（木）

配布資料（メール配信を含む）

- (1) 会長資料
(2) 総務資料
(3) 編集情報資料
(4) 学術資料
(5) 財務資料
(6) 議事録

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

平成 27・28 年度役員名簿

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
会長	田中 宏	埼玉県立小児医療センター	048-601-2200	h-tanaka@sart.jp
副会長	堀江 好一	JCHO さいたま北部医療センター	048-663-1671	k-horie@sart.jp
副会長	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
常務理事(総務)	平野 雅弥	埼玉医科大学病院	049-276-1264	m-hirano@sart.jp
常務理事(総務)	結城 朋子	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-yuuki@sart.jp
常務理事(財務)	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
常務理事(学術)	今出 克利	さいたま市民医療センター	048-626-0011	k-imade@sart.jp
常務理事(編集・情報)	八木沢英樹	JCHO 埼玉メディカルセンター	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp
常務理事(公益)	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
理事(学術)	栗田 幸喜	済生会栗橋病院	0480-52-3611	k-kurita@sart.jp
理事(学術)	城處 洋輔	済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
理事(学術)	岡田 智子	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-okada@sart.jp
理事(編集・情報)	清水 邦昭	深谷赤十字病院	048-571-1511	k-shimizu@sart.jp
理事(公益)	芦葉 弘志	丸山記念総合病院	048-757-3511	h-ashiba@sart.jp
理事(総務)第一支部	双木 邦博	さいたま市立病院	048-873-4111	k-namiki@sart.jp
理事(総務)第二支部	大西 圭一	所沢ハートセンター	042-940-8611	k-onishi@sart.jp
理事(総務)第三支部	渡部 進一	埼玉医科大学病院	049-276-1264	s-watanabe@sart.jp
理事(総務)第四支部	齋藤 幸夫	深谷赤十字病院	048-571-1511	y-saito@sart.jp
理事(総務)第五支部	矢崎 一郎	春日部市立病院	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
理事(総務)第六支部	高嶋 豊	丸山記念総合病院	048-757-3511	y-takashima@sart.jp

監事・顧問

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
監事	橋本 里見	JCHO 東京新宿メディカルセンター	03-3269-8111	s-hashimoto@sart.jp
監事	鈴木 正人	埼玉県県会議員		m-suzuki@sart.jp

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
顧問税理士	増田 利治	増田利治税理士事務所	048-649-1386	

総務・財務委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	平野 雅弥	埼玉医科大学病院	049-276-1264	m-hirano@sart.jp
副委員長	結城 朋子	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-yuuki@sart.jp
副委員長	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
委員	堀江 好一	JCHO さいたま北部医療センター	048-663-1671	k-horie@sart.jp
委員	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
委員	双木 邦博	さいたま市立病院	048-873-4111	k-namiki@sart.jp
委員	大西 圭一	所沢ハートセンター	042-940-8611	k-onishi@sart.jp
委員	渡部 進一	埼玉医科大学病院	049-276-1264	s-watanabe@sart.jp
委員	齋藤 幸夫	深谷赤十字病院	048-571-1511	y-saito@sart.jp
委員	矢崎 一郎	春日部市立病院	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
委員	高嶋 豊	丸山記念総合病院	048-757-3511	y-takashima@sart.jp
委員	田中 達也	小川赤十字病院	0493-72-2333	t-tanaka@sart.jp
委員	矢部 智	越谷市立病院	048-965-2221	s-yabe@sart.jp
委員	佐々木 剛	埼玉医科大学病院	049-276-1264	tsuyoshi-sasaki@sart.jp

学術委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	今出 克利	さいたま市民医療センター	048-626-0011	k-imade@sart.jp
副委員長	栗田 幸喜	済生会栗橋病院	0480-52-3611	k-kurita@sart.jp
副委員長	城處 洋輔	済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
副委員長	岡田 智子	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-okada@sart.jp
委員	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
委員	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
委員	尾形 智幸	さいたま赤十字病院	048-852-1111	t-ogata@sart.jp
委員	大森 正司	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-omori@sart.jp
委員	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	j-nakane@sart.jp
委員	土田 拓治	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-tsuchida@sart.jp
委員	近藤 敦之	埼玉医科大学病院	049-276-1264	a-kondo@sart.jp
委員	滝口 泰徳	上尾中央総合病院	048-773-1111	y-takiguchi@sart.jp
委員	伊藤 寿哉	埼玉石心会病院	04-2953-6611	t-ito@sart.jp
委員	柴 俊幸	所沢ハートセンター	04-2940-8611	t-shiba@sart.jp
委員	志田 智樹	レインボークリニック	048-758-3891	t-sida@sart.jp
委員	寺澤 和晶	さいたま赤十字病院	048-852-1111	kazuaki-terasawa@sart.jp

編集・情報委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	八木沢英樹	JCHO 埼玉メディカルセンター	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp
副委員長	清水 邦昭	深谷赤十字病院	048-571-1511	k-shimizu@sart.jp
委員	栗田 幸喜	済生会栗橋病院	0480-52-3611	k-kurita@sart.jp
委員	宮崎 雄二	北里大学メディカルセンター	048-593-1212	y-miyazaki@sart.jp
委員	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
委員	菅野 方仁	大宮中央総合病院	048-663-2501	m-sugano@sart.jp
委員	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
委員	大友 哲也	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	t-otomo@sart.jp
委員	吉田 敦	熊谷総合病院	048-521-0065	a-yoshida@sart.jp
委員	豊留 章裕	西大宮病院	048-644-0511	a-toyodome@sart.jp
委員	渡部 伸樹	さいたま赤十字病院	048-852-1111	nobuki-watanabe@sart.jp
委員	堀越 隆之	大宮シテイククリニック	048-645-1256	takayuki-horikoshi@sart.jp

編集・情報委員会（企画班委員）

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員	大西 圭一	所沢ハートセンター	042-940-8611	k-onishi@sart.jp
委員	河原 剛	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	takeshi-kawahara@sart.jp
委員	館林 正樹	医療法人豊智会 AIC 八重洲クリニック	03-6202-3370	masaki-tatebayashi@sart.jp
委員	眞壁 耕平	新久喜総合病院	0480-26-0033	k-makabe@sart.jp
委員	渡辺 高広	埼玉医科大学病院	049-276-1264	takahiro-watanabe@sart.jp

公益委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
副委員長	芦葉 弘志	丸山記念総合病院	048-757-3511	h-ashiba@sart.jp
委員	西山 史朗	新久喜総合病院	0480-26-0033	s-nishiyama@sart.jp
委員	志藤 正和	済生会川口総合病院	048-253-1551	m-shito@sart.jp
委員	矢島 慧介	上尾中央総合病院	048-773-1111	k-yajima@sart.jp
委員	市浦 京子	上尾中央総合病院	048-773-1111	k-ichiura@sart.jp
委員	眞壁 耕平	新久喜総合病院	0480-26-0033	k-makabe@sart.jp
委員	小山 恵	防衛医科大学校病院	04-2995-1511	m-koyama@sart.jp
委員	内海 将人	済生会栗橋病院	0480-52-3611	m-uchiumi@sart.jp

正 会 員 入 会 申 込 書

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長殿

私は貴会の目的に賛同し、下記により入会したく会費を添えて申し込みます。

フリガナ		性 別	生 年 月 日	
氏 名		男・女	西 暦 年 月 日	

<p style="text-align: center;">1. 2. それぞれに○をつけご回答ください</p> <p>1. 今回の入会は [<input type="checkbox"/>新入会 <input type="checkbox"/>再入会 <input type="checkbox"/>転入]</p> <p>2. <input type="checkbox"/>日本診療放射線技師会&埼玉県診療放射線技師会へ入会 <input type="checkbox"/>埼玉県診療放射線技師会のみ入会</p>	転入前の 所属技師会	
--	---------------	--

フリガナ		TEL	—	—
勤務先名				
フリガナ	〒			
勤務先住所				
フリガナ	〒	TEL	—	—
自宅住所				
E-mail (携帯不可)				

会誌送付先	① 勤務先	所属支部（地区）
	② 自宅	

診療放射線 技師免許	国家試験	第	回	合格
	登録	第	号	年 月 日 登録

免許取得の 学歴	入学年月日	西暦	年	月
	卒業年月日	西暦	年	月
	学校			

関連分野の 最終学歴	学位	ある	なし
	学位記番号		
	授与年月		
	授与機関		

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-51-39
TEL 048-664-2728
FAX 048-664-2733

退会届

年 月 日

会員番号	日本診療放射線技師会
	埼玉県診療放射線技師会
会員名	印
退会理由	
退会希望日	年 月 日
会費納入状況	年度分まで納入済み

注) 規程により、埼玉県診療放射線技師会を退会すると日本診療放射線技師会も同時に退会となります。

決算処理

埼放技	
日放技	

会員異動届

ファックス送信票

下記の通り送信致しますので、よろしくお願い致します。

受信者	FAX番号：048-664-2733 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
送信者	氏名 _____
	施設名 _____
	〒 _____ 施設住所 _____

*郵送の場合
〒331-0812 さいたま市北区宮原町2丁目51番地39
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
電話：048-664-2728

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会員登録変更届

平成 年 月 日

ふりがな 届出会員名		支部名	支部
技師会番号			

①転出者は正確にご記入ください			
転出先	() 県へ転出	技師会費を () 年度まで納入	
変更項目	<input type="checkbox"/> 印	②変更した項目をご記入ください	
	ふりがな 自宅住所	〒 - - TEL - -	
	ふりがな 勤務先名		
	ふりがな 勤務先住所	〒 - - TEL - -	
	ふりがな 改 姓		
	支部変更	第 () 支部を第 () 支部に	
連絡先変更			

平成 29 年度

埼玉県診療放射線技師会
日本診療放射線技師会など 年間スケジュール表

平成 29 年度 (5-7) 予定											
5 月		埼玉放技	日放技等	6 月		埼玉放技	日放技等	7 月		埼玉放技	日放技等
1	月			1	木	第 2 回 理事会		1	土		
2	火			2	金			2	日		
3	水			3	土			3	月		
4	木			4	日			4	火		
5	金			5	月			5	水		
6	土			6	火			6	木	第 4 回 理事会 (引継ぎ会)	
7	日			7	水			7	金		
8	月			8	木			8	土		
9	火			9	金			9	日		
10	水			10	土			10	月		
11	木	第 1 回 理事会		11	日			11	火		
12	金			12	月			12	水		
13	土			13	火			13	木		
14	日			14	水			14	金		
15	月			15	木			15	土		
16	火			16	金			16	日		
17	水			17	土			17	月		
18	木			18	日	第 3 回 理事会 (総会時)		18	火		
19	金			19	月			19	水		
20	土			20	火			20	木		
21	日			21	水			21	金		
22	月			22	木			22	土		
23	火			23	金			23	日		
24	水	監査		24	土	平成 29 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 (長野県)		24	月		
25	木			25	日			25	火		
26	金			26	月			26	水		
27	土	業務拡大に伴う統一講習会 (埼玉開催)		27	火			27	木		
28	日			28	水			28	金		
29	月			29	木	第 2 回 常務理事連絡会		29	土		
30	火			30	金			30	日		
31	水							31	月		

平成 29 年度 (8-10) 予定											
8 月		埼玉放技	日放技等	9 月		埼玉放技	日放技等	10 月		埼玉放技	日放技等
1	火			1	金			1	日		
2	水			2	土	業務拡大に伴う統一講習会 (埼玉開催)		2	月		
3	木			3	日			3	火		
4	金			4	月			4	水		
5	土			5	火			5	木	第 2 回 常務理事会	
6	日			6	水			6	金		
7	月			7	木	第 5 回 理事会		7	土		
8	火			8	金			8	日		
9	水			9	土			9	月		
10	木			10	日			10	火		
11	金			11	月			11	水		
12	土			12	火			12	木		
13	日			13	水			13	金		
14	月			14	木			14	土		
15	火			15	金			15	日		
16	水			16	土			16	月		
17	木			17	日			17	火		
18	金			18	月			18	水		
19	土			19	火			19	木		
20	日			20	水			20	金		
21	月			21	木			21	土		
22	火			22	金	第 33 回 日本診療放射線技師学術大会 (函館)		22	日		
23	水			23	土			23	月		
24	木			24	日			24	火		
25	金			25	月			25	水		
26	土			26	火			26	木	第 4 回 常務理事連絡会	
27	日			27	水			27	金		
28	月			28	木			28	土		
29	火			29	金			29	日		
30	水			30	土			30	月		
31	木	第 3 回 常務理事連絡会						31	火		

—編集後記—

新緑がまぶしい季節となりました。いかがお過ごしでしょうか。

皆さま、「育児休業（休暇）」をご存知でしょうか。

育児休業（休暇）とは、1991年に制定された育児・介護休業法に基づいて、子供を養育する労働者が取得できる休業のことであり、男女関係なく取得することができる制度です。

私自身、今年の1月に新しい家族を迎えることができました。諸事情により、妻は里帰りをせずに、夫婦のみで育児をする選択をしました。職場のみなさんの協力のおかげで、男性としては前例のない育児休業を1ヵ月取らせてもらうことができました。育児休業を取らせてもらったおかげで、初めての育児に戸惑いながらも、妻と協力し、心に余裕を持ちながら育児をすることができました。妻が里帰りをしない場合、夫は生涯に1度か2度であろう（人によっては3度、4度か）超新生児期のわが子に触れることができます。大変貴重な体験です。そして驚いたことに、辛い時期を一緒に乗り越えたからか、妻からの評価が知らぬ間に上がっていました。まだまだ育児1年生ですが、父として、夫として、医療従事者として成長していけたらと思います。（ぼんちやむ）

関係各位

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
会 長 田中 宏
実行委員長 今出 克利

お詫びと訂正

この度は、第31回埼玉県診療放射線技師学術大会の一般演題にご応募いただきましてありがとうございます。
2017年1月発行（第65巻第1号通巻第247号）の「埼玉放射線」一般演題抄録集に、システムエラーに伴う第2演者（共同演者）名の未掲載という事象がありました。

対策として、学術大会当日に、第2演者（共同演者）名も含めた抄録集を配布させていただきましたが、今後はこのようなことのないよう、細心の注意を心掛けてまいります。

関係者の皆さまには、大変ご迷惑をお掛けしました事を深くお詫び申し上げます。

埼玉放射線 第248号

印 刷 平成29年5月12日
発 行 日 平成29年5月18日
発 行 所 〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-51-39
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
Eメールアドレス
sart@beige.ocn.ne.jp
発 行 人 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会 長 田 中 宏
編集代表 八木沢 英 樹
編 集 委 員 清水 邦昭 大友 哲也 栗田 幸喜
吉田 敦 宮崎 雄二 豊留 章裕
潮田 陽一 渡部 伸樹 菅野 方仁
堀越 隆之 肥沼 武司
印 刷 〒338-0007 さいたま市中央区円阿弥5-8-36
望月印刷株式会社
電話 048-840-2111

事 務 所

〒331-0812

さいたま市北区宮原町2丁目51番39

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

電 話 048-664-2728 FAX 048-664-2733

Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

事務局長 渡 辺 弘

事務員 植 松 敏 江

勤務時間 9:00~12:00

13:00~15:00

表紙の解説

「青い絨毯」

写真提供 清水 理乃 氏



写真提供 「秩父竹取物語」 栗田 倫之 氏



〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

TEL 048-664-2728

FAX 048-664-2733

www.sart.jp

sart@beige.ocn.ne.jp

領布価格 1,000円(会誌購読料は会費に含まれる)

